

HP Pavilion Notebook PC

ユーザー ガイド

© Copyright 2010 Hewlett-Packard
Development Company, L.P.

Microsoft および Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。Bluetooth は、その所有者が所有する商標であり、使用許諾に基づいて Hewlett-Packard Company が使用しています。SD ロゴは、その所有者の商標です。

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP 製品およびサービスに関する保証は、当該製品およびサービスに付属の保証規定に明示的に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。本書に記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して責任を負いかねますのでご了承ください。

改訂第 1 版：2010 年 8 月

初版：2010 年 4 月

製品番号：609891-292

製品についての注意事項

このユーザー ガイドでは、ほとんどのモデルに共通の機能について説明します。一部の機能は、お使いのコンピューターでは使用できない場合があります。

ユーザー ガイドの最新情報を入手するには、HP の Web サイト、<http://www.hp.com/support/> にアクセスしてください。

安全に関するご注意

-
- △ **警告！** ユーザーが火傷をしたり、コンピューターが過熱状態になったりするおそれがありますので、ひざの上に直接コンピューターを置いて使用したり、コンピューターの通気孔をふさいだりしないでください。コンピューターは、机のようなしっかりとした水平なところに設置してください。通気を妨げるおそれがありますので、隣にプリンターなどの表面の硬いものを設置したり、枕や毛布、または衣類などの表面が柔らかいものを敷いたりしないでください。また、ACアダプターを肌に触れる位置に置いたり、枕や毛布、または衣類などの表面が柔らかいものの上に置いたりしないでください。お使いのコンピューターおよびACアダプターは、International Standard for Safety of Information Technology Equipment (IEC 60950) で定められた、ユーザーが触れる表面の温度に関する規格に準拠しています。
-

目次

1 機能	1
ハードウェアの確認	1
表面の各部	1
タッチパッド	1
ランプ	2
電源ボタンおよび指紋認証システム	3
キー	4
前面の各部	5
右側面の各部	5
左側面の各部	6
ディスプレイの各部	7
裏面の各部	8
無線アンテナ	9
その他のハードウェア コンポーネント	10
ラベル	10
2 ネットワーク	12
無線デバイスの使用	12
無線アイコンとネットワーク ステータス アイコンの確認	12
無線コントロールの使用	13
無線操作キーの使用	13
[HP Wireless Assistant]ソフトウェアの使用	14
オペレーティング システムの制御機能の使用	14
無線 LAN の使用	14
無線 LAN のセットアップ	15
無線 LAN の保護	15
無線 LAN への接続	16
他のネットワークへのローミング	17
HP モバイル ブロードバンドの使用（一部のモデルおよび一部の国や地域のみ）	17
SIM の装着	18
SIM の取り出し	19
Bluetooth 無線デバイスの使用	19
Bluetooth とインターネット接続共有（ICS）	20
無線接続に関する問題のトラブルシューティング	20
無線 LAN に接続できない場合	20
優先する無線 LAN ネットワークに接続できない場合	21
ネットワーク アイコンが表示されない場合	21
現在の無線 LAN ネットワーク セキュリティ コードが使用できない場合	21

無線 LAN 接続が非常に弱い場合	22
無線ルーターに接続できない場合	23
ローカル エリア ネットワーク (LAN) への接続	23
3 ポインティング デバイスおよびキーボード	24
ポインティング デバイスの使用	24
ポインティング デバイス機能のカスタマイズ	24
タッチパッドの使用	24
タッチパッドのオン/オフの切り替え	24
移動	24
選択	25
タッチパッド ジェスチャの使用	26
スクロール	26
ピンチ/ズーム	26
外付けマウスの接続	27
操作キーの使用	27
ホットキーの使用	28
タッチパッドとキーボードの清掃	29
4 マルチメディア	31
マルチメディア機能	31
マルチメディア コンポーネントの確認	31
メディア操作機能の使用	33
メディア操作キーの使用	33
マルチメディア ソフトウェア	33
プリインストールされたマルチメディア ソフトウェアの起動	34
[HP MediaSmart]ソフトウェアの使用	34
その他のマルチメディア ソフトウェアの使用	34
ディスクからのマルチメディア ソフトウェアのインストール	35
オーディオ	35
外付けオーディオ デバイスの接続	35
オーディオ機能の確認	36
オーディオ出力 (ヘッドフォン) コネクタの使用	36
オーディオ入力 (マイク) コネクタの使用	36
動画	37
外付けモニター コネクタの使用	37
HDMI デバイスの接続	37
HDMI 用のオーディオの設定 (一部のモデルのみ)	38
オプティカル ドライブ	38
取り付けられているオプティカル ドライブの確認	38
オプティカル ディスクの使用 (CD、DVD、および BD)	39
正しいディスク (CD、DVD、および BD) の選択	39
CD-R ディスク	40

CD-RW ディスク	40
DVD±R ディスク	40
DVD±RW ディスク	40
LightScribe DVD+R ディスク	41
ブルーレイ ディスク (BD)	41
CD、DVD、または BD の再生	41
自動再生の設定	42
DVD の地域設定の変更	42
著作権に関する警告	43
CD または DVD のコピー	43
CD、DVD、または BD の作成 (書き込み)	43
オプティカル ディスク (CD、DVD、または BD) の取り出し	44
トラブルシューティング	45
オプティカル ディスク トレイが開かず、CD、DVD、または BD を取り出 せない場合	45
コンピューターがオプティカル ドライブを検出しない場合	46
再生中の干渉からの保護	47
ディスクが再生できない場合	47
ディスクが自動再生されない場合	48
動画が停止したりコマ落ちしたりする場合や、再生が不安定な場合	48
動画が外付けディスプレイに表示されない場合	48
ディスクへの書き込み処理が行われず、または完了する前に終了してし まう場合	48
デバイス ドライバーを再インストールする必要がある場合	49
最新の HP デバイス ドライバーの入手	49
最新の Windows デバイス ドライバーの入手	50
Web カメラ	50
Web カメラのプロパティの調整	50
5 電源の管理	52
電源オプションの設定	52
省電力設定の使用	52
スリープの開始および終了	52
ハイバネーションの開始および終了	53
バッテリー メーターの使用	53
電源プランの使用	53
現在の電源プランの表示	53
異なる電源プランの選択	54
電源プランのカスタマイズ	54
復帰時のパスワード保護の設定	54
外部電源の使用	54
AC アダプターの接続	55
AC アダプターのテスト	56

バッテリー電源の使用	56
バッテリーの確認	57
[ヘルプとサポート]でのバッテリー情報の確認	57
[HP バッテリー チェック]の使用	57
バッテリー充電残量の表示	57
バッテリーの着脱	57
バッテリーの充電	59
バッテリーの放電時間の最長化	60
ロー バッテリー状態への対処	60
ロー バッテリー状態の確認	60
ロー バッテリー状態の解決	60
外部電源を使用できる場合のロー バッテリー状態の解決	61
充電済みのバッテリーを使用できる場合のロー バッテリー状態の解決	61
電源を使用できない場合のロー バッテリー状態の解決	61
ハイバネーションを終了できない場合のロー バッテリー状態の解決	61
バッテリー ゲージの調整	61
手順 1 : バッテリーを完全に充電する	61
手順 2 : ハイバネーションおよびスリープを無効にする	62
手順 3 : バッテリーを放電する	62
手順 4 : バッテリーを完全に再充電する	63
手順 5 : ハイバネーションおよびスリープを再び有効にする	63
バッテリーの節電	63
バッテリーの保管	63
使用済みのバッテリーの処理	64
バッテリーの交換	64
グラフィックス モードの切り替え (一部のモデルのみ)	64
コンピューターのシャットダウン	65
6 ドライブ	66
取り付けられているドライブの確認	66
ドライブの取り扱い	66
ハードドライブ パフォーマンスの向上	67
[ディスク デフラグ]の使用	67
[ディスク クリーンアップ]の使用	68
[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]の使用	68
[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]の状態の確認	68
[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]ソフトウェアの使用	69
ハードドライブの交換	70
7 外付けデバイス	75
USB (Universal Serial Bus) デバイスの使用	75

USB デバイスの接続	75
USB デバイスの取り外し	75
eSATA デバイスの使用	76
eSATA デバイスの接続	76
eSATA デバイスの取り外し	76
8 外付けメディア カード	78
メディア カードの使用	78
メディア カードの挿入	78
メディア カードの取り出し	79
9 メモリ モジュール	80
メモリ モジュールの追加または交換	80
拡張メモリ モジュール スロットのメモリ モジュールの追加または交換	80
メイン メモリ モジュール スロットのメモリ モジュールのアップグレード	83
10 セキュリティ	87
コンピューターの保護	87
パスワードの使用	87
Windows でのパスワードの設定	88
セットアップ ユーティリティでのパスワードの設定	89
管理者パスワード	89
セットアップ ユーティリティの管理者パスワードの管理	90
管理者パスワードの入力	90
電源投入時パスワード	90
電源投入時パスワードの管理	91
電源投入時パスワードの入力	91
ウイルス対策ソフトウェアの使用	91
ファイアウォール ソフトウェアの使用	92
緊急セキュリティ アップデートのインストール	92
別売のセキュリティ ロック ケーブルの接続	92
指紋認証システムの使用	93
指紋認証システムの位置	93
指紋の登録	94
登録された指紋を使用した Windows へのログオン	95
11 HP QuickWeb	96
[HP QuickWeb]の有効化および無効化	96
12 セットアップ ユーティリティ	97
セットアップ ユーティリティの開始	97
セットアップ ユーティリティの使用	97

セットアップ ユーティリティの言語の変更	97
セットアップ ユーティリティでの移動および選択	98
システム情報の表示	98
セットアップ ユーティリティでの初期設定の復元	99
セットアップ ユーティリティの終了	99
セットアップ ユーティリティのメニュー	99
[Main] (メイン) メニュー	100
[Security] (セキュリティ) メニュー	100
[System Configuration] (システム コンフィギュレーション) メニュー	100
[Diagnosics] (診断) メニュー	101
13 ソフトウェアの更新	102
BIOS の更新	102
BIOS のバージョンの確認	102
BIOS アップデートのダウンロード	103
プログラムおよびドライバーの更新	104
14 バックアップおよび復元	105
リカバリ ディスクの作成	105
情報のバックアップ	106
Windows の[バックアップと復元]の使用	107
システムの復元ポイントの使用	107
復元ポイントを作成するとき	108
システムの復元ポイントの作成	108
以前のある日時の状態への復元	108
復元の実行	108
リカバリ ディスクからの復元	109
専用の復元用パーティションからの復元 (一部のモデルのみ)	109
索引	110

1 機能

ハードウェアの確認

お使いのコンピューターに付属しているコンポーネントは、国や地域、およびモデルによって異なる場合があります。この章の図には、ほとんどのモデルに共通の機能が示されています。

コンピューターに取り付けられているハードウェアの一覧を参照するには、以下の操作を行います。

1. [スタート]→[コントロール パネル]→[システムとセキュリティ]の順に選択します。
2. [システム]領域の[デバイス マネージャー]をクリックします。

[デバイス マネージャー]を使用して、ハードウェアの追加またはデバイス設定の変更もできます。

表面の各部

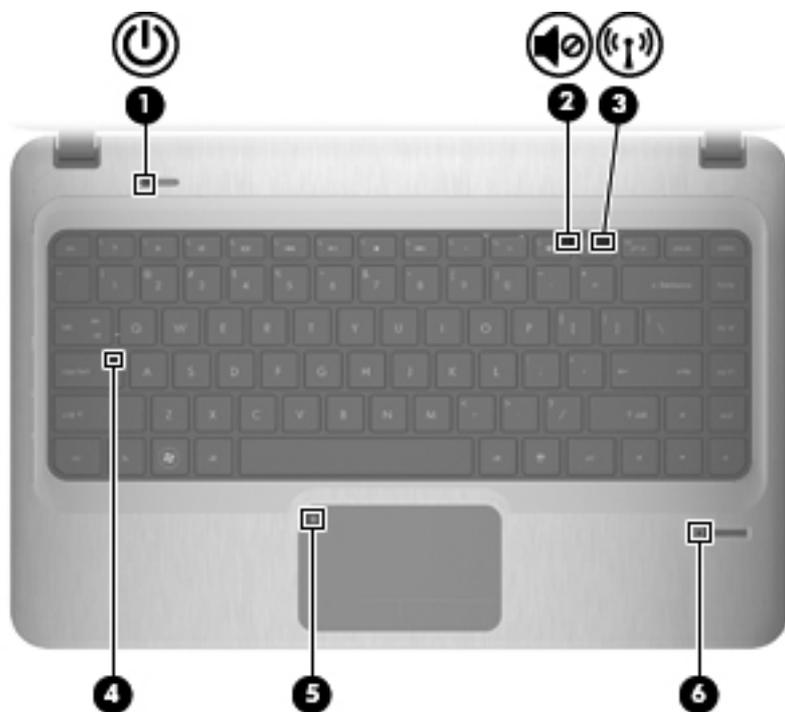
タッチパッド



名称	説明
(1) タッチパッド オン/オフ ボタン	タッチパッドをオンまたはオフにします。タッチパッドをオンまたはオフにするには、ボタンをすばやくダブルタップします
(2) タッチパッド*	ポインターを移動して、画面上の項目を選択したり、アクティブにしたりします
(3) 左のタッチパッド ボタン*	外付けマウスの左ボタンと同様に機能します
(4) 右のタッチパッド ボタン*	外付けマウスの右ボタンと同様に機能します

*この表では初期設定の状態について説明しています。ポインティング デバイスの設定を表示したり変更したりするには、[スタート]→[デバイスとプリンター]の順に選択します。次に、お使いのデバイスを表すアイコンを右クリックして、[マウス設定]を選択します。

ランプ



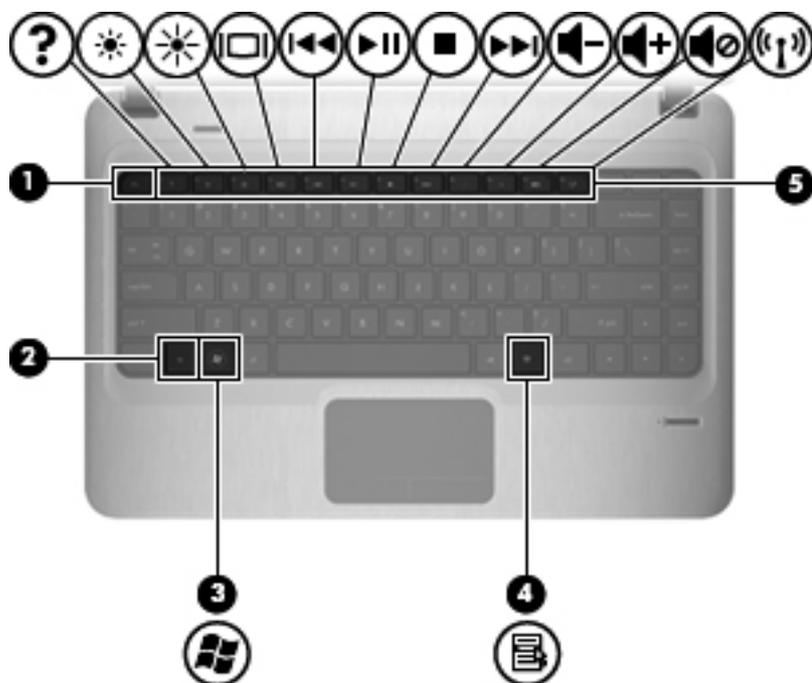
名称	説明
(1)  電源ランプ	<ul style="list-style-type: none">• 白色に点灯：電源がオンになっています• 白色で点滅：コンピューターがスリープ状態になっています 注記： コンピューターの左側面に電源ランプがもう1つあります
(2)  ミュート（消音）ランプ	オレンジ色：スピーカーのサウンドがオフになっています
(3)  無線ランプ	<ul style="list-style-type: none">• 白色：無線 LAN デバイスや Bluetooth® デバイスなどの内蔵無線デバイスの電源がオンになっています 注記： 無線デバイスは、出荷時に有効に設定されています <ul style="list-style-type: none">• オレンジ色：すべての無線デバイスがオフになっています
(4) Caps Lock ランプ	白色：Caps Lock がオンになっています
(5)  タッチパッド ランプ	オレンジ色：タッチパッドが無効になっています
(6) 指紋認証システム ランプ	<ul style="list-style-type: none">• 白色：指紋が正常に読み取れています• オレンジ色：指紋が読み取れていません

電源ボタンおよび指紋認証システム



名称	説明
(1) 電源ボタン*	<ul style="list-style-type: none">• コンピューターの電源が切れているときにボタンを押すと、電源が入ります• コンピューターの電源が入っているときにボタンを短く押すと、スリープが開始されます• コンピューターがスリープ状態のときにボタンを短く押すと、スリープが終了します• コンピューターがハイバネーション状態のときにボタンを短く押すと、ハイバネーションが終了します <p>コンピューターが応答せず、Windows®のシャットダウン手順を実行できないときは、電源ボタンを5秒程度押したままにすると、コンピューターの電源が切れます</p> <p>電源設定について詳しく調べるには、[スタート]→[コントロール パネル]→[システムとセキュリティ]→[電源オプション]の順に選択します</p>
(2) 指紋認証システム	パスワードの代わりに指紋認証を使用して Windows にログオンできます

*この表では初期設定の状態について説明しています。初期設定値の変更については、[ヘルプとサポート]からユーザー ガイドを参照してください。



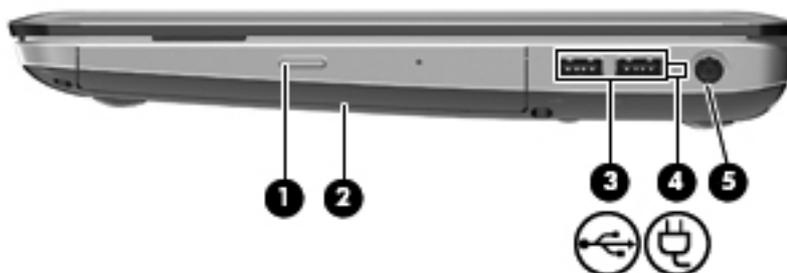
名称	説明
(1) esc キー	fn キーと組み合わせて押すことによって、システム情報を表示します
(2) fn キー	esc キーと組み合わせて押すことによって、システム情報を表示します
(3) Windows ロゴ キー	Windows の[スタート]メニューを表示します
(4) Windows アプリケーション キー	ポインターを置いた項目のショートカット メニューを表示します
(5) 操作キー	頻繁に使用する機能を実行します

前面の各部



名称	説明
(1) メディア スロット	以下のフォーマットの別売のメディア カードに対応しています <ul style="list-style-type: none">メモリスティック (MS)メモリスティック PRO (MS-PRO)マルチメディアカード (MMC)SD (Secure Digital) メモリーカードSDHC (Secure Digital High Capacity) メモリーカード (標準サイズおよび大きいサイズ)xD ピクチャーカード (XD)
(2) スピーカー (×2)	サウンドを出力します

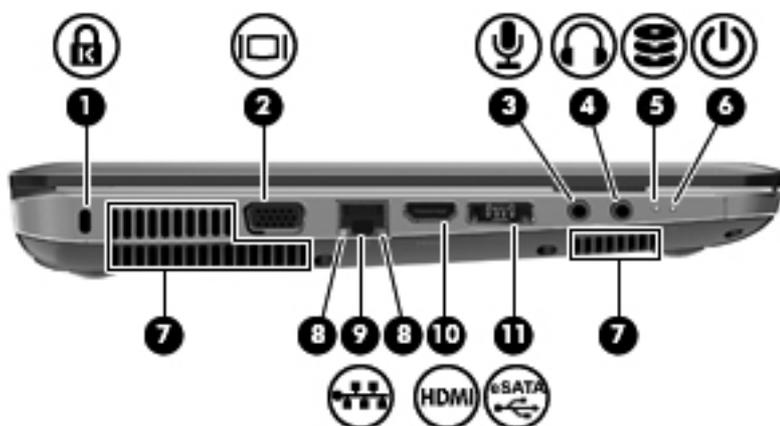
右側面の各部



名称	説明
(1) オプティカル ドライブ ランプ	<ul style="list-style-type: none">点灯：オプティカル ドライブにアクセスしています消灯：オプティカル ドライブはアイドル状態です
(2) オプティカル ドライブ	オプティカル ディスクの読み取りおよび書き込みを行います
(3)  USB コネクタ (×2)	別売の USB デバイスを接続します

名称	説明
(4) バッテリー ランプ	<ul style="list-style-type: none"> 白色：コンピューターは外部電源に接続され、バッテリーの充電は完了しています オレンジ色：コンピューターは外部電源に接続され、バッテリーが充電中です 点滅：コンピューターの電源としてバッテリーのみを使用していて、ロー バッテリー状態になっています。完全なロー バッテリー状態になった場合は、バッテリー ランプがすばやく点滅し続けます
(5)  電源コネクタ	AC アダプターを接続します

左側面の各部



名称	説明
(1)  セキュリティ ロック ケーブル用スロット	<p>別売のセキュリティ ロック ケーブルをコンピューターに接続します</p> <p>注記： セキュリティ ロック ケーブルに抑止効果はありますが、コンピューターの盗難や誤った取り扱いを完全に防ぐものではありません</p>
(2)  外付けモニター コネクタ	モニターやプロジェクターなどの別売の外付けディスプレイをコンピューターに接続します
(3)  オーディオ入力（マイク）コネクタ	別売のコンピューター用ヘッドセットのマイク、ステレオ アレイ マイク、またはモノラル マイクを接続します
(4)  オーディオ出力（ヘッドフォン）コネクタ	別売の電源付きステレオ スピーカー、ヘッドフォン、イヤフォン、ヘッドセット、またはテレビ オーディオを接続したときに、サウンドを出力します
(5)  ドライブ ランプ	<ul style="list-style-type: none"> 白色：ハードドライブにアクセスしています オレンジ色：[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]によってハードドライブが一時停止しています

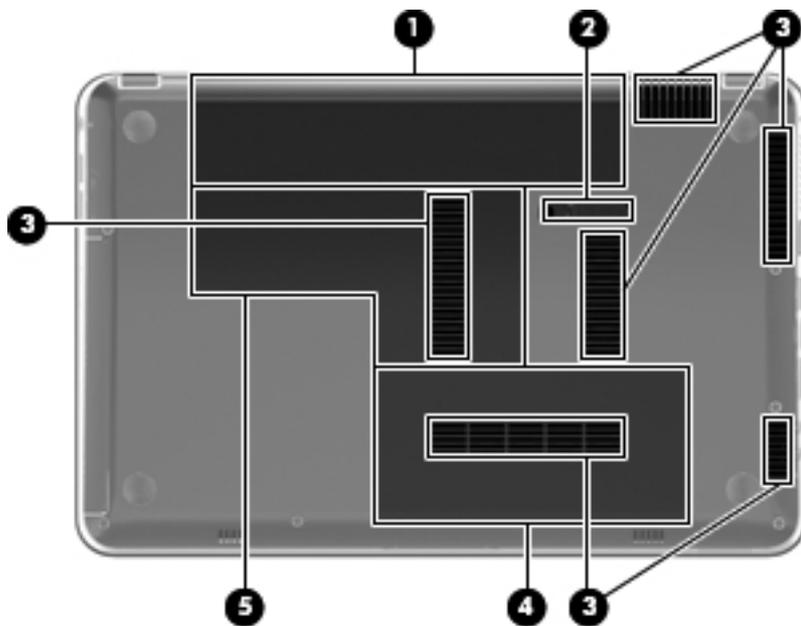
名称		説明
(6)	 電源ランプ	<ul style="list-style-type: none"> ● 点灯：電源がオンになっています ● 点滅：コンピューターがスリープ状態になっています <p>注記： 電源ボタンの横に電源ランプがもう1つあります</p>
(7)	通気孔 (×3)	<p>コンピューター内部の温度が上がりすぎないように空気を通します</p> <p>注記： 内部コンポーネントを冷却して過熱を防ぐため、コンピューターのファンは自動的に作動します。通常の操作を行っているときに内部ファンが回転したり停止したりしますが、これは正常な動作です</p>
(8)	RJ-45 (ネットワーク) ランプ	<ul style="list-style-type: none"> ● 白色：ネットワークに接続しています ● オレンジ色：ネットワークが動作しています
(9)	 RJ-45 (ネットワーク) コネクタ	ネットワーク ケーブルを接続します
(10)	HDMI コネクタ	別売の HDMI デバイスを接続します
(11)	eSATA/USB コンボ コネクタ	別売の USB デバイス、または eSATA 外部ハードドライブなどの高性能な eSATA コンポーネントを接続します

ディスプレイの各部



名称	説明
(1) 内蔵ディスプレイ スイッチ	コンピューターの電源が入っている状態でディスプレイを閉じると、ディスプレイの電源が切れます
(2) Web カメラ ランプ	白色 : Web カメラを使用しています
(3) Web カメラ	動画を録画したり、静止画像を撮影したりします
(4) 内蔵マイク	サウンドを録音します

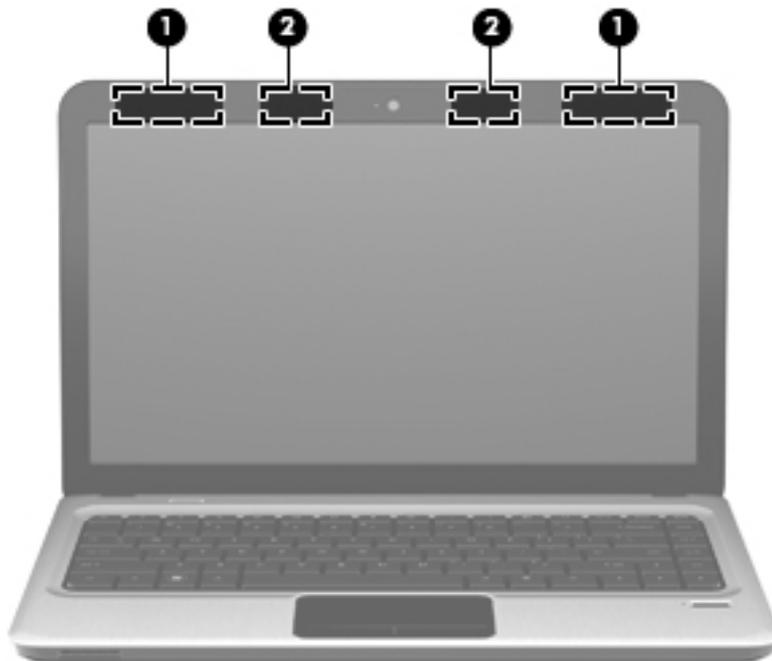
裏面の各部



名称	説明
(1) バッテリー ベイ	バッテリーが装着されています
(2) バッテリー リリース ラッチ	バッテリー ベイからバッテリーを取り外します
(3) 通気孔 (×6)	コンピューター内部の温度が上がりすぎないように空気を通します 注記 : 内部コンポーネントを冷却して過熱を防ぐため、コンピューターのファンは自動的に作動します。通常の操作を行っているときに内部ファンが回転したり停止したりしますが、これは正常な動作です
(4) ハードドライブ ベイ	ハードドライブが装着されています
(5) メモリ/無線モジュール コンパートメント	無線 LAN モジュール、無線 WAN モジュール、およびメモリ モジュールを装着します 注記 : システムの応答停止を防ぐため、無線 LAN モジュールを交換する場合は、日本国内の無線デバイスの認定/承認機関でこのコンピューター用に認定された無線モジュールのみを使用してください。モジュールを交換した後にエラー メッセージが表示される場合は、モジュールを取り外してコンピューターを元の状態に戻した後で、[ヘルプとサポート]からサポート窓口にお問い合わせください

無線アンテナ

一部のモデルのコンピューターでは、1台以上の無線デバイスからの信号の送受信に2本以上のアンテナが使用されます。アンテナはコンピューターの外側からは見えません。



名称	説明
(1) 無線 LAN アンテナ (×2) *	無線ローカル エリア ネットワーク (無線 LAN) で通信する無線信号を送受信します
(2) 無線 WAN アンテナ (×2) (一部のモデルのみ) *	無線ワイドエリア ネットワーク (無線 WAN) で通信する無線信号を送受信します

*アンテナはコンピューターの外側からは見えません。転送が最適に行われるようにするため、アンテナの周囲には障害物を置かないでください。

お住まいの地域の無線に関する規定情報については、『規定、安全、および環境に関するご注意』を参照してください。これらの規定情報には、[ヘルプとサポート]からアクセスできます。

その他のハードウェア コンポーネント



名称	説明
(1) 電源コード*	AC アダプターを電源コンセントに接続します
(2) AC アダプター	AC 電源を DC 電源に変換します
(3) バッテリ*	コンピューターが外部電源に接続されていないときに、コンピューターに電力を供給します

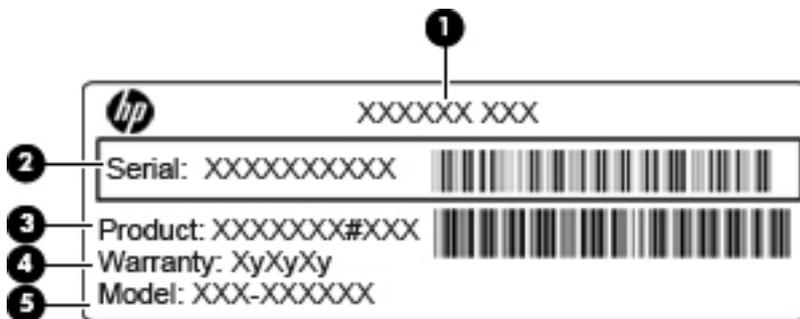
*バッテリーおよび電源コードの外観は国や地域によって異なります。この製品を日本国内で使用する場合は、製品に付属している電源コードをお使いください。付属の電源コードは、他の製品では使用できません。

ラベル

コンピューターに貼付されているラベルには、システムの問題を解決したり、コンピューターを日本国外で使用したりするときに必要な情報が記載されています。

- サービス タグ：以下のような重要な情報が記載されています。

サービス タグ ラベルは、コンピューターの裏面に貼付されています。これらの情報は、サポート窓口にお問い合わせになるときに必要です。



項目	名称	説明
(1)	製品名	コンピューターの前面に貼付されている製品名です

項目	名称	説明
(2)	シリアル番号	各製品に一意の英数字 ID です
(3)	製品番号	ハードウェア コンポーネントに関する特定の情報を示す英数字 ID です。製品番号は、サービス担当者が必要なコンポーネントや部品を確認する場合に役立ちます
(4)	保証期間	このコンピューターの標準保証期間（年数）です
(5)	モデルの説明（一部のモデルのみ）	お使いのコンピューターに関する文書、ドライバー、サポート情報を得るときに必要な使用します

- Microsoft® Certificate of Authenticity : Windows のプロダクト キー（Product Key、Product ID）が記載されています。プロダクト キーは、オペレーティング システムのアップデートやトラブルシューティングのときに必要になる場合があります。このラベルは、コンピューターの裏面に貼付されています。
- 規定ラベル : コンピューターの規定に関する情報が記載されています。規定ラベルは、バッテリー ベイ内に貼付されています。
- 無線認定/認証ラベル（一部のモデルのみ） : オプションの無線デバイスに関する情報と、認定各国または各地域の一部の認定マークが記載されています。オプションのデバイスは、無線ローカル エリア ネットワーク（無線 LAN）デバイスや別売の Bluetooth デバイスなどです。1 つ以上の無線デバイスを搭載している機種には、1 つ以上の認定ラベルが貼付されています。日本国外でモデムを使用するときに、この情報が必要になる場合があります。無線認定/認証ラベルはバッテリー ベイの内側に貼付されています。
- SIM (Subscriber Identity Module) ラベル（一部のモデルのみ） : SIM の ICCID (Integrated Circuit Card Identifier) が記載されています。このラベルは、バッテリー ベイ内に貼付されています。
- HP モバイル ブロードバンド モジュール シリアル番号ラベル（一部のモデルのみ） : HP モバイル ブロードバンド モジュールのシリアル番号が記載されています。このラベルは、バッテリー ベイ内に貼付されています。

2 ネットワーク

無線デバイスの使用

無線技術では、有線のケーブルの代わりに電波を介してデータを転送します。お買い上げいただいたコンピューターには、以下の無線デバイスが1つ以上内蔵されている場合があります。

- 無線ローカル エリア ネットワーク（無線 LAN）デバイス：会社の事務所、自宅、および公共の場所（空港、レストラン、喫茶店、ホテル、大学など）で、コンピューターを無線ローカル エリア ネットワーク（一般に、無線 LAN ネットワーク、無線 LAN、WLAN と呼ばれます）に接続します。無線 LAN では、各モバイル無線デバイスは無線ルーターまたは無線アクセス ポイントと通信します。
- HP モバイル ブロードバンド モジュール：モバイル ネットワーク事業者のサービスが利用できる場所であればどこでも情報にアクセスできる、無線ワイド エリア ネットワーク（無線 WAN）デバイスです。無線 WAN では、各モバイル デバイスはモバイル ネットワーク事業者の基地局と通信します。モバイル ネットワーク事業者は、地理的に広い範囲に基地局（携帯電話の通信塔に似ています）のネットワークを設置し、県や地域、場合によっては国全体にわたってサービスエリアを効率的に提供します。
- Bluetooth デバイス：他の Bluetooth 対応デバイス（コンピューター、電話機、プリンター、ヘッドセット、スピーカー、カメラなど）に接続するためのパーソナル エリア ネットワーク（PAN）を確立します。PAN では、それぞれのデバイスが他のデバイスと直接通信するため、デバイス間の距離を比較的近くする必要があります（通常は約 10 m 以内）。

無線 LAN デバイスを搭載したコンピューターは、以下の IEEE 業界標準のうち 1 つ以上に対応しています。

- 802.11b：最初に普及した規格であり、最大 11 Mbps のデータ転送速度をサポートし、2.4 GHz の周波数で動作します。
- 802.11g：最大 54 Mbps のデータ転送速度をサポートし、2.4 GHz の周波数で動作します。802.11g の無線 LAN デバイスは 802.11b デバイスとの後方互換性があるため、両方を同じネットワークで使用できます。
- 802.11a：最大 54 Mbps のデータ転送速度をサポートし、5 GHz の周波数で動作します。

 **注記：** 802.11a は 802.11b および 802.11g との互換性はありません。

- 802.11n は最大 450 Mbps のデータ速度をサポートし、2.4 GHz または 5 GHz で動作します。802.11a、b、g との互換性があります。

無線技術について詳しくは、[ヘルプとサポート]の情報および Web サイトへのリンクを参照してください。

無線アイコンとネットワーク ステータス アイコンの確認

アイコン	名前	説明
	無線（接続済み）	コンピューターのハードウェアとしての無線ランプおよび無線操作キーの位置を示します。ソフトウェアとしては、コンピューター上の[HP Wireless Assistant]ソフトウェアを示し、また 1 つ以上の無線デバイスがオンになっていることを表します

アイコン	名前	説明
	無線（切断済み）	コンピューター上の[HP Wireless Assistant]ソフトウェアおよびすべての無線デバイスがオフになっていることを示します
	有線ネットワーク（接続済み）	1つ以上のネットワーク ドライバーがインストールされていて、1つ以上のネットワーク デバイスがネットワークに接続されていることを示します
	有線ネットワーク（無効/切断済み）	1つ以上のネットワーク ドライバーがインストールされていて、すべてのネットワーク デバイスまたはすべての無線デバイスが Windows の[コントロール パネル]によって無効になっていて、どのネットワーク デバイスも有線ネットワークに接続されていないことを示します
	ネットワーク（無効/切断済み）	1つ以上のネットワーク ドライバーがインストールされていて、使用できる無線接続がないか、すべての無線ネットワーク デバイスが無線操作キーまたは[HP Wireless Assistant]によって無効になっていて、どのネットワーク デバイスも有線ネットワークに接続されていないことを示します
	ネットワーク（接続済み）	1つ以上のネットワーク ドライバーがインストールされ、1つ以上のネットワーク デバイスが無線ネットワークに接続されていて、1つ以上のネットワーク デバイスが有線ネットワークに接続されていることを示します
	ネットワーク（切断済み）	1つ以上のネットワーク ドライバーがインストールされていて、無線接続を使用できるが、どのネットワーク デバイスも有線または無線ネットワークに接続されていないことを示します

無線コントロールの使用

以下の機能を使用して、コンピューター本体の無線デバイスを制御できます。

- 無線操作キー
- [HP Wireless Assistant]ソフトウェア
- オペレーティング システムの制御機能

無線操作キーの使用

コンピューターには無線操作キー、1つ以上の無線デバイス、および1つの無線ランプがあります。出荷時の設定では、コンピューターのすべての無線デバイスは有効になっているため、コンピューターの電源を入れると白色の無線ランプが点灯します。

無線ランプは、無線デバイスの全体的な電源の状態を表すものであり、個々のデバイスの状態を表すものではありません。無線ランプが白色の場合は、少なくとも1つの無線デバイスがオンになっていることを示しています。無線ランプがオレンジ色に点灯している場合は、すべての無線デバイスがオフになっていることを示しています。

出荷時の設定ではすべての無線デバイスが有効になっています。このため、複数の無線デバイスのオンとオフの切り替えを、無線操作キーで同時に行うことができます。無線デバイスのオンとオフを個別に調整するには、[HP Wireless Assistant]ソフトウェアを使用します。

[HP Wireless Assistant]ソフトウェアの使用

無線デバイスのオンとオフは、[HP Wireless Assistant]ソフトウェアを使用して切り替えることができます。無線デバイスがセットアップ ユーティリティで無効になっている場合、[HP Wireless Assistant]を使用してそのデバイスのオンとオフを切り替えるには、最初にセットアップ ユーティリティで無線デバイスを有効に設定しなおしておく必要があります。

 **注記：** 無線デバイスを有効にしても（オンにしても）、コンピューターがネットワークまたはBluetooth 対応デバイスに自動的に接続されるわけではありません。

無線デバイスの状態を表示するには、**[隠れているインジケータを表示します]**アイコン（通知領域の左側にある矢印）をクリックし、無線アイコンの上にマウス ポインターを置きます。

無線アイコンが通知領域に表示されていない場合、以下の操作を行って[HP Wireless Assistant]のプロパティを変更します。

1. [スタート]→[コントロール パネル]→[ハードウェアとサウンド]→[Windows モビリティ センター]の順に選択します。
2. [Windows モビリティ センター]の最下部の[HP Wireless Assistant]の領域にある無線アイコンをクリックします。
3. [プロパティ]をクリックします。
4. [通知領域の[HP Wireless Assistant]アイコン]の横のチェック ボックスにチェックを入れます。
5. [適用]をクリックします。
6. [閉じる]をクリックします。

詳しくは、[HP Wireless Assistant]ソフトウェアのヘルプを参照してください。

1. [Windows モビリティ センター]にある無線アイコンをクリックして[HP Wireless Assistant]を開きます。
2. [ヘルプ]ボタンをクリックします。

オペレーティング システムの制御機能の使用

一部のオペレーティング システムでは、オペレーティング システム自体の機能として内蔵無線デバイスと無線接続を管理する方法が提供されています。たとえば、Windows では、[ネットワークと共有センター]によって、接続またはネットワークのセットアップ、ネットワークへの接続、無線ネットワークの管理、およびネットワークの問題の診断と修復が行えます。

[ネットワークと共有センター]にアクセスするには、[スタート]→[コントロール パネル]→[ネットワークとインターネット]→[ネットワークと共有センター]の順に選択します。

詳しくは、[スタート]→[ヘルプとサポート]の順に選択します。

無線 LAN の使用

無線 LAN デバイスを使用すると、無線ルーターまたは無線アクセス ポイントによってリンクされた、複数のコンピューターおよび周辺機器で構成されている無線ローカル エリア ネットワーク（無線 LAN）にアクセスできます。

 **注記：** 無線ルーターと無線アクセス ポイントという用語は、同じ意味で使用されることがよくあります。

- 企業または公共の無線 LAN など、大規模な無線 LAN では通常、大量のコンピューターおよび周辺機器に対応したり、重要なネットワーク機能を分離したりできる無線アクセス ポイントを使用します。
- ホーム オフィス無線 LAN やスモール オフィス無線 LAN では通常、無線ルーターを使用して、複数台の無線接続または有線接続のコンピューターでインターネット接続、プリンター、およびファイルを共有できます。追加のハードウェアやソフトウェアは必要ありません。

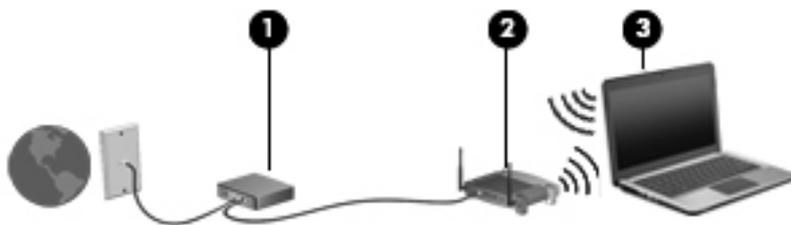
お使いのコンピューターに搭載されている無線 LAN デバイスを使用するには、無線 LAN インフラストラクチャ（サービス プロバイダーか、公共または企業ネットワークを介して提供される）に接続する必要があります。

無線 LAN のセットアップ

無線 LAN をセットアップし、インターネットに接続するには、以下のような準備が必要です。

- ブロードバンド モデム (DSL または ケーブル) (1) およびインターネット サービス プロバイダー (ISP) が提供する高速インターネット サービス
- 無線ルーター (別売) (2)
- 無線コンピューター (3)

下の図は、インターネットに接続している無線ネットワークのインストール例を示しています。



お使いのネットワークを拡張する場合、インターネットのアクセス用に新しい無線または有線のコンピューターをネットワークに追加できます。

無線 LAN のセットアップについて詳しくは、ルーターの製造元または ISP から提供されている情報を参照してください。

無線 LAN の保護

無線 LAN の標準仕様に備わっているセキュリティ機能は限られていて、基本的には大規模な攻撃ではなく簡単な盗聴を防ぐための機能しかありません。そのため、無線 LAN には、既知でよく確認されているセキュリティの脆弱性があると認識しておくことが大切です。

「無線 LAN スポット」と呼ばれるインターネット カフェや空港などで利用できる公衆無線 LAN では、セキュリティ対策が取られていないことがあります。公共の場でのセキュリティと匿名性を高める新しい技術は、無線デバイスの製造元や無線 LAN スポットのサービス プロバイダーによって開発されている段階です。無線 LAN スポットを利用するときにコンピューターのセキュリティに不安がある場合は、ネットワークに接続しての操作を、重要でない電子メールや基本的なネット サーフィン程度にとどめておいてください。

無線 LAN をセットアップする場合や、既存の無線 LAN にアクセスする場合は、常にセキュリティ機能を有効にして、不正アクセスからネットワークを保護してください。一般的なセキュリティ レベルは、WPA (Wi-Fi Protected Access) -Personal と WEP (Wired Equivalent Privacy) です。無線信号はネットワークの外に出てしまうため、他の無線 LAN デバイスに保護されていない信号を拾わ

れ、(許可しない状態で) ネットワークに接続されたり、ネットワークでやり取りされる情報を取得されたりする可能性があります。ただし、事前に対策を取ることで無線 LAN を保護できます。

- **セキュリティ機能内蔵の無線トランスミッタを使用する**

無線基地局、ゲートウェイ、またはルーターといったトランスミッタの多くには、無線セキュリティ プロトコルやファイアウォールといったセキュリティ機能が内蔵されています。適切な無線トランスミッタを使用すれば、無線セキュリティでの最も一般的なリスクからネットワークを保護できます。

- **ファイアウォールを利用する**

ファイアウォールは、ネットワークに送信されてくるデータとデータ要求をチェックし、疑わしいデータを破棄する防御壁です。利用できるファイアウォールにはさまざまな種類があり、ソフトウェアとハードウェアの両方があります。ネットワークによっては、両方の種類を組み合わせで使用します。

- **無線を暗号化する**

さまざまな種類の高度な暗号プロトコルが、無線 LAN ネットワークで利用できます。お使いのネットワークのセキュリティにとって最適な解決策を、以下の中から探してください。

- **WEP (Wired Equivalent Privacy)** は、すべてのネットワーク データを送信される前に WEP キーで符号化または暗号化する無線セキュリティ プロトコルです。通常は、ネットワーク側が割り当てた WEP キーを使用できます。また、自分でキーを設定したり、異なるキーを生成したり、他の高度なオプションを選んだりすることもできます。正しいキーを持たない他のユーザーが無線 LAN を使用することはできなくなります。
- **WPA (Wi-Fi Protected Access)** は、WEP と同じように、セキュリティ設定によってネットワークから送信されるデータの暗号化および復号化を行います。ただし、WEP のように 1 つの決められたセキュリティ キーを利用して暗号化を行うのではなく、「TKIP」(temporal key integrity protocol) を使用してパケットごとに新しいキーを動的に生成します。また、ネットワーク上にあるコンピューターごとに異なるキーのセットを生成します。

無線 LAN への接続

無線 LAN に接続するには、以下の操作を行います。

1. 無線 LAN デバイスがオンになっていることを確認します。オンになっている場合は、無線ランプが白色に点灯しています。無線ランプがオレンジ色に点灯している場合は、無線操作キーを押します。
2. タスクバーの右端の通知領域にあるネットワーク アイコンをクリックします。
3. 一覧から無線 LAN を選択します。
4. [接続] をクリックします。

ネットワークがセキュリティ設定済みの無線 LAN である場合は、セキュリティ コードであるネットワーク セキュリティ キーの入力を求めるメッセージが表示されます。コードを入力し、[OK] をクリックして接続を完了します。

 **注記：** 無線 LAN が一覧に表示されない場合は、無線ルーターまたはアクセス ポイントの範囲外にいることを示します。

注記： 接続したいネットワークが表示されない場合は、[ネットワークと共有センターを開く] → [新しい接続またはネットワークのセットアップ] の順にクリックします。オプションの一覧が表示されます。手動での検索や、ネットワークへの接続、新しいネットワーク接続の作成などのオプションを選択できます。

接続完了後、タスクバー右端の通知領域にあるネットワーク アイコンの上にマウス ポインターを置くと、接続の名前およびステータスを確認できます。

 **注記：** 動作範囲（無線信号が届く範囲）は、無線 LAN の実装、ルーターの製造元、および壁や床などの建造物やその他の電子機器からの干渉に応じて異なります。

無線 LAN の使用方法について詳しくは、以下のリソースを参照してください。

- インターネット サービス プロバイダー (ISP) から提供される情報や、無線ルーターやその他の無線 LAN 機器に添付されている説明書等
- [ヘルプとサポート]で提供されている情報や、そこにある Web サイトのリンク

近くにある公共無線 LAN の一覧については、ISP に問い合わせるか Web を検索してください。公共無線 LAN の一覧を掲載している Web サイトは、「無線 LAN スポット」などのキーワードで検索できます。それぞれの公共無線 LAN の場所について、費用と接続要件を確認します。

企業無線 LAN へのコンピューターの接続について詳しくは、ネットワーク管理者または IT 部門に問い合わせてください。

他のネットワークへのローミング

お使いのコンピューターを他の無線 LAN が届く範囲に移動すると、Windows はそのネットワークへの接続を試みます。接続の試行が成功すると、お使いのコンピューターは自動的にそのネットワークに接続されます。新しいネットワークが Windows によって認識されなかった場合は、お使いの無線 LAN に接続するために最初に行った操作をもう一度実行してください。

HP モバイル ブロードバンドの使用（一部のモデルおよび一部の国や地域のみ）

HP モバイル ブロードバンドを使用すると、コンピューターで無線ワイド エリア ネットワーク (WWAN) を使用できるため、無線 LAN の使用時よりも、より多くの場所のより広い範囲からインターネットにアクセスできます。HP モバイル ブロードバンドを使用するには、ネットワーク サービス プロバイダー（**モバイル ネットワーク事業者**と呼ばれます）と契約する必要があります。ネットワーク サービス プロバイダーは、ほとんどの場合、携帯電話事業者です。HP モバイル ブロードバンドの対応範囲は、携帯電話の通話可能範囲とほぼ同じです。

モバイル ネットワーク事業者のサービスを利用して HP モバイル ブロードバンドを使用すると、出張や移動中、または無線 LAN スポットの範囲外にいるときでも、インターネットへの接続、電子メールの送信、および企業ネットワークへの接続が常時可能になります。

HP モバイル ブロードバンドは、ノートブック コンピューターのデータ接続を可能にする UNDP (Universal Notebook Data Platform) をサポートしています。

モバイル ブロードバンド サービスを有効にするには、HP モバイル ブロードバンド モジュールのシリアル番号が必要な場合があります。シリアル番号は、コンピューターのバッテリー ベイの内側に貼付されているラベルに印刷されています。

モバイル ネットワーク事業者によっては、SIM (Subscriber Identity Module) が必要な場合があります。SIM には、PIN (個人識別番号) やネットワーク情報など、ユーザーに関する基本的な情報が含まれています。一部のコンピューターでは、SIM がバッテリー ベイにあらかじめ装着されています。SIM があらかじめ装着されていない場合、SIM は、コンピューターに付属している HP モバイル ブロードバンド情報に含まれているか、モバイル ネットワーク事業者から別途入手できることがあります。

SIM の装着および取り出しについて詳しくは、この章の「SIM の装着」および「SIM の取り出し」の項を参照してください。

HP モバイル ブロードバンドに関する情報や、推奨されるモバイル ネットワーク事業者のサービスを有効にする方法については、コンピューターに付属している HP モバイル ブロードバンド情報を参照してください。詳しくは、HP の Web サイト、<http://h50146.www5.hp.com/products/portables/mobilebroadband/>を参照してください。

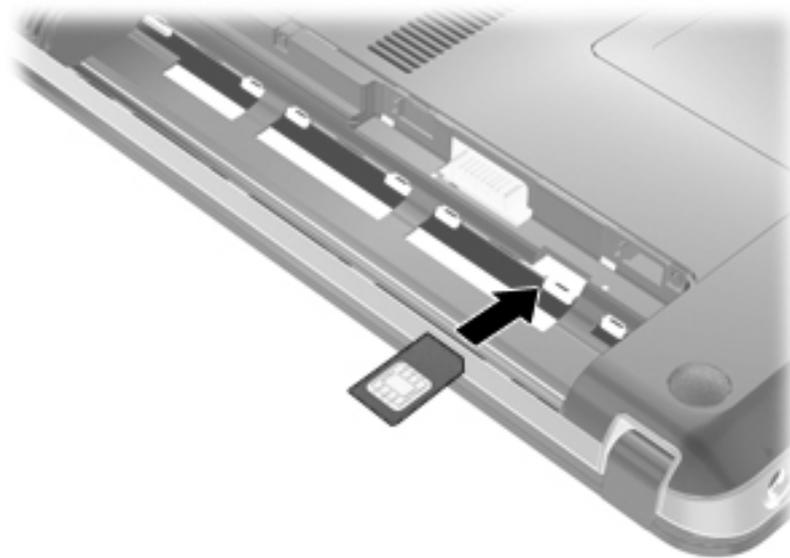
SIM の装着

- △ **注意：** SIM を装着するときには、カードの欠けた一角が図に示された位置にくるようにしてください。SIM を上下または裏表反対に挿入した場合、カチッという音はせず、バッテリーは正しく固定されずに SIM および SIM コネクタが損傷するおそれがあります。

コネクタの損傷を防ぐため、SIM を装着するときは無理な力を加えないでください。

SIM を装着するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターをシャットダウンします。コンピューターの電源が切れているかハイバネーション状態なのかわからない場合は、まず電源ボタンを押してコンピューターの電源を入れます。次に、オペレーティング システムの通常の手順でシャットダウンします。
2. ディスプレイを閉じます。
3. コンピューターに接続されているすべての外付けデバイスを取り外します。
4. 電源コンセントから電源コードを抜きます。
5. バッテリー ベイが手前を向くようにしてコンピューターを裏返し、安定した平らな場所に置きます。
6. バッテリーを取り外します。
7. SIM カードをスロットに挿入します。



8. バッテリーを取り付けなおします。

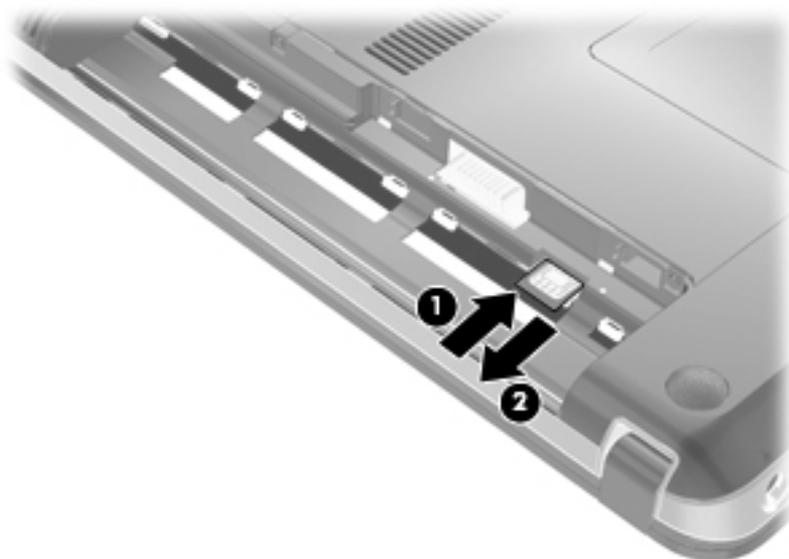
📖 **注記：** バッテリーを装着しなおさないと、HP モバイル ブロードバンドは無効になります。

9. コンピューターのカバーを上にして置き、外部電源および外付けデバイスを接続しなおします。
10. コンピューターの電源を入れます。

SIM の取り出し

SIM を取り出すには、以下の操作を行います。

1. コンピューターをシャットダウンします。コンピューターの電源が切れているかハイバネーション状態なのかわからない場合は、まず電源ボタンを押してコンピューターの電源を入れます。次に、オペレーティング システムの通常の手順でシャットダウンします。
2. ディスプレイを閉じます。
3. コンピューターに接続されているすべての外付けデバイスを取り外します。
4. 電源コンセントから電源コードを抜きます。
5. バッテリー ベイが手前を向くようにしてコンピューターを裏返し、安定した平らな場所に置きます。
6. バッテリーを取り外します。
7. SIM カードを押し込み (1) SIM カードの固定を解除してから、SIM カードを取り出します (2)。



8. バッテリーを取り付けなおします。
9. コンピューターのカバーを上にして置き、外部電源および外付けデバイスを接続しなおします。
10. コンピューターの電源を入れます。

Bluetooth 無線デバイスの使用

Bluetooth デバイスによって近距離の無線通信が可能になり、以下のような電子機器の通信手段を従来の物理的なケーブル接続から無線通信に変更できるようになりました。

- コンピューター (デスクトップ、ノートブック、PDA)
- 電話機 (携帯、コードレス、スマート フォン)
- イメージング デバイス (プリンター、カメラ)
- オーディオ デバイス (ヘッドセット、スピーカー)

Bluetooth デバイスは、Bluetooth デバイスの PAN (Personal Area Network) を設定できるピアツーピア機能を提供します。Bluetooth デバイスの設定と使用方法については、Bluetooth ソフトウェアのヘルプを参照してください。

Bluetooth とインターネット接続共有 (ICS)

ホストとして 1 台のコンピューターに Bluetooth を設定し、そのコンピューターをゲートウェイとして利用して他のコンピューターがインターネットに接続できるようにすることは、HP ではおすすりません。Bluetooth を使用して 2 台以上のコンピューターを接続する場合、インターネット接続共有 (ICS) が可能なコンピューターはそのうちの 1 台で、他のコンピューターは Bluetooth ネットワークを利用してインターネットに接続することはできません。

Bluetooth は、お使いのコンピューターと、携帯電話、プリンター、カメラ、および PDA などの無線デバイスとの間で情報をやり取りして同期するような場合に強みを発揮します。Bluetooth および Windows オペレーティング システムでの制約によって、インターネット共有のために複数台のコンピューターを Bluetooth 経由で常時接続しておくことはできません。

無線接続に関する問題のトラブルシューティング

無線接続に関する問題の原因として、以下のようなものが考えられます。

- ネットワーク設定 (SSID またはセキュリティ) が変更された。
- 無線デバイスのインストールに失敗した、または無線デバイスが無効である。
- 無線デバイスまたはルーターのハードウェアが故障した。
- 無線デバイスが他のデバイスからの干渉を受けている。

 **注記：** 無線ネットワーク デバイスは、一部のモデルにのみ搭載されています。無線ネットワーク機能がコンピューターの基本機能として搭載されていない場合は、無線ネットワーク デバイスを購入してコンピューターに追加できます。

ネットワーク接続の問題を解決する可能性のある方法を 1 つずつ実行する前に、すべての無線デバイスについて、デバイス ドライバーがインストールされていることを確認してください。

使用したいネットワークに接続できないコンピューターの診断および修復を行うには、この章で説明する手順を実行してください。

無線 LAN に接続できない場合

無線 LAN への接続で問題が発生している場合は、内蔵無線 LAN デバイスがコンピューターに正しく取り付けられていることを確認してください。

 **注記：** Windows には、コンピューターのセキュリティを高めるためのユーザー アカウント制御機能が含まれています。ソフトウェアのインストール、ユーティリティの実行、Windows の設定変更などを行うときに、ユーザーのアクセス権やパスワードの入力を求められる場合があります。詳しくは、[ヘルプとサポート]を参照してください。

1. [スタート]→[コントロール パネル]→[システムとセキュリティ]の順に選択します。
2. [システム]領域の[デバイス マネージャー]をクリックします。
3. [ネットワーク アダプター]の横の矢印をクリックして一覧を展開し、すべてのアダプターを表示します。
4. [ネットワーク アダプター]の一覧で無線 LAN デバイスを確認します。無線 LAN デバイスの場合は、「無線」、「無線 LAN」、「WLAN」、「Wi-Fi」、または「802.11」などと表示されます。

無線 LAN デバイスが表示されない場合は、お使いのコンピューターに無線 LAN デバイスが内蔵されていないか、無線 LAN デバイス用のドライバーが正しくインストールされていません。

無線 LAN のトラブルシューティングについて詳しくは、[ヘルプとサポート]に記載されている Web サイトへのリンクを参照してください。

優先する無線 LAN ネットワークに接続できない場合

Windows では、問題のある無線 LAN 接続を自動で修復できます。

- タスクバー右端の通知領域にネットワーク アイコンがある場合は、そのアイコンを右クリックして、[問題のトラブルシューティング]をクリックします。

Windows は、ネットワーク デバイスをリセットし、優先ネットワークの 1 つに再接続を試みません。

- ネットワーク アイコンが通知領域に表示されていない場合は、以下の操作を行います。
 1. [スタート]→[コントロール パネル]→[ネットワークとインターネット]→[ネットワークと共有センター]の順に選択します。
 2. [問題のトラブルシューティング]をクリックしてから、修復したいネットワークを選択します。

ネットワーク アイコンが表示されない場合

ネットワーク ステータス アイコンが無線 LAN 設定後に通知領域に表示されない場合は、ソフトウェア ドライバーがなくなったか壊れています。また、[デバイスが見つかりません]という Windows エラー メッセージが表示されることもあります。このような場合には、ドライバーを再インストールする必要があります。

HP の Web サイト、<http://www.hp.com/jp/>で、お使いのコンピューターに適した最新の無線 LAN コンピューター用ソフトウェアおよびドライバーを入手してください。お使いの無線デバイスが、別途購入されたものである場合は、その無線デバイスの製造元の Web サイトで最新のソフトウェアを確認してください。

お使いのコンピューターの無線 LAN デバイス ソフトウェアの最新のバージョンを入手するには、以下の操作を行います。

1. Web ブラウザーを開き、<http://www.hp.com/support/>を表示します。
2. 国または地域を選択します。
3. [ドライバー & ソフトウェア ダウンロード]オプションをクリックし、お使いのコンピューターの製品名または製品番号を[製品名/製品番号で検索]フィールドに入力します。
4. **enter** キーを押し、画面の説明に沿って操作します。

 **注記：** お使いの無線デバイスが、別途購入されたものである場合は、その無線デバイスの製造元の Web サイトで最新のソフトウェアを確認してください。

現在の無線 LAN ネットワーク セキュリティ コードが使用できない場合

無線 LAN に接続するときにネットワーク キーまたは名前 (SSID) の入力を求めるメッセージが表示された場合、そのネットワークはセキュリティ設定によって保護されています。セキュリティ設定で

保護されているネットワークに接続するには、現在のコードが必要になります。SSID およびネットワーク キーは半角英数字のコードで、ネットワークに対してお使いのコンピューターを認証します。

- お使いの無線ルーターに接続されているネットワークの場合は、そのルーターの説明書を参照し、ルーターと無線 LAN デバイスの両方に同じ SSID コードを設定します。
- 会社のネットワークや、公開インターネット チャットなどのプライベート ネットワークの場合は、ネットワーク管理者に問い合わせさせてそれらのコードを入手し、コードの入力を求める画面が表示されたときに入力します。

ネットワークによっては、ルーターやアクセス ポイントで使用されている SSID を定期的に変更して、セキュリティの向上を図っている場合があります。この変更に応じて、対応するコードをお使いのコンピューターで変更する必要があります。

以前に接続したことがあるネットワーク用に新しいネットワーク キーや SSID が提供されている場合、そのネットワークに接続するには、以下の操作を行います。

1. [スタート]→[コントロール パネル]→[ネットワークとインターネット]→[ネットワークと共有センター]の順に選択します。

2. 左側の枠内の[ワイヤレス ネットワークの管理]をクリックします。

利用可能な無線 LAN を示す一覧が表示されます。複数の無線 LAN が稼動している無線 LAN スポットにいる場合は、複数の無線 LAN が表示されます。

3. 一覧からネットワークを選択し、そのネットワークを右クリックしてから、[プロパティ]をクリックします。

 **注記：** 使用するネットワークが一覧にない場合は、ネットワーク管理者に連絡して、ルーターまたはアクセス ポイントが稼動していることを確認してください。

4. [セキュリティ]タブをクリックして、[ネットワーク セキュリティ キー]フィールドに無線暗号化のデータを正しく入力します。

5. [OK]をクリックしてこれまでの設定を保存します。

無線 LAN 接続が非常に弱い場合

接続が非常に弱い場合、またはコンピューターが無線 LAN に接続できない場合は、以下の方法を参考に他のデバイスからの干渉を最小化します。

- コンピューターを無線ルーターまたはアクセス ポイントに近づけます。
- 干渉を受けないようにするために、電子レンジ、コードレス電話、または携帯電話などの無線デバイスの電源を一時的に切断します。

接続品質が向上しない場合は、デバイスのすべての接続値が強制的に再設定されるように、以下の操作を行ってみてください。

1. [スタート]→[コントロール パネル]→[ネットワークとインターネット]→[ネットワークと共有センター]の順に選択します。

2. 左側の枠内の[ワイヤレス ネットワークの管理]をクリックします。

利用可能な無線 LAN を示す一覧が表示されます。複数の無線 LAN が稼動している無線 LAN スポットにいる場合は、複数の無線 LAN が表示されます。

3. ネットワークをクリックし、[削除]をクリックします。

無線ルーターに接続できない場合

無線ルーターに接続しようとして失敗した場合は、その無線ルーターの電源を 10～15 秒間オフにして、リセットしてください。

それでもコンピューターが無線 LAN に接続できない場合は、無線ルーターを再起動してください。詳しくは、ルーターの製造元の説明書を参照してください。

ローカル エリア ネットワーク (LAN) への接続

ローカル エリア ネットワーク (LAN) に接続するには、8 ピンの RJ-45 ネットワーク ケーブル (別売) を使用する必要があります。ネットワーク ケーブルに、テレビやラジオからの電波障害を防止するノイズ抑制コア (1) が取り付けられている場合は、コアが取り付けられている方のケーブルの端 (2) をコンピューター側に向けます。



ネットワーク ケーブルを接続するには、以下の操作を行います。

△ **警告!** 火傷や感電、火災、装置の損傷を防ぐため、モデム ケーブルまたは電話ケーブルを RJ-45 (ネットワーク) コネクタに接続しないでください。

1. ネットワーク ケーブルをコンピューター本体のネットワーク コネクタに差し込みます (1)。
2. ケーブルのもう一方の端をデジタル モジュラー コンセントに差し込みます (2)。



3 ポインティング デバイスおよびキーボード

ポインティング デバイスの使用

ポインティング デバイス機能のカスタマイズ

ボタンの構成、クリック速度、ポインター オプションのような、ポインティング デバイスの設定をカスタマイズするには、Windows の[マウスのプロパティ]を使用します。

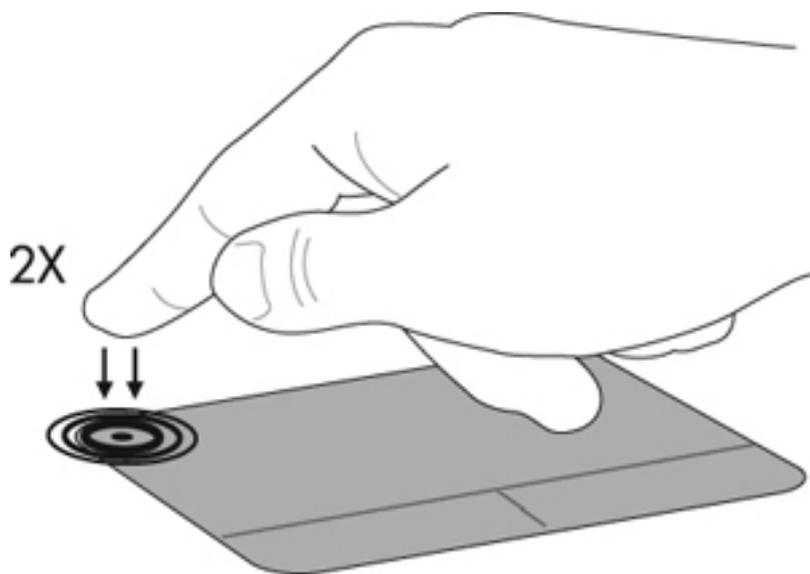
[マウスのプロパティ]にアクセスするには、[スタート]→[コントロール パネル]→[ハードウェアとサウンド]→[マウス]の順に選択します。

タッチパッドの使用

タッチパッドのオン/オフの切り替え

出荷時設定では、タッチパッドはオンになっています。タッチパッドをオフまたはオンにするには、タッチパッド オン/オフ ボタンをすばやくダブルタップします。

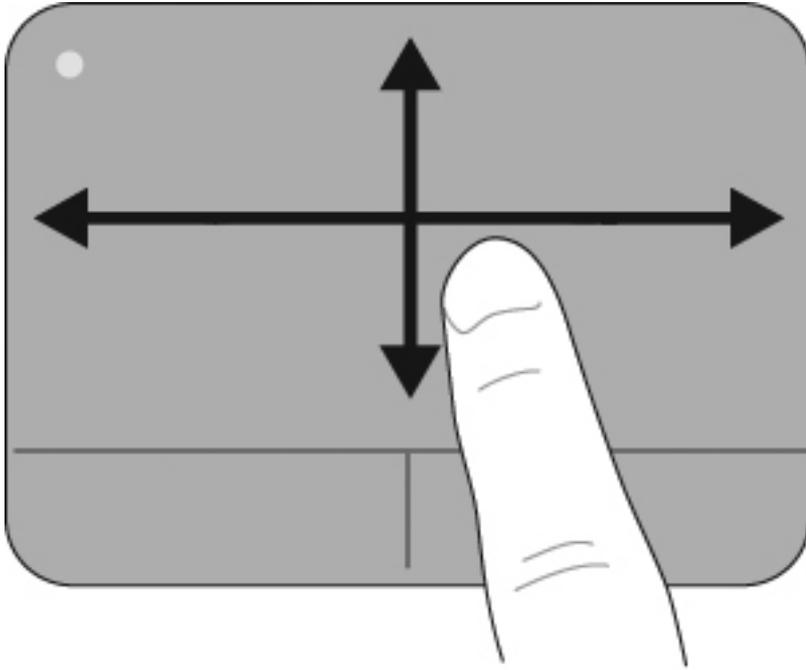
 **注記：** タッチパッド ランプが消灯している場合は、タッチパッドがオンになっています。



移動

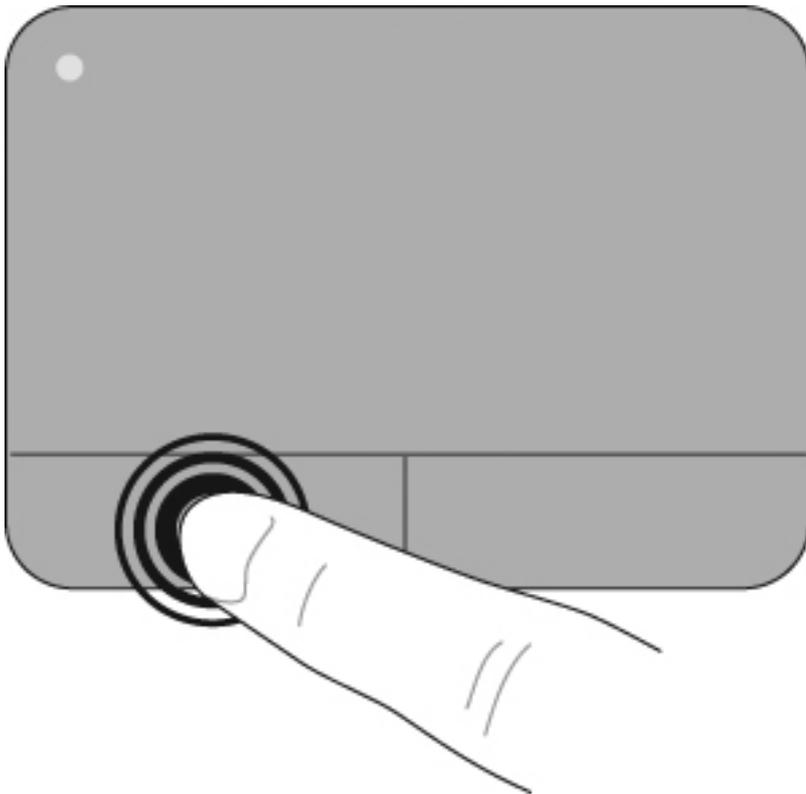
ポインターを移動するには、指でタッチパッドに触れ、ポインターを移動したい方向にその指をスライドさせます。左のタッチパッド ボタンと右のタッチパッド ボタンは、外付けマウスの左右のボタンと同様に使用します。タッチパッドを使用して画面を上下にスクロールするには、指でタッチパッドに触れ、その指を上下にスライドさせます。

 **注記：** タッチパッドを使用してポインターを移動しているときにスクロールを始めるには、まずタッチパッドから指を離す必要があります。



選択

左のタッチ패드 ボタンと右のタッチ패드 ボタンは、外付けマウスの左右のボタンと同様に使用します。



タッチ패드 ジェスチャの使用

タッチ패드では、さまざまな種類のタッチ패드 ジェスチャがサポートされています。タッチ패드操作を行うには、以下の項目で説明しているように、2本の指を同時にタッチ패드上に置きます。

ここで説明するタッチ패드操作は、工場出荷時に有効になっています。これらの操作を無効または再び有効にするには、以下の操作を行います。

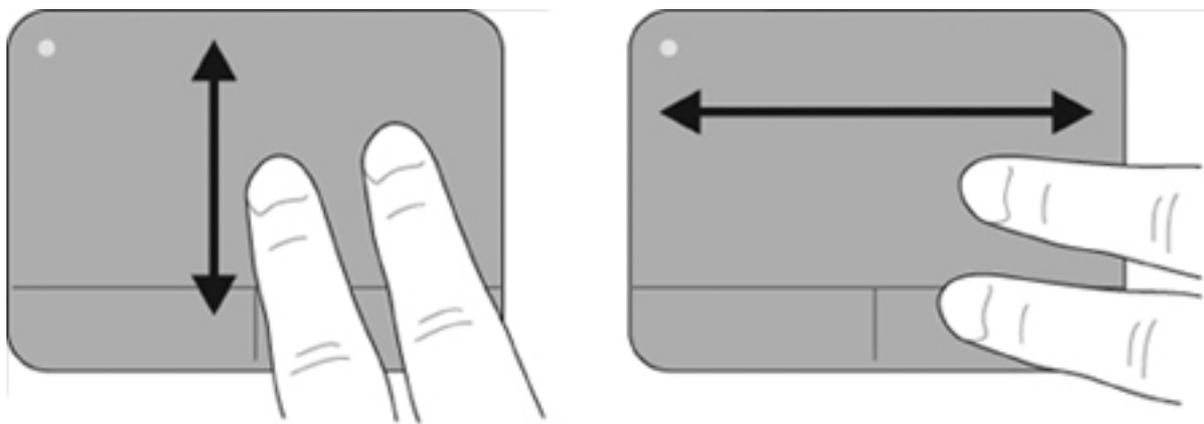
1. タスクバーの右端の通知領域にある**[Synaptics]**（シナプティクス）アイコンをダブルクリックしてから、**[Device Settings]**（デバイスの設定）タブをクリックします。
2. デバイスを選択し、**[Settings]**（設定）をクリックします。
3. 無効または再び有効にするジェスチャを選択します。
4. **[Apply]**（適用）→**[OK]**の順にクリックします。

 **注記：** お使いのコンピューターでは、工場出荷時には無効に設定されている他のタッチ패드機能もサポートされています。これらの機能を表示および有効にするには、タスクバーの右端の通知領域にある**[Synaptics]**アイコン→**[Device Settings]**タブの順にクリックします。デバイスを選択し、**[Settings]**をクリックします。

スクロール

スクロールは、ページや画像を上下に移動するときに便利です。スクロールを行うには、2本の指を互いに少し離れた状態でタッチ패드上に置いて、それらの指をタッチ패드上で上下左右に動かします。

 **注記：** スクロールの速度は、指を動かす速度で調整します。

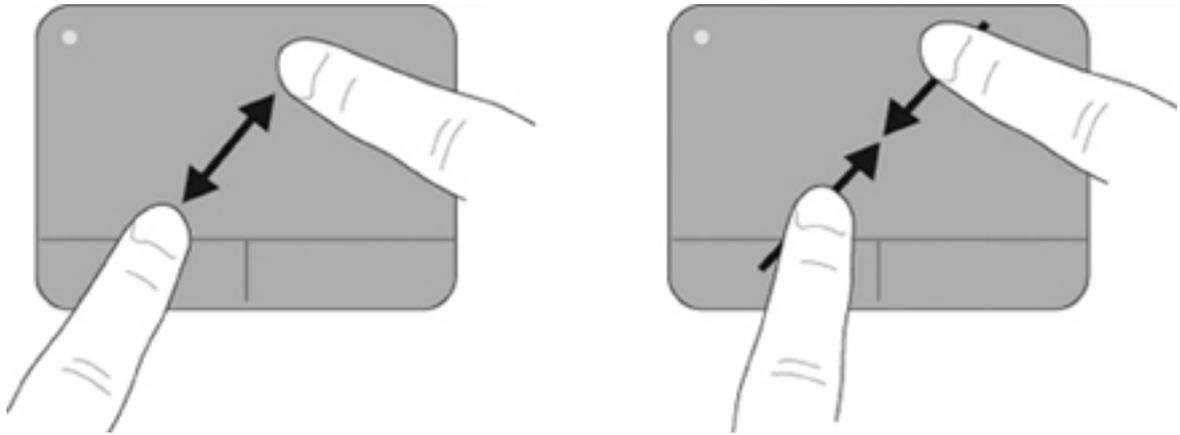


ピンチ/ズーム

ピンチ ジェスチャを使用すると、PDF、画像、写真などを拡大または縮小できます。

ピンチは以下のように行います。

- タッチ패드上に2本の指を一緒の状態にして置き、その2本の指の間隔を徐々に広げることによって、オブジェクトのサイズを拡大してズームインできます。
- タッチ패드上に2本の指を互いに離れた状態にして置き、その2本の指の間隔を徐々に狭めることによって、オブジェクトのサイズを縮小してズームアウトできます。



外付けマウスの接続

USB コネクタのどれかを使用して外付け USB マウスをコンピューターに接続できます。USB マウスは、別売のドッキング デバイスまたは拡張製品のコネクタを使用してシステムに接続することもできます。

操作キーの使用

操作キーとは、キーボード上部にある特定のキーに割り当てられ、カスタマイズされた動作を行うキーのことです。

操作キーを使用するには、そのキーを押したままにして、キーに割り当てられている操作を有効にします。

注記： 使用中のアプリケーションによっては、**fn** およびどれかの操作キーと一緒に押すと、そのアプリケーション内で専用のショートカット メニューが表示されます。

注記： 操作キーの機能は、出荷時に有効に設定されています。この機能は、セットアップ ユーティリティ (BIOS) で無効にできます。また、**fn** およびどれかのファンクション キーと一緒に押すと、キーに割り当てられている機能を再び有効にできます。

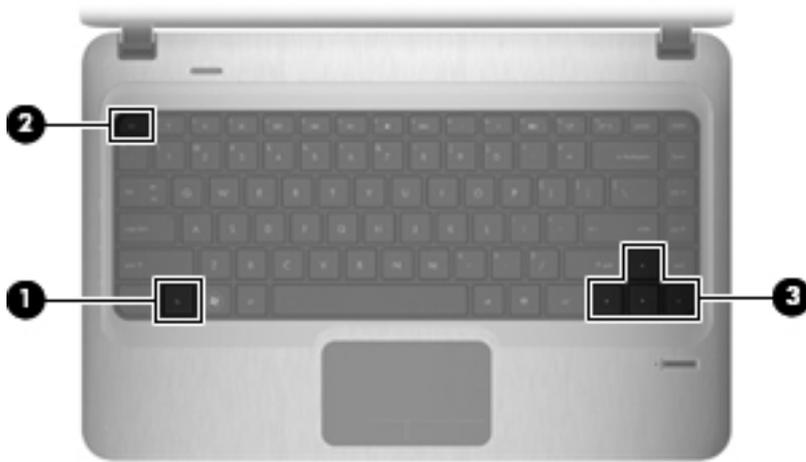


アイコン	操作	説明
?	ヘルプとサポート	[ヘルプとサポート]を表示します。[ヘルプとサポート]では、Windows オペレーティング システムとコンピューター、質問への回答とチュートリアル、およびコンピューターのアップデートに関する情報が提供されます また、自動的なトラブル解決の方法およびサポート サイトへのリンクも提供されます

アイコン	操作	説明
	画面の輝度を下げる	このキーを押し続けると、画面輝度が一定の割合で徐々に下がります
	画面の輝度を上げる	このキーを押し続けると、画面輝度が一定の割合で徐々に上がります
	画面を切り替える	<p>システムに接続されているディスプレイ デバイス間で画面を切り替えます。たとえば、コンピューターに外付けモニターを接続している場合にこのキーを押すと、コンピューター本体のディスプレイ、外付けモニターのディスプレイ、コンピューター本体と外付けモニターの両方のディスプレイのどれかに表示画面が切り替わります</p> <p>ほとんどの外付けモニターは、外付け VGA ビデオ方式を使用してコンピューターからビデオ情報を受け取ります。f4 操作キーでは、コンピューターからビデオ情報を受信している他のデバイスとの間でも表示画面を切り替えることができます</p>
	前のトラック/チャプター	オーディオ CD の前のトラック、または DVD や BD の前のチャプターを再生します
	再生/一時停止	<p>オーディオ CD、DVD、または BD を再生、一時停止、または再開します</p> <ul style="list-style-type: none"> オーディオ CD、DVD、または BD が再生中でない場合、このキーを押すと再生が開始または再開されます オーディオ CD、DVD、または BD の再生中にこのキーを押すと、再生が一時停止します
	停止	CD、DVD、または BD のオーディオまたは動画の再生を停止します
	次のトラック/チャプター	オーディオ CD の次のトラック、または DVD や BD の次のチャプターを再生します
	音量を下げる	このキーを押し続けると、スピーカーの音量が一定の割合で徐々に下がります
	音量を上げる	このキーを押し続けると、スピーカーの音量が一定の割合で徐々に上がります
	ミュート (消音) する/元に戻す	スピーカーの音を消したり元に戻したりします
	無線機能	<p>無線機能をオンまたはオフにします</p> <p>注記： このキーでは無線接続は確立されません。無線接続を確立するには、無線ネットワークがセットアップされている必要があります</p>

ホットキーの使用

ホットキーは、**fn** キー (1) と、**esc** キー (2) または矢印キーのどれか (3) の組み合わせです。



アイコン	機能	ホットキー	説明
	システム情報を表示する	fn + esc	システムのハードウェア コンポーネントやシステム BIOS のバージョン番号に関する情報が表示されます
▲	上にスクロールする	fn + 上向き矢印	画面を上スクロールします
▼	下にスクロールする	fn + 下向き矢印	画面を下スクロールします
◀	先頭に戻る	fn + 左向き矢印	カーソルがある行の行頭またはドキュメントの先頭にカーソルが戻ります
▶	末尾に移動する	fn + 右向き矢印	カーソルが行の末尾またはドキュメントの末尾に移動します

ホットキー コマンドを使用するには、以下のどちらかの操作を行います。

- 短く fn キーを押してから、ホットキー コマンドの 2 番目のキーを短く押します。
または
- fn キーを押しながら、ホットキー コマンドの 2 番目のキーを短く押し、両方のキーを同時に離します。

タッチパッドとキーボードの清掃

タッチパッドにごみや脂が付着していると、ポインターが画面上で滑らかに動かなくなる場合があります。これを防ぐには、軽く湿らせた布でタッチパッドを定期的に清掃し、コンピューターを使用するときは手をよく洗ってください。

- △ **警告!** 感電や内部コンポーネントの損傷を防ぐため、掃除機のアタッチメントを使用してキーボードを清掃しないでください。キーボードの表面に、掃除機からのごみくずが落ちてくる場合があります。

キーが固まらないようにするため、また、キーの下に溜まったごみや糸くず、細かいほこりを取り除くために、キーボードを定期的に清掃してください。圧縮空気が入ったストロー付きの缶を使用してキーの周辺や下に空気を吹き付けると、付着したごみがはがれて取り除きやすくなります。



4 マルチメディア

マルチメディア機能

お使いのコンピューターには、音楽や動画を再生したり、画像を表示したりできるマルチメディア機能が含まれています。また、以下のようなマルチメディア コンポーネントが含まれている場合があります。

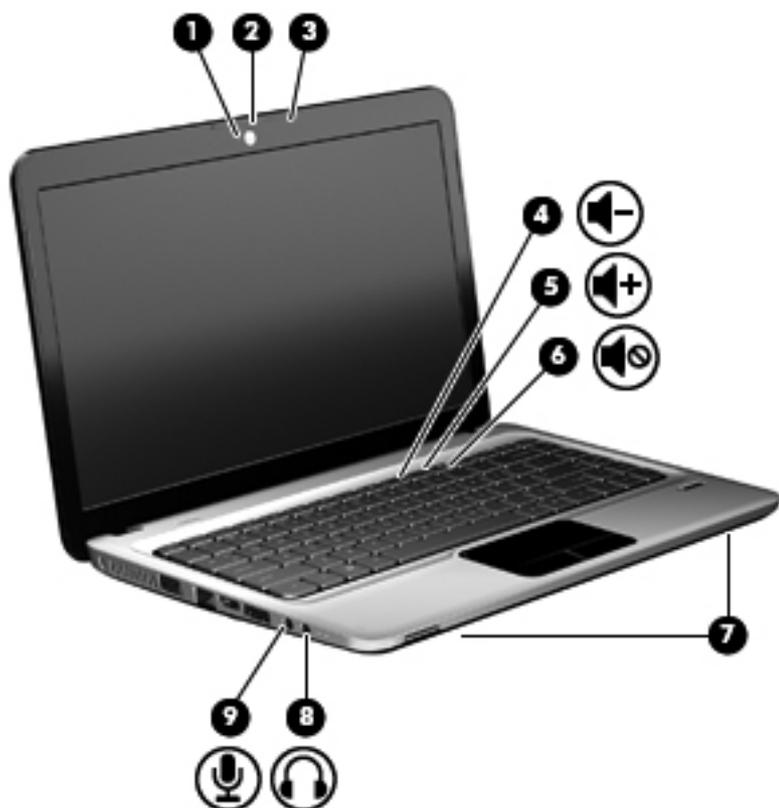
- オーディオ ディスクおよびビデオ ディスクを再生するオプティカル ドライブ
- 音楽を再生する内蔵スピーカー
- 独自のオーディオを録音するための内蔵マイク
- 動画を撮影したり共有したりできる内蔵 Web カメラ
- 音楽、動画および画像の再生と管理を行うことができるプリインストール済みのマルチメディアソフトウェア
- マルチメディアに関する操作をすばやく行うことのできるマルチメディア操作キー

 **注記：** お使いのコンピューターによっては、一覧に記載されていても、一部のコンポーネントが含まれていない場合があります。

ここでは、お使いのコンピューターに含まれているマルチメディア コンポーネントを確認する方法、およびマルチメディア コンポーネントを使用する方法について説明します。

マルチメディア コンポーネントの確認

以下の図と表で、コンピューターのマルチメディア機能について説明します。



名称	説明
(1) Web カメラ ランプ	点灯 : Web カメラを使用しています
(2) Web カメラ	動画を録画したり、静止画像を撮影したりします
(3) 内蔵マイク	サウンドを録音します
(4) 音量下げ操作キー	音量を下げるには、 f9 操作キーを押します
(5) 音量上げ操作キー	音量を上げるには、 f10 操作キーを押します
(6) ミュート (消音) /元に戻す操作キー	音を消したり音量を元に戻したりするには、 f11 操作キーを押します
(7) スピーカー (×2)	サウンドを出力します
(8) オーディオ出力 (ヘッドフォン) コネクタ	別売の電源付きステレオ スピーカー、ヘッドフォン、イヤフォン、ヘッドセット、またはテレビ オーディオに接続したときに、サウンドを出力します 警告! 突然大きな音が出て耳を傷めることがないように、音量の調節を行ってからヘッドフォン、イヤフォン、またはヘッドセットを使用してください。安全に関する情報については、『規定、安全、および環境に関するご注意』を参照してください 注記: ヘッドフォン コネクタにデバイスを接続すると、コンピューター本体のスピーカーは無効になります
(9) オーディオ入力 (マイク) コネクタ	別売のコンピューター用ヘッドセットのマイク、ステレオ アレイ マイク、またはモノラル マイクを接続します

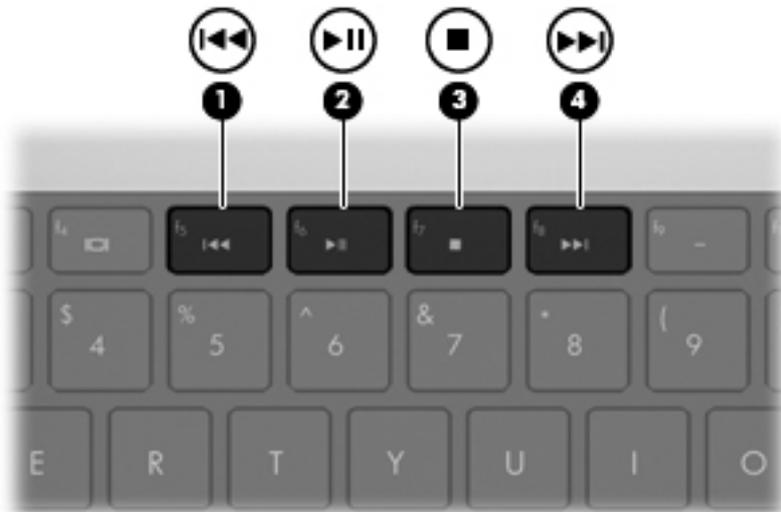
メディア操作機能の使用

メディア操作キーは、オプティカル ドライブ内のオーディオ CD、DVD、または BD の再生を調整します。

メディア操作キーの使用

メディア操作は、**f5**、**f6**、**f7**、および **f8** 操作キーで制御します。

- オーディオ CD、DVD、または BD が再生中でない場合、**f6** 操作キー（2）を押すとディスクが再生されます。
- オーディオ CD、DVD、または BD の再生中は、以下の操作キーを使用します。
 - ディスクの再生を一時停止または再開するには、**f6** 操作キー（2）を押します。
 - ディスクを停止するには、**f7** 操作キー（3）を押します。
 - オーディオ CD の前のトラック、または DVD や BD の前のチャプターを再生するには、**f5** 操作キー（1）を押します。
 - オーディオ CD の次のトラック、または DVD や BD の次のチャプターを再生するには、**f8** 操作キー（4）を押します。



マルチメディア ソフトウェア

お使いのコンピューターには、マルチメディア ソフトウェアがプリインストールされています。一部のモデルでは、付属のオプティカル ディスクに追加のマルチメディア ソフトウェアが収録されています。

コンピューターに搭載されているハードウェアおよびソフトウェアによっては、マルチメディアに関する以下の操作がサポートされている場合があります。

- オーディオ/ビデオ CD、オーディオ/ビデオ DVD、オーディオ/ビデオ BD、およびインターネットラジオを含むデジタル メディアの再生
- データ CD の作成またはコピー
- オーディオ CD の作成、編集、および書き込み
- DVD やビデオ CD でのビデオまたは動画の作成、編集、および書き込み

△ **注意：** 情報の損失やディスクの損傷を防ぐため、以下の点に注意してください。

ディスクに書き込む前に、コンピューターを安定した外部電源に接続してください。コンピューターがバッテリー電源で動作しているときは、ディスクに書き込まないでください。

ディスクに書き込む前に、使用しているディスク ソフトウェア以外は、開いているすべてのプログラムを閉じてください。

コピー元のディスクからコピー先のディスクへ、またはネットワーク ドライブからコピー先のディスクへ直接コピーしないでください。まずコピー元のディスクまたはネットワーク ドライブからハードドライブへコピーしてから、ハードドライブからコピー先のディスクへコピーしてください。

ディスクへの書き込み中にキーボードを使用したり、コンピューターを移動したりしないでください。書き込み処理は振動の影響を受けやすい動作です。

📖 **注記：** コンピューターに付属しているソフトウェアの使用方法については、ソフトウェアの説明書を参照してください。説明書はディスクまたは該当するプログラム内のヘルプ ファイルとして提供されます。ソフトウェアの製造元の Web サイトから説明書入手できる場合もあります。

プリインストールされたマルチメディア ソフトウェアの起動

1. [スタート]→[すべてのプログラム]の順に選択します。
2. 起動するプログラムをクリックします。

[HP MediaSmart]ソフトウェアの使用

お使いのコンピューターには[HP MediaSmart]ソフトウェアがプリインストールされています。[HP MediaSmart]によって、お使いのコンピューターが持ち運びのできるエンターテイメント ツールに変わります。音楽や DVD および BD の動画を楽しむことができます。また、インターネット テレビの視聴（一部のモデルのみ）や、写真コレクションの管理および編集を行うことができます。

[HP MediaSmart]は以下の機能を備えています。

- インターネット接続によって、従来のさまざまなテレビ番組とチャンネルに加え、コンピューターにストリーミング配信される HP-TV チャンネルもフルスクリーンでご覧いただけます。
- 写真および動画のアップロードに対応しています。
 - 写真を Snapfish などのインターネット上の写真サービスにアップロードできます。
 - ホーム ビデオを YouTube に直接アップロードできます。
 - Web カメラで作成した動画をインターネットにアップロードできます。
- Pandora インターネット ラジオ（北米のみ）：あなただけのために選ばれた音楽を、インターネット経由でストリーミングできます。

[HP MediaSmart]を起動するには、以下の操作を行います。

- ▲ タスクバーの[HP MediaSmart]アイコンをダブルクリックします。

その他のマルチメディア ソフトウェアの使用

- ▲ [スタート]→[すべてのプログラム]の順に選択し、使用するマルチメディア プログラムを起動します。たとえば、[Windows Media Player]でオーディオ CD を再生する場合は、[Windows Media Player]をクリックします。

または

1. ディスクをオプティカル ドライブに挿入します。
[自動再生]ダイアログ ボックスが開きます。
2. 一覧からマルチメディア タスクをクリックして、そのタスクに使用するソフトウェアを選択します。

ディスクからのマルチメディア ソフトウェアのインストール

1. ディスクをオプティカル ドライブに挿入します。
2. インストール ウィザードが開いたら、画面上のインストール手順に沿って操作します。
3. コンピューターの再起動を求めるメッセージが表示されたら、コンピューターを再起動します。

オーディオ

お使いのコンピューターでは、以下のようなさまざまなオーディオ機能を使用できます。

- コンピューター本体のスピーカーまたは接続した外付けスピーカーを使用した、音楽の再生
- 内蔵マイクまたは接続した外付けマイクを使用した、サウンドの録音
- インターネットからの音楽のダウンロード
- オーディオと画像を使用したマルチメディア プレゼンテーションの作成
- インスタント メッセージ プログラムを使用したサウンドと画像の送信
- ラジオ番組のストリーミング（一部のモデルのみ）
- オーディオ CD の作成（書き込み）（一部のモデルのみ）

外付けオーディオ デバイスの接続

- △ **警告！** 突然大きな音が出て耳を傷めることがないように、音量の調節を行ってからヘッドフォン、イヤフォン、またはヘッドセットを使用してください。安全に関する情報については、『規定、安全、および環境に関するご注意』を参照してください。

外付けスピーカー、ヘッドフォン、マイクなどの外付けデバイスの接続方法については、デバイスの製造元から提供される情報を参照してください。デバイスを良好な状態で使用できるよう、以下の点に注意してください。

- デバイス ケーブルがお使いのコンピューターの適切なコネクタにしっかりと接続されていることを確認します（通常、ケーブル コネクタは、コンピューターの対応するコネクタに合わせて色分けされています）。
- 外付けデバイスに必要なドライバーがある場合は、そのドライバーをインストールします。

- ☞ **注記：** ドライバーは、デバイスとデバイスが使用するプログラム間のコンバーターとして機能する、必須のプログラムです。

オーディオ機能の確認

お使いのコンピュータのシステム サウンドを確認するには、以下の操作を行います。

1. タスクバーにある[音量]アイコンを右クリックし、[サウンド]を選択します。

または

[スタート]→[コントロール パネル]→[ハードウェアとサウンド]→[サウンド]アイコンの順に選択します。

2. [サウンド]ウィンドウが開いたら、[サウンド]タブをクリックします。[プログラム イベント]でビープやアラームなどの任意のサウンド イベントを選択してから、[テスト]ボタンをクリックします。

スピーカーまたは接続したヘッドフォンから音が鳴ります。

コンピュータの録音機能を確認するには、以下の操作を行います。

1. [スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[サウンド レコーダー]の順に選択します。
2. [録音の開始]をクリックし、マイクに向かって話します。デスクトップにファイルを保存します。
3. [Windows Media Player]または[HP MediaSmart]を開き、サウンドを再生します。

 **注記：** 良好な録音結果を得るため、直接マイクに向かって話し、雑音がないように設定して録音します。

コンピュータのオーディオ設定を確認または変更するには、[スタート]→[コントロール パネル]→[ハードウェアとサウンド]→[サウンド]の順に選択します。

オーディオ出力（ヘッドフォン）コネクタの使用

 **警告！** 突然大きな音が出て耳を傷めることがないように、音量の調節を行ってからヘッドフォン、イヤフォン、またはヘッドセットを使用してください。安全に関する情報については、『規定、安全、および環境に関するご注意』を参照してください。

 **注意：** 外付けデバイスの損傷を防ぐため、モノラル コネクタをヘッドフォン コネクタに接続しないでください。

ヘッドフォン コネクタには、ヘッドフォンだけではなく、外部電源を必要とする外付けスピーカーやステレオ システムなど、オーディオ出力機能を持つオーディオ デバイスを接続します。

ヘッドフォン コネクタにデバイスを接続する場合、3.5 mm のステレオ プラグのみを使用してください。

ヘッドフォン コネクタにデバイスを接続すると、コンピュータ本体のスピーカーは無効になります。

オーディオ入力（マイク）コネクタの使用

コンピュータには、ステレオ アレイまたはモノラル マイクをサポートするステレオのマイク コネクタが装備されています。マイクを接続して録音ソフトウェアを使用すると、ステレオ録音が可能になります。

マイクをマイク コネクタに接続する場合は、3.5 mm プラグのマイクを使用してください。

動画

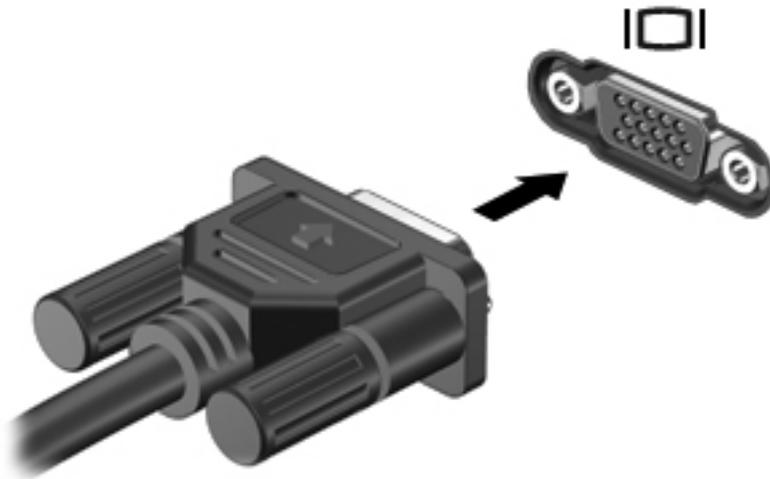
お使いのコンピューターでは、以下のさまざまな動画機能を使用できます。

- 動画の再生
- インターネットを介したゲーム
- 画像や動画の編集およびプレゼンテーションの作成
- 外付けビデオ デバイスの接続
- インターネットを介したテレビの視聴、または TV チューナー製品（別売）を使用した放送中のテレビの視聴、録画、および一時停止

外付けモニター コネクタの使用

外付けモニター コネクタによって、外付けモニターまたはプロジェクターなどの外付けディスプレイ デバイスをお使いのコンピューターに接続できます。

- ▲ ディスプレイ デバイスを接続するには、デバイスのケーブルを外付けモニター コネクタに接続します。



注記： 正しく接続された外付けディスプレイ デバイスに画像が表示されない場合は、**f4** キーを押して画像をデバイスに転送します。**f4** キーを繰り返し押しすと、表示画面がコンピューター本体のディスプレイと外付けディスプレイ デバイスとの間で切り替わります。

HDMI デバイスの接続

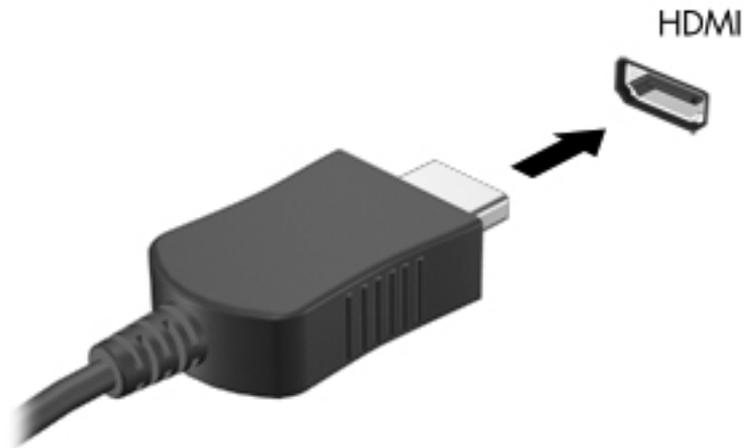
このコンピューターには、HDMI（High Definition Multimedia Interface）コネクタが搭載されています。HDMI コネクタは、HD 対応テレビ、対応しているデジタルまたはオーディオ コンポーネントなどの別売の動画またはオーディオ デバイスとコンピューターを接続するためのコネクタです。

注記： HDMI コネクタを使用して動画信号を伝送するには、HDMI ケーブル（別売）が必要です。

コンピューターは、HDMI コネクタに接続されている 1 つの HDMI デバイスをサポートすると同時に、コンピューター本体のディスプレイまたはサポートされている他の外付けディスプレイの画面をサポートできます。

HDMI コネクタに動画またはオーディオ デバイスを接続するには、以下の操作を行います。

1. HDMI ケーブルの一方の端をコンピューターの HDMI コネクタに接続します。



2. 製造元の説明書等の手順に沿って操作し、ケーブルのもう一方の端をビデオ デバイスに接続します。
3. コンピューターに接続されているディスプレイ デバイス間で画面を切り替えるには、コンピューターの **f4** 操作キーを押します。

HDMI 用のオーディオの設定（一部のモデルのみ）

HDMI オーディオを設定するには、まず、お使いのコンピューターの HDMI コネクタに HD 対応テレビなどのオーディオまたはビデオ デバイスを接続します。次に、以下の操作を行って、オーディオ再生の初期デバイスを設定します。

1. タスクバーの右端の通知領域にある[スピーカー]アイコンを右クリックし、[再生デバイス]をクリックします。
2. [再生]タブで[デジタル出力]または[デジタル出力デバイス (HDMI)]をクリックします。
3. [既定値に設定]→[OK]の順にクリックします。

オーディオをコンピューターのスピーカーに戻すには、以下の操作を行います。

1. タスクバーの右端の通知領域にある[スピーカー]アイコンを右クリックし、[再生デバイス]をクリックします。
2. [再生]タブで[スピーカー]をクリックします。
3. [既定値に設定]→[OK]の順にクリックします。

オプティカル ドライブ

オプティカル ドライブを使用して、CD、DVD、または BD の再生、コピー、または作成が可能です。ただし、取り付けられているドライブの種類やインストールされているソフトウェアによって、可能な作業は異なります。

取り付けられているオプティカル ドライブの確認

- ▲ [スタート]→[コンピューター]の順に選択します。

オプティカル ディスクの使用 (CD、DVD、および BD)

DVD-ROM などのオプティカル ドライブは、オプティカル ディスク (CD および DVD) に対応しています。これらのディスクには、音楽、写真、および動画などの情報を保存します。DVD の方が、CD より大きい容量を扱うことができます。

オプティカル ドライブでは、標準的な CD や DVD ディスクの読み取りができます。お使いのオプティカル ドライブがブルーレイ ディスク (BD) ドライブであれば、BD の読み取りもできます。

注記： 一覧には、お使いのコンピューターでサポートされていないドライブが含まれている場合もあります。サポートされているオプティカル ドライブのすべてが一覧に記載されているわけではありません。

以下の一覧に示すように、オプティカル ドライブによっては、オプティカル ディスクに書き込みができるものもあります。

オプティカル ドライブの種類	CD-RW への書き込み	DVD±RW/R への書き込み	DVD±R DL への書き込み	LightScribe CD または DVD±RW/R へのラベルの書き込み	BD R/RE への書き込み
DVD-ROM ドライブ	不可	不可	不可	不可	不可
LightScribe スーパーマルチ DVD±R ドライブ (2 層記録 (DL) 対応) *†	可	可	可	可	不可
スーパー マルチ DVD ±R 対応ブルーレイ ROM ドライブ (2 層記録 (DL) 対応) *	可	可	可	不可	不可
スーパー マルチ DVD +/-RW 対応ブルーレイ R/RE ドライブ (2 層記録 (DL) 対応) *	可	可	可	不可	可

*2 層記録ディスクには、1 層式のディスクよりも多くのデータを保存できます。ただし、このドライブで作成された 2 層記録ディスクは、多くの 1 層式の DVD ドライブおよびプレーヤーに対応していない場合があります。

†LightScribe ディスクは別途購入する必要があります。LightScribe は白黒写真のようなグレースケールの画像を作成します。

注意： オーディオまたはビデオの劣化や、情報または再生機能の損失を防ぐため、CD、DVD、BD の読み取り、CD または DVD への書き込みをしているときにスリープまたはハイバネーションを開始しないでください。

正しいディスク (CD、DVD、および BD) の選択

オプティカル ドライブは、オプティカル ディスク (CD、DVD、および BD) に対応しています。デジタル データの保存に使用される CD は商用の録音にも使用されますが、個人的に保存する必要がある場合にも便利です。DVD および BD は、主に動画、ソフトウェア、およびデータのバックアップのために使用します。DVD と BD のフォーム ファクターは CD と同じですが、容量ははるかに大きくなります。

注記： お使いのコンピューターに取り付けられているオプティカル ドライブによっては、この項目で説明している一部のオプティカル ディスクに対応していない場合もあります。

CD-R ディスク

CD-R（一度のみ書き込み可能）ディスクは、長期保存用のアーカイブを作成したり、仮想的にあらゆるユーザーとファイルを共有したりするときに使用します。通常は、以下の用途で使用します。

- サイズの大きいプレゼンテーションの配布
 - スキャンした写真やデジタル写真、動画クリップ、および書き込みデータの共有
 - 独自の音楽 CD の作成
 - コンピューターのファイルやスキャンした記録資料などの長期保存用のアーカイブの保存
 - ディスク領域を増やすためのハードドライブからのファイルのオフロード（移動）
- データを記録した後は、データを削除したり追加で書き込んだりすることはできません。

CD-RW ディスク

CD-RW ディスク（再書き込みが可能な CD）は、頻繁にアップデートする必要があるサイズの大きいプロジェクトを保存するときに使用します。通常は、以下の用途で使用します。

- サイズの大きいドキュメントやプロジェクト ファイルの開発および管理
- 作業ファイルの転送
- ハードドライブ ファイルの毎週のバックアップの作成
- 写真、動画、オーディオ、およびデータの継続的な更新

DVD±R ディスク

DVD±R ディスクは、大量の情報を恒久的に保存するときに使用します。データを記録した後は、データを削除したり追加で書き込んだりすることはできません。

DVD±RW ディスク

前に保存したデータを削除または上書きしたい場合は、DVD±RW ディスクを使用します。この種類のディスクは、変更できない CD または DVD に書き込む前にオーディオや動画の記録テストをするときに最も適しています。

LightScribe DVD+R ディスク

LightScribe DVD+R ディスクは、データ、ホーム ビデオ、および写真を共有または保存するときに使用します。このディスクは、ほとんどの DVD-ROM ドライブや DVD ビデオ プレーヤーでの読み取りに対応しています。LightScribe が有効なドライブと LightScribe ソフトウェアを使用すると、ディスクにデータを書き込むのみでなく、ディスクの外側にラベルをデザインして追加することもできます。

ブルーレイ ディスク (BD)

BD は、HD 対応動画などのデジタル情報を保存するための高密度オプティカル ディスク フォーマットです。1 枚の 1 層式ブルーレイ ディスクで 25 GB まで保存でき、これは 4.7 GB の 1 層式 DVD の 5 倍以上の容量です。2 層式のブルーレイ ディスクでは 1 枚で 50 GB まで保存でき、これは 8.5 GB の 2 層式 DVD の 6 倍近くの容量になります。

通常は、以下の用途で使用します。

- 大量のデータの保存
- HD 対応動画の再生および保存
- ビデオ ゲーム

 **注記：** ブルーレイは新しい技術を採用した新しいフォーマットのため、ディスク、デジタル接続、互換性、およびパフォーマンスに関する問題が発生する可能性があります。製品自体の欠陥ではありません。すべてのシステム上での完全な再生は保証されていません。

CD、DVD、または BD の再生

1. コンピューターの電源を入れます。
2. ドライブのフロント パネルにあるリリース ボタン (1) を押して、ディスク トレイが少し押し出された状態にします。
3. トレイを引き出します (2)。
4. ディスクは平らな表面に触れないように縁を持ち、ディスクのラベル面を上にしてトレイの回転軸の上に置きます。

 **注記：** ディスク トレイが完全に開かない場合は、ディスクを注意深く傾けて回転軸の上に置いてください。

5. 確実に収まるまでディスクをゆっくり押し下げます (3)。



6. ディスクトレイを閉じます。

自動再生の動作を設定していない場合は、以下の項目で説明しているように、[自動再生]ダイアログボックスが開きます。メディアコンテンツの使用方法を選択するように要求されます。

 **注記：** 最適な状態で使用するためには、BDの再生中はACアダプターを外部電源に接続していることを確認してください。

自動再生の設定

1. [スタート]→[既定のプログラム]→[自動再生の設定の変更]の順に選択します。
2. [すべてのメディアとデバイスで自動再生を使う]チェックボックスにチェックが入っていることを確認します。
3. [既定を選択する]をクリックし、一覧に表示されている各メディアの種類から、使用可能なオプションのどれかを選択します。
4. [保存]をクリックして選択を確定します。

 **注記：** 自動再生について詳しくは、[ヘルプとサポート]を参照してください。

DVDの地域設定の変更

著作権で保護されているファイルを使用する多くのDVDには地域コードがあります。地域コードによって著作権は国際的に保護されます。

地域コードがあるDVDを再生するには、DVDの地域コードがDVDドライブの地域の設定と一致している必要があります。

 **注意：** DVDドライブの地域設定は、5回までしか変更できません。

5回目に選択した地域設定が、DVDドライブの最終的な地域設定になります。

ドライブで地域設定を変更できる残りの回数が、[DVD 地域]タブに表示されます。

オペレーティング システムで設定を変更するには、以下の操作を行います。

1. [スタート]→[コンピューター]→[システムのプロパティ]の順に選択します。
2. 左側の枠内で、[デバイス マネージャー]をクリックします。

 **注記：** Windows には、コンピューターのセキュリティを高めるためのユーザー アカウント制御機能が含まれています。ソフトウェアのインストール、ユーティリティの実行、Windows の設定変更などを行うときに、ユーザーのアクセス権やパスワードの入力を求められる場合があります。詳しくは、Windows の[ヘルプとサポート]を参照してください。

3. [デバイス マネージャー]ウィンドウで、[DVD/CD-ROM ドライブ]の横の矢印をクリックして、一覧を展開します。
4. 地域設定を変更する DVD ドライブを右クリックして、次に[プロパティ]をクリックします。
5. [DVD 地域]タブで変更を行います。
6. [OK]をクリックします。

著作権に関する警告

コンピューター プログラム、映画や映像、放送内容、録音内容など、著作権によって保護されたものを許可なしにコピーすることは、著作権法に違反する行為です。コンピューターをそのような目的に使用しないでください。

CD または DVD のコピー

1. [スタート]→[すべてのプログラム]→[CyberLink DVD Suites] (CyberLink DVD スイート) →[Power2Go]の順に選択します。

2. コピーするディスクをオプティカル ドライブに挿入します。

3. 画面上部の[Copy Disc] (ディスクのコピー) アイコンをクリックしてから、画面の左側にある[Copy Disc] (ディスクのコピー) をクリックします。

コピー元のディスクが読み取られ、そのデータがハードドライブの一時フォルダーにコピーされます。

4. メッセージが表示されたら、コピー元のディスクをオプティカル ドライブから取り出して、空のディスクをドライブに挿入します。

データがコピーされると、自動的にトレイが開いて作成したディスクが出てきます。

CD、DVD、または BD の作成 (書き込み)

△ **注意：** 著作権に関する警告に従ってください。コンピューター プログラム、映画や映像、放送内容、録音内容など、著作権によって保護されたものを許可なしにコピーすることは、著作権法に違反する行為です。コンピューターをそのような目的に使用しないでください。

お使いのオプティカル ドライブが CD-RW、DVD-RW、または DVD±RW のオプティカル ドライブである場合は、[Windows Media Player]などのソフトウェアを使用して、MP3 や WAV 音楽ファイルなどのデータやオーディオ ファイルを書き込むことができます。

CD、DVD、または BD に書き込むときは、以下の点に注意してください。

- ディスクに書き込む前に、開いているファイルをすべて終了し、すべてのプログラムを閉じます。
- 通常、オーディオ ファイルの書き込みには CD-R または DVD-R が最適です。これはデータがコピーされた後、変更ができないためです。

- ホーム ステレオやカー ステレオによっては CD-RW を再生できないものもあるため、音楽 CD の書き込みには CD-R を使用します。
- 通常、CD-RW または DVD-RW は、データ ファイルの書き込みや、変更できない CD または DVD に書き込む前のオーディオまたはビデオ録画のテストに最適です。
- 通常、家庭用のシステムで使用される DVD プレーヤーは、すべての DVD フォーマットに対応しているわけではありません。対応しているフォーマットの一覧については、DVD プレーヤーに付属している説明書を参照してください。
- MP3 ファイルは他の音楽ファイル形式よりファイルのサイズが小さく、MP3 ディスクを作成するプロセスはデータ ファイルを作成するプロセスと同じです。MP3 ファイルは、MP3 プレーヤーまたは MP3 ソフトウェアがインストールされているコンピューターでのみ再生できます。

CD、DVD、または BD にデータを書き込むには、以下の操作を行います。

1. 元のファイルを、ハードドライブのフォルダーにダウンロードまたはコピーします。
2. 空のディスクを、オプティカル ドライブに挿入します。
3. [スタート]→[すべてのプログラム]の順に選択し、使用するソフトウェアの名前を選択します。
4. 作成するディスクの種類（データ、オーディオ、またはビデオ）を選択します。
5. [スタート]を右クリックしてから[エクスプローラーを開く]をクリックし、元のファイルを保存したフォルダーに移動します。
6. フォルダーを開き、空のオプティカル ディスクのあるドライブにファイルをドラッグします。
7. 選択したプログラムの説明に沿って書き込み処理を開始します。

 **注記：** [CyberLink Power2Go]では、オーディオ DVD を作成できません。

詳しい手順については、ソフトウェアの製造元の説明書を参照してください。これらの説明書は、ソフトウェアに含まれているか、ディスクに収録されているか、またはソフトウェアの製造元の Web サイトから入手できます。

オプティカル ディスク（CD、DVD、または BD）の取り出し

1. ドライブのフロント パネルにあるリリース ボタン (1) を押してディスク トレイを開き、トレイをゆっくりと完全に引き出します (2)。

2. 回転軸をそっと押さえながらディスクの端を持ち上げて、トレイからディスクを取り出します(3)。ディスクは縁を持ち、平らな表面に触れないようにしてください。

 **注記：** トレイが完全に開かない場合は、ディスクを注意深く傾けて取り出してください。



3. ディスクトレイを閉じ、取り出したディスクを保護ケースに入れます。

トラブルシューティング

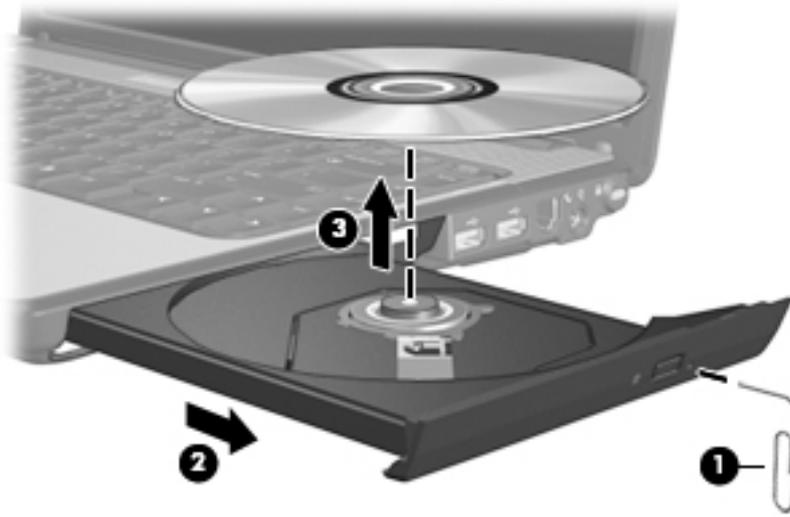
ここでは、一般的な問題と解決方法について説明します。

オプティカル ディスクトレイが開かず、CD、DVD、またはBDを取り出せない場合

1. ドライブのフロントパネルにある手動での取り出し用の穴にクリップ(1)の端を差し込みます。
2. クリップをゆっくり押し込み、ディスクトレイが開いたら、トレイを完全に引き出します(2)。

3. 回転軸をそっと押さえながらディスクの端を持ち上げて、トレイからディスクを取り出します(3)。ディスクは縁を持ち、平らな表面に触れないようにしてください。

 **注記：** トレイが完全に開かない場合は、ディスクを注意深く傾けて取り出してください。



4. ディスク トレイを閉じ、取り出したディスクを保護ケースに入れます。

コンピューターがオプティカル ドライブを検出しない場合

Windows が取り付けられているデバイスを検出しない場合、そのデバイスのドライバー ソフトウェアがないか、壊れている可能性があります。オプティカル ドライブが検出されていないことが疑われる場合は、そのオプティカル ドライブが[デバイス マネージャー]ユーティリティに一覧表示されていることを確認してください。

1. オプティカル ドライブからディスクを取り出します。
2. [スタート]→[コントロール パネル]→[システムとセキュリティ]の順に選択します。次に、[システム]領域で[デバイス マネージャー]をクリックします。
3. [デバイス マネージャー]ウィンドウで、[DVD/CD-ROM ドライブ]の横の矢印をクリックしてリストを展開し、取り付けられているドライブをすべて表示します。
4. 表示されているオプティカル ドライブを右クリックすると、以下のタスクを実行できます。
 - ドライバー ソフトウェアの更新
 - 無効化
 - アンインストール
 - ハードウェアの変更のスキャン。Windows はシステムをスキャンして取り付けられているハードウェアを検出し、必要な初期設定のドライバーをインストールします。
 - デバイスが正しく動作しているかどうかを確認するには、[プロパティ]をクリックします。
 - 問題の解決方法に役立つ、デバイスについての詳細情報を[プロパティ]ウィンドウで確認します。
 - デバイスのドライバーを更新、無効化、またはアンインストールするには、[ドライバー]タブをクリックします。

再生中の干渉からの保護

再生が中断される可能性を低減するには、以下の点を確認してください。

- CD、DVD、またはBDを再生する前に作業を保存し、開いているすべてのプログラムを閉じます。
- ディスクの再生中は、ハードウェアの着脱を行わないでください。

ディスクの再生中にハイバネーションまたはスリープを開始しないでください。起動すると、続行するかどうかを確認する警告メッセージが表示される場合があります。このメッセージが表示されたら、**[いいえ]**をクリックします。**[いいえ]**をクリックすると以下ようになります。

- 再生が再開します。
または
- マルチメディア プログラムの再生ウィンドウが閉じます。CD、DVD、またはBDの再生に戻るには、マルチメディア プログラムの**[再生]**ボタンをクリックしてディスクを再起動します。場合によっては、プログラムを終了してからの再起動が必要になることもあります。

ディスクが再生できない場合

- CD、DVD、またはBDを再生する前に作業を保存し、開いているすべてのプログラムを閉じます。
- CD、DVD、またはBDを再生する前にインターネットをログオフします。
- ディスクを正しく挿入していることを確認します。
- ディスクが汚れていないことを確認します。必要に応じて、ろ過水や蒸留水で湿らせた柔らかい布でディスクを清掃します。ディスクの中心から外側に向けて拭いてください。
- ディスクに傷がついていないことを確認します。傷がある場合は、一般の電気店やCDショップなどで入手可能なオプティカル ディスクの修復キットで修復を試みることもできます。
- ディスクを再生する前にスリープ モードを無効にします。

ディスクの再生中にハイバネーションまたはスリープを開始しないでください。ディスクの再生中にハイバネーションまたはスリープを開始すると、続行するかどうかを確認する警告メッセージが表示される場合があります。このメッセージが表示されたら、**[いいえ]**をクリックします。**[いいえ]**をクリックすると以下ようになります。

- 再生が再開します。
または
- マルチメディア プログラムの再生ウィンドウが閉じます。ディスクの再生に戻るには、マルチメディア プログラムの**[再生]**ボタンをクリックしてディスクを再起動します。場合によっては、プログラムを終了してからの再起動が必要になることもあります。
- システムのリソースを増やします。
 - 接続されている場合は、プリンターやスキャナーの電源を切り、カメラやその他のポータブル デバイスを取り外します。これらのプラグ アンド プレイ デバイスを切断することで、システム リソースが解放され、再生パフォーマンスが向上されます。
 - デスクトップの色のプロパティを変更します。16 ビットを超える色の違いは人間の目では簡単に見分けられないため、以下の方法でシステムの色のプロパティを 16 ビットの色に下げても、動画の再生時の色の違いは気にならないでしょう。
 1. コンピューター デスクトップの空いている場所を右クリックし、**[画面の解像度]**を選択します。

2. [詳細設定]→[モニター]タブの順に選択します。
3. 設定がまだされていない場合は、[中 (16 ビット)]をクリックします。
4. [OK]をクリックします。

ディスクが自動再生されない場合

1. [スタート]→[既定のプログラム]→[自動再生の設定の変更]の順に選択します。
2. [すべてのメディアとデバイスで自動再生を使う]チェック ボックスにチェックが入っていることを確認します。
3. [保存]をクリックします。
これで、ディスクをオプティカル ドライブに挿入したときに自動的に再生されます。

動画が停止したりコマ落ちしたりする場合や、再生が不安定な場合

- [再生]ボタンを押します。間違えて動画を停止している場合があります。
- ディスクを清掃します。
- 以下の操作を実行して、システム リソースを節約します。
 - インターネットからログオフします。
 - デスクトップの色のプロパティを変更します。
 1. コンピューター デスクトップの空いている場所を右クリックし、[画面の解像度]を選択します。
 2. [詳細設定]→[モニター]タブの順に選択します。
 3. 設定がまだされていない場合は、[中 (16 ビット)]をクリックします。
 4. [OK]をクリックします。
 - プリンター、スキャナー、カメラ、ポータブル デバイスなどの外付けデバイスを取り外します。

動画が外付けディスプレイに表示されない場合

1. コンピューターのディスプレイと外付けディスプレイの両方の電源が入っている場合は、f4 操作キーを 1 回以上押して、表示画面をどちらかに切り替えます。
2. 外付けディスプレイがメインになるようにモニターの設定を行います。
 - a. コンピューター デスクトップの空いている場所を右クリックし、[画面の解像度]を選択します。
 - b. メイン ディスプレイとセカンダリ ディスプレイを指定します。

 **注記：** 両方のディスプレイを使用する場合は、動画の画像はセカンダリ ディスプレイとして指定したディスプレイには表示されません。

マルチメディアに関して、このガイドで説明されていない質問について情報を得るには、[スタート]→[ヘルプとサポート]の順に選択します。

ディスクへの書き込み処理が行われず、または完了する前に終了してしまう場合

- 他のプログラムがすべて終了していることを確認します。
- スリープ モードおよびハイバネーションを無効にします。

- お使いのドライブに適した種類のディスクを使用していることを確認します。ディスクの種類について詳しくは、ディスクに付属している説明書を参照してください。
- ディスクが正しく挿入されていることを確認します。
- より低速の書き込み速度を選択し、再試行します。
- ディスクをコピーしている場合は、コピー元のディスクのコンテンツを新しいディスクに書き込む前に、その情報をハードドライブへコピーし、ハードドライブから書き込みます。
- [デバイス マネージャー]の[DVD/CD-ROM ドライブ]カテゴリにあるディスク書き込みデバイスのドライバーを再インストールします。

デバイス ドライバーを再インストールする必要がある場合

1. オプティカル ドライブからディスクを取り出します。
 2. [スタート]→[コントロール パネル]→[システムとセキュリティ]の順に選択します。次に、[システム]領域で[デバイス マネージャー]をクリックします。
 3. [デバイス マネージャー]ウィンドウで、アンインストールおよび再インストールするドライバーの種類（DVD/CD-ROM やモデムなど）の横の矢印をクリックします。
 4. 一覧からデバイスを右クリックし、[アンインストール]をクリックします。確認のメッセージが表示されたら、デバイスを削除することを確認します。ただし、コンピューターは再起動しないでください。削除するその他のすべてのドライバーでこの操作を繰り返します。
 5. [デバイス マネージャー]ウィンドウで、[操作]→[ハードウェア変更のスキャン]の順にクリックします。Windows はシステムをスキャンしてインストールされているハードウェアを検出し、ドライバーを必要とするデバイスに対して初期設定のドライバーをインストールします。
-  **注記：** コンピューターを再起動する画面が表示された場合は、開いているファイルをすべて保存してから再起動を続行します。
6. 必要に応じて[デバイス マネージャー]を再び開き、ドライバーが表示されていることをもう一度確認します。
 7. プログラムを再度実行します。

デバイス ドライバーをアンインストールまたは再インストールしても問題が解決されない場合、以下の項目の手順に沿ってドライバーを更新する必要があります。

最新の HP デバイス ドライバーの入手

1. Web ブラウザーを開き、<http://www.hp.com/support/>を表示して、国または地域を選択します。
2. [ドライバー & ソフトウェア ダウンロード]オプションをクリックし、お使いのコンピューターの製品名または製品番号を[製品名/製品番号で検索]フィールドに入力して、**enter** キーを押します。
3. 一覧に表示されたモデルから特定の製品をクリックします。
4. Windows 7 オペレーティング システムをクリックします。
5. ドライバーの一覧が表示されたら、更新されたドライバーをクリックして追加の情報を含むウィンドウを開きます。
6. ファイルをダウンロードしないで更新されたドライバーをインストールするには、[ダウンロードを開始する]をクリックします。

または

コンピューターにファイルを保存するには、[Download only] (ダウンロードのみ) をクリックします。メッセージが表示されたら、[保存] をクリックして、ハードドライブ上のファイルを保存する場所を選択します。

ファイルをダウンロードしたらファイルを保存したフォルダーに移動し、ファイルをダブルクリックしてインストールします。

7. インストールが完了した後に、コンピューターの再起動を求めるメッセージが表示された場合はコンピューターを再起動して、デバイスの動作を確認します。

最新の Windows デバイス ドライバーの入手

[Windows Update]を使用すると、最新の Windows デバイス ドライバーを入手できます。この機能では、Windows オペレーティング システムおよび Microsoft 社のその他の製品の更新を自動的に確認し、インストールするように設定できます。

[Windows Update]を使用するには、以下の操作を行います。

1. [スタート]→[すべてのプログラム]→[Windows Update]の順に選択します。

 **注記：** [Windows Update]がまだ設定されていない場合は、更新チェックの前に設定を入力するよう求めるメッセージが表示されます。

2. [更新プログラムの確認] をクリックします。
3. 画面に表示される説明に沿って操作します。

Web カメラ

お使いのコンピューターには、ディスプレイの上部に Web カメラが内蔵されています。Web カメラを使用すると、動画を撮影したり共有したりできます。

パフォーマンスを最適にするために、Web カメラを使用するときには以下の点に注意してください。

- マルチメディア ファイルを閲覧したり、別の LAN またはネットワーク ファイアウォール外のユーザーへマルチメディア ファイルを送信したりするときに問題が生じる場合は、ファイアウォールを一時的に無効にして目的のタスクを実行した後で、ファイアウォールを再度有効にします。問題を恒久的に解決するには、必要に応じてファイアウォールを再設定し、ポリシーと設定を調整します。
- 可能な限り、カメラの背後の画面領域の外に明るい光源を置いてください。

Web カメラのプロパティの調整

[プロパティ]ダイアログ ボックスを使用して、Web カメラのプロパティを調整できます。通常このダイアログ ボックスには、内蔵カメラを使用する各種プログラムの構成、設定、またはプロパティ メニューからアクセスできます。

- **[輝度]**：画像に取り込まれる光の量を調整します。輝度を高く設定するとより明るい画像になり、輝度を低く設定するとより暗い画像になります。
- **[コントラスト]**：画像の明るさと暗さの対比を調整します。コントラストを高く設定すると画像の対比の度合いが高まり、コントラストを低く設定すると、元の情報のダイナミック レンジを維持しますがより平面的な画像になります。
- **[色相]**：他の色との特性の差異（赤、緑、青の度合い）を調整します。色相は色彩と異なり、色彩は色相の強さを示します。
- **[色彩]**：最終的な画像の色みの強さを調整します。色彩を高く設定するとより鮮やかな画像になり、色彩を低く設定するとよりくすんだ画像になります。

- **[シャープネス]** : 画像の境界線の緻密さを調整します。シャープネスを高く設定するとよりはっきりとした画像になり、シャープネスを低く設定するとより柔らかい画像になります。
- **[ガンマ]** : 画像の中間調の灰色または中間色に作用する対比を調整します。画像のガンマを調整すると、シャドウとハイライトを大幅に変更しないで、中間グレイ トーンの明度値を変更できます。ガンマを低く設定すると灰色は黒に近くなり、暗い色はさらに暗い色になります。
- **[バックライト補正]** : バックライトの明るさを調整します。(バックライトが明るすぎて対象物が輪郭のみになるなど、画像が極端にぼやけてしまう場合に使用します。)

Web カメラの使用方法については、**[スタート]**→**[ヘルプとサポート]**の順に選択します。

5 電源の管理

電源オプションの設定

省電力設定の使用

お使いのコンピューターでは、2つの省電力設定が出荷時に有効になっています。スリープおよびハイバネーションです。

スリープを開始すると、電源ランプが点滅し、画面表示が消えます。作業中のデータがメモリに保存されるため、スリープを終了するときにはハイバネーションを終了するときよりも早く作業に戻れます。コンピューターが長時間スリープ状態になった場合、またはスリープ状態のときにバッテリーが完全なローバッテリー状態になった場合は、ハイバネーションを開始します。

ハイバネーションを開始すると、データがハードドライブのハイバネーションファイルに保存されて、コンピューターの電源が切れます。

△ **注意：** オーディオおよびビデオの劣化、再生機能の損失、または情報の損失を防ぐため、ディスクや外付けメディアカードの読み取りまたは書き込み中にスリープやハイバネーションを開始しないでください。

☞ **注記：** コンピューターがスリープまたはハイバネーション状態の場合は、無線接続やコンピューターの機能を実行することが一切できなくなります。

スリープの開始および終了

バッテリー電源を使用しているときは操作しない状態が15分続いた場合、または外部電源を使用しているときは操作しない状態が30分続いた場合に、システムがスリープを開始するよう出荷時に設定されています。

電源設定およびタイムアウトは、Windowsの[コントロールパネル]の[電源オプション]を使用して変更できます。

コンピューターの電源が入っているときにスリープを開始するには、以下の操作のどれかを行います。

- 電源ボタンを短く押します。
- ディスプレイを閉じます。
- [スタート]→[シャットダウン]ボタンの横にある矢印→[スリープ]の順にクリックします。

スリープ状態を終了するには、以下のどれかの操作を行います。

- 電源ボタンを短く押します。
- ディスプレイが閉じている場合は、ディスプレイを開きます。
- キーボードのキーまたはリモコンのボタンを押します（一部のモデルのみ）。
- タッチパッドを操作します。

コンピューターがスリープを終了すると電源ランプが点灯し、作業を中断した時点の画面に戻ります。

 **注記：** 復帰するときにパスワードを必要とするように設定した場合は、作業を中断した時点の画面に戻る前に Windows パスワードを入力する必要があります。

ハイバネーションの開始および終了

バッテリー電源を使用しているときも外部電源を使用しているときも操作しない状態が 1080 分（18 時間）続いた場合、または完全なロー バッテリー状態に達した場合に、システムがハイバネーションを開始するように出荷時に設定されています。

電源設定およびタイムアウトは、Windows の[コントロール パネル]の[電源オプション]を使用して変更できます。

ハイバネーションを開始するには、以下の操作を行います。

▲ [スタート]→[シャットダウン]ボタンの横にある矢印→[休止状態]の順にクリックします。

ハイバネーションを終了するには、以下の操作を行います。

▲ 電源ボタンを短く押します。

電源ランプが点灯し、作業を中断した時点の画面に戻ります。

 **注記：** 復帰するときにパスワードを必要とするように設定した場合は、作業を中断した時点の画面に戻る前に Windows パスワードを入力する必要があります。

バッテリー メーターの使用

バッテリー メーターはタスクバーの右端の通知領域にあります。バッテリー メーターを使用すると、すばやく電源設定にアクセスしたり、バッテリー充電残量を表示したり、別の電源プランを選択したりできます。

- 充電残量率と現在の電源プランを表示するには、ポインターを[バッテリー メーター]アイコンの上に移動します。
- 電源オプションにアクセスしたり、電源プランを変更したりするには、[バッテリー メーター]アイコンをクリックして一覧から項目を選択します。

コンピューターがバッテリー電源で動作しているか外部電源で動作しているかは、[バッテリー メーター]アイコンの形の違いで判断できます。アイコンには、バッテリーがロー バッテリー状態、完全なロー バッテリー状態、または省電源移行バッテリー レベルになった場合にそのメッセージも表示されます。

[バッテリー メーター]アイコンを表示または非表示にするには、以下の操作を行います。

1. [隠れているインジケータを表示します]アイコン（通知領域の左側にある矢印）を右クリックします。
2. [通知アイコンのカスタマイズ]をクリックします。
3. [動作]で、[電源]アイコンの[アイコンと通知を表示]を選択します。
4. [OK]をクリックします。

電源プランの使用

電源プランは、コンピューターの電源の使用方法を管理するためのシステム設定の集合です。電源プランによって、電力を節約し、パフォーマンスを最大限に向上させることができます。

電源プランの設定を変更したり、独自の電源プランを作成したりできます。

現在の電源プランの表示

▲ タスクバーの右端の通知領域にある[バッテリー メーター]アイコンをクリックします。

または

[スタート]→[コントロール パネル]→[システムとセキュリティ]→[電源オプション]の順に選択します。

異なる電源プランの選択

- ▲ 通知領域にある[バッテリー メーター]アイコンをクリックし、一覧から電源プランを選択します。

または

[スタート]→[コントロール パネル]→[システムとセキュリティ]→[電源オプション]の順に選択して、一覧から電源プランを選択します。

電源プランのカスタマイズ

1. 通知領域にある[バッテリー メーター]アイコン→[その他の電源オプション]の順にクリックします。

または

[スタート]→[コントロール パネル]→[システムとセキュリティ]→[電源オプション]の順に選択します。

2. 電源プランを選択し、[プラン設定の変更]をクリックします。
3. 必要に応じて設定を変更します。
4. その他の設定を変更するには、[詳細な電源設定の変更]をクリックし、変更を行います。

復帰時のパスワード保護の設定

スリープまたはハイバネーション状態が終了したときにパスワードの入力を求めるようにコンピューターを設定するには、以下の操作を行います。

1. [スタート]→[コントロール パネル]→[システムとセキュリティ]→[電源オプション]の順に選択します。
2. 左側の枠内で、[スリープ解除時のパスワード保護]をクリックします。
3. [現在利用可能ではない設定を変更します]をクリックします。
4. [パスワードを必要とする (推奨)]をクリックします。

 **注記：** ユーザー アカウントを作成するか、現在のユーザー アカウントを変更する場合は、[ユーザー アカウント パスワードの作成または変更]をクリックしてから、画面に表示される説明に沿って操作します。ユーザー アカウント パスワードを作成または変更する必要がない場合は、手順 5 に進んでください。

5. [変更の保存]をクリックします。

外部電源の使用

外部電源は、以下のどちらかのデバイスを通じて供給されます。

△ **警告！** けがや事故、および機器の故障などの安全に関する問題の発生を防ぐため、コンピューターを使用する場合は、コンピューターに付属している AC アダプター、HP が提供する交換用 AC アダプター、または HP から購入した対応する AC アダプターを使用してください。

- 認定された AC アダプター
- 別売のドッキング デバイスまたは拡張製品

以下の条件のどれかにあてはまる場合はコンピューターを外部電源に接続してください。

△ **警告！** 航空機内でコンピューターのバッテリーを充電しないでください。

- バッテリー充電するか、バッテリー ゲージを調整する場合
- システム ソフトウェアをインストールまたは変更する場合
- CD、DVD、または BD に情報を書き込む場合

コンピューターを外部電源に接続すると、以下のようになります。

- バッテリーの充電が開始されます。
- コンピューターの電源が入ると、通知領域にある[バッテリー メーター]アイコンの表示が変わりません。

外部電源の接続を外すと、以下のようになります。

- コンピューターの電源がバッテリーに切り替わります。
- バッテリー電源を節約するために自動的に画面の輝度が下がります。ディスプレイの輝度を上げるには、**f3** 操作キーを押すか、AC アダプターを接続しなおします。

AC アダプターの接続

△ **警告！** 感電や装置の損傷を防ぐため、必ず以下の注意事項を守ってください。

電源コードは、製品の近くの手が届きやすい場所にある電源コンセントに差し込んでください。

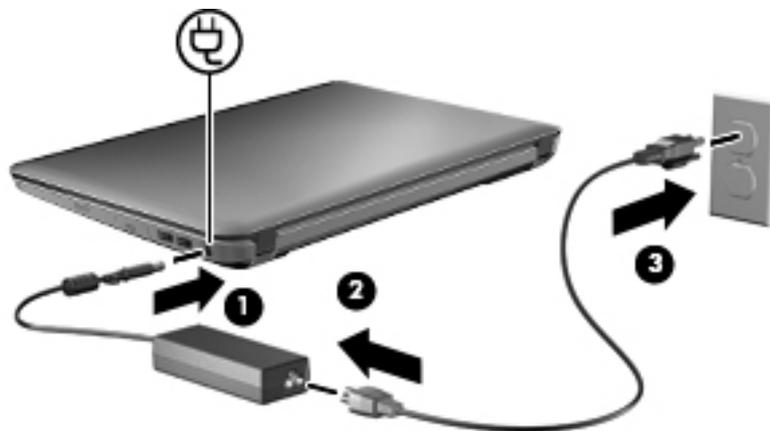
コンピューターへの外部電源の供給を完全に遮断するには、電源を切った後、電源コードをコンピューターからではなくコンセントから抜いてください。

安全に使用するため、必ず電源コードのアース端子を使用して接地してください。2 ピンのアダプターを接続するなどして電源コードのアース端子を無効にしないでください。アース端子は重要な安全上の機能です。

コンピューターを外部電源に接続するには、以下の操作を行います。

1. AC アダプターをコンピューターの電源コネクタに接続します (1)。
2. 電源コードを AC アダプターに差し込みます (2)。

3. 電源コードの反対側の端を電源コンセントに接続します (3)。



AC アダプターのテスト

外部電源に接続したときにコンピューターに以下の状況のどれかが見られる場合は、AC アダプターをテストします。

- コンピューターの電源が入らない。
- ディスプレイの電源が入らない。
- 電源ランプが点灯しない。

AC アダプターをテストするには、以下の操作を行います。

1. コンピューターからバッテリーを取り外します。
2. AC アダプターをコンピューターに接続してから、電源コンセントに接続します。
3. コンピューターの電源を入れます。

電源ランプが点灯した場合は、AC アダプターは正常に動作しています。

交換用 AC アダプターを入手する方法については、サポート窓口にお問い合わせください。アクセスするには、[スタート]→[ヘルプとサポート]→[サポート情報の入手]の順に選択します。

バッテリー電源の使用

充電済みのバッテリーが装着され、外部電源に接続されていない場合、コンピューターはバッテリー電源で動作します。外部電源に接続されている場合、コンピューターは外部電源で動作します。

充電済みのバッテリーを装着したコンピューターが AC アダプターから電力が供給される外部電源で動作している場合、AC アダプターを取り外すと、電源がバッテリー電源に切り替わります。

注記： 外部電源の接続を外すと、バッテリー電源を節約するために自動的に画面の輝度が下がります。ディスプレイの輝度を上げるには、**f3** 操作キーを使用するか、AC アダプターを接続しなおします。

作業環境に応じて、バッテリーをコンピューターに装着しておくことも、ケースに保管しておくことも可能です。コンピューターを外部電源に接続している間、常にバッテリーを装着しておけば、バッテリーは充電されるため、停電した場合でも作業データを守ることができます。ただし、バッテリーをコンピューターに装着したままにしておくと、コンピューターを外部電源に接続していない場合は、コンピューターがオフのときでもバッテリーは徐々に放電していきます。

- △ **警告！** 安全に関する問題の発生を防ぐため、この製品を使用する場合は、コンピューターに付属しているバッテリー、HP が提供する交換用バッテリー、または HP から購入した対応するバッテリーを使用してください。

コンピューターのバッテリーは消耗品で、その寿命は、電源管理の設定、コンピューターで動作しているプログラム、画面の輝度、コンピューターに接続されている外付けデバイス、およびその他の要素によって異なります。

バッテリーの確認

お使いのコンピューターには、リチウムイオン バッテリーが 1 つ付属しています。

[ヘルプとサポート]でのバッテリー情報の確認

[ヘルプとサポート]では、バッテリーに関する以下のツールと情報が提供されます。

- バッテリーの性能をテストするための[HP バッテリー チェック]ツール
- バッテリーの寿命を延ばすための、バッテリー ゲージの調整、電源管理、および適切な取り扱いと保管に関する情報
- バッテリーの種類、仕様、ライフ サイクル、および容量に関する情報

[バッテリー情報]にアクセスするには、以下の操作を行います。

- ▲ [スタート] → [ヘルプとサポート] → [詳細] → [電源プラン：よく寄せられる質問]の順に選択します。

[HP バッテリー チェック]の使用

[ヘルプとサポート]では、コンピューターに取り付けられているバッテリーの状態について情報を提供します。

[HP バッテリー チェック]を実行するには、以下の操作を行います。

1. AC アダプターをコンピューターに接続します。

☒ **注記：** [HP バッテリー チェック]を正常に動作させるため、コンピューターを外部電源に接続しておく必要があります。

2. [スタート] → [ヘルプとサポート] → [トラブルシューティング] → [電源、サーマル、および機械]の順に選択します。
3. [電源]タブをクリックし、[HP バッテリー チェック]をクリックします。

[HP バッテリー チェック]は、バッテリーとそのセルを検査して、バッテリーとそのセルが正常に機能しているかどうかを確認し、検査の結果を表示します。

バッテリー充電残量の表示

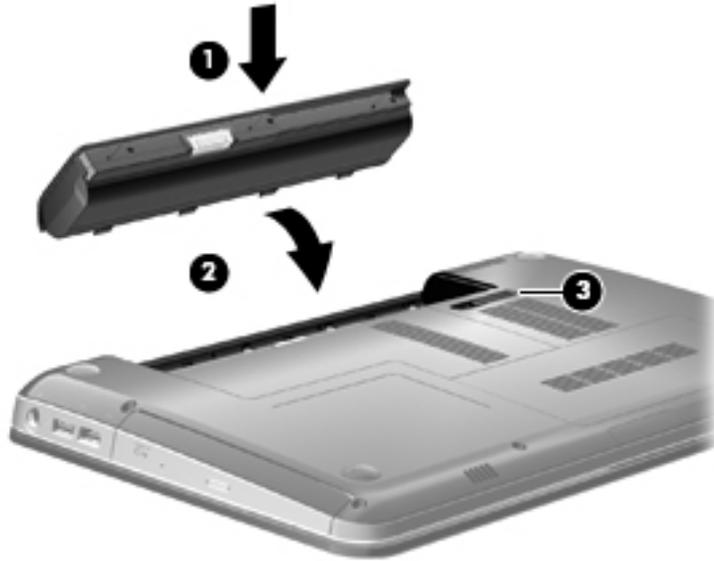
- ▲ タスクバーの右端の通知領域にある[バッテリー メーター]アイコンの上にポインターを移動します。

バッテリーの着脱

- △ **注意：** コンピューターの電源としてバッテリーのみを使用しているときにそのバッテリーを取り外すと、情報が失われる可能性があります。バッテリーを取り外す場合は、情報の損失を防ぐため、あらかじめハイバネーションを開始するか Windows の通常の手順でシャットダウンしておいてください。

バッテリーを装着するには、以下の操作を行います。

1. バッテリー ベイが手前を向くようにしてコンピューターを裏返し、安定した平らな場所に置きます。
2. バッテリーの前面を、バッテリー ベイの外側の縁に合わせます (1)。
3. バッテリーを回転させるようにしてバッテリー ベイに挿入し、しっかりと収まるまで押し込みます (2)。バッテリー リリース ラッチ (3) でバッテリーが自動的に固定されます。



バッテリーを取り外すには、以下の操作を行います。

1. コンピューターを裏返して安定した平らな場所に置きます。
2. バッテリー リリース ラッチをスライドさせて (1) バッテリーの固定を解除します。

 **注記：** バッテリー リリース ラッチは、自動的に元の位置に戻ります。

3. バッテリーを回転させるようにして引き上げて (2)、コンピューターから取り外します (3)。



バッテリーの充電

△ **警告!** 航空機内でコンピューターのバッテリーを充電しないでください。

コンピューターを外部電源 (AC アダプター経由)、別売の電源アダプター、別売の拡張製品、または別売のドッキング デバイスに接続すると、バッテリーの充電が開始されます。

バッテリーは、コンピューターの電源が入っているかどうかにかかわらず充電されますが、電源を切ったときの方が早く充電が完了します。

バッテリーが新しいか 2 週間以上使用されていない場合、またはバッテリーの温度が室温よりも高すぎたり低すぎたりする場合、充電に時間がかかることがあります。

バッテリーの寿命を延ばし、バッテリー残量が正確に表示されるようにするには、以下の点に注意してください。

- 新しいバッテリーを充電する場合は、コンピューターの電源を入れる前にバッテリーを完全に充電してください。
- バッテリー ランプが白色に点灯するまでバッテリーを充電してください。

☞ **注記:** コンピューターの電源が入っている状態でバッテリーを充電すると、バッテリーが完全に充電される前に通知領域のバッテリー メーターに 100%と表示される場合があります。

- 通常の使用で完全充電時の 5%未満になるまでバッテリーを放電してから充電してください。
- 1 か月以上使用していないバッテリーは、単に充電を行うのではなく、バッテリー ゲージの調整を行います。

バッテリー ランプには、以下のように充電状態が表示されます。

- 白色：コンピューターは外部電源に接続され、バッテリーの充電は完了しています。
- オレンジ色：コンピューターは外部電源に接続され、バッテリーが充電中です。
- 点滅：コンピューターの電源としてバッテリーのみを使用していて、ロー バッテリー状態になっています。完全なロー バッテリー状態になった場合は、バッテリー ランプがすばやく点滅し続けます。

バッテリーの放電時間の最長化

バッテリーの放電時間は、バッテリー電源で動作しているときに使用する機能によって異なります。バッテリーの容量は自然に低下するため、バッテリーの最長放電時間は徐々に短くなります。

バッテリーの放電時間を長く保つには、以下の点に注意してください。

- ディスプレイの輝度を下げます。
- [電源オプション]の[省電力]設定を確認します。
- バッテリーが使用されていないときまたは充電されていないときは、コンピューターからバッテリーを取り外します。
- バッテリーを気温や湿度の低い場所に保管します。

ロー バッテリー状態への対処

ここでは、出荷時に設定されている警告メッセージおよびシステム応答について説明します。ロー バッテリー状態の警告とシステム応答の設定は、Windows の[コントロール パネル]の[電源オプション]で変更できます。[電源オプション]を使用した設定は、ランプの状態には影響しません。

ロー バッテリー状態の確認

コンピューターの電源としてバッテリーのみを使用しているときにバッテリーがロー バッテリー状態になると、バッテリー ランプが点滅します。

ロー バッテリー状態を解決しないと完全なロー バッテリー状態に入り、バッテリー ランプが点滅し続けます。

完全なロー バッテリーの状態になった場合、コンピューターでは以下の処理が行われます。

- ハイバネーションが有効で、コンピューターの電源が入っているかスリープ状態のときは、ハイバネーションが開始されます。
- ハイバネーションが無効で、コンピューターの電源が入っているかスリープ状態のときは、短い時間スリープ状態になってから、システムが終了します。このとき、保存されていない情報は失われます。

ロー バッテリー状態の解決

△ **注意：** 情報の損失を防ぐため、コンピューターが完全なロー バッテリー状態になってハイバネーションが開始された場合は、電源ランプが消灯するまで電源を入れしないでください。

外部電源を使用できる場合のロー バッテリー状態の解決

- ▲ 以下のデバイスのどれかを接続します。
 - AC アダプター
 - 別売の拡張製品またはドッキング デバイス
 - 別売の電源アダプター

充電済みのバッテリーを使用できる場合のロー バッテリー状態の解決

1. コンピューターの電源を切るか、ハイバネーションを開始します。
2. 放電したバッテリーを取り外し、充電済みのバッテリーを装着します。
3. コンピューターの電源を入れます。

電源を使用できない場合のロー バッテリー状態の解決

- ▲ ハイバネーションを開始します。
または
作業中のデータを保存してコンピューターをシャットダウンします。

ハイバネーションを終了できない場合のロー バッテリー状態の解決

ハイバネーションを終了するための十分な電力がコンピューターに残っていない場合は、以下の操作を行います。

1. 充電済みのバッテリーを装着するか、コンピューターを外部電源に接続します。
2. 電源ボタンを押して、ハイバネーションを終了します。

バッテリー ゲージの調整

バッテリー ゲージの調整は、以下の場合に必要です。

- バッテリー充電情報の表示が不正確な場合
- バッテリーの通常の動作時間が極端に変化した場合

バッテリーを頻繁に使用している場合でも、1 か月に 2 回以上バッテリー ゲージを調整する必要はありません。また、新しいバッテリーを初めて使用する前にバッテリー ゲージを調整する必要はありません。

手順 1 : バッテリーを完全に充電する

△ **警告!** 航空機内でコンピューターのバッテリーを充電しないでください。

☞ **注記:** バッテリーは、コンピューターの電源が入っているかどうかにかかわらず充電されますが、電源を切ったときの方が早く充電が完了します。

バッテリーを完全に充電するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターにバッテリーを装着します。
2. コンピューターを AC アダプター、別売の電源アダプター、別売の拡張製品、または別売のドッキング デバイスに接続し、そのアダプターまたはデバイスを外部電源に接続します。
充電が完了すると、コンピューターのバッテリー ランプがオレンジ色に点灯します。
3. バッテリーが完全に充電されるまで、コンピューターを外部電源に接続しておきます。

充電が完了すると、コンピューターのバッテリー ランプが白色に点灯します。

手順 2 : ハイバネーションおよびスリープを無効にする

1. 通知領域にある[バッテリー メーター]アイコン→[その他の電源オプション]の順にクリックします。
または
[スタート]→[コントロール パネル]→[システムとセキュリティ]→[電源オプション]の順に選択します。
2. 現在の電源プランのもとで、[プラン設定の変更]をクリックします。
3. バッテリー ゲージの調整後に設定を元に戻せるように、[バッテリー駆動]列の[ディスプレイの電源を切る]の設定を記録しておきます。
4. [ディスプレイの電源を切る]の設定を[しない]に変更します。
5. [詳細な電源設定の変更]をクリックします。
6. [スリープ]の横のプラス記号 (+) →[次の時間が経過後休止状態にする]の横のプラス記号の順にクリックします。
7. バッテリー ゲージの調整後に設定を元に戻せるように、[次の時間が経過後休止状態にする]の下の[バッテリー駆動]の設定を記録しておきます。
8. [バッテリー駆動]の設定を[なし]に変更します。
9. [OK]をクリックします。
10. [変更の保存]をクリックします。

手順 3 : バッテリーを放電する

バッテリーの放電中は、コンピューターの電源を入れたままにしておく必要があります。バッテリーは、コンピューターを使用しているかどうかにかかわらず放電できますが、使用している方が早く放電が完了します。

- 放電中にコンピューターを放置しておく場合は、放電を始める前に作業中のファイルを保存してください。
- 放電中にコンピューターを使用する予定で、省電力設定を利用している場合、放電処理中はシステムの動作が以下ようになります。
 - モニターが自動的にオフになりません。
 - コンピューターがアイドル状態のときでも、ハードドライブの速度は自動的に低下しません。
 - システムによるハイバネーションは開始されません。

バッテリーを放電するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターを外部電源から切り離します。ただし、コンピューターの電源は切らないでください。
2. バッテリーが放電するまで、バッテリー電源でコンピューターを動作させます。バッテリーの放電が進んでロー バッテリー状態になると、バッテリー ランプが点滅し始めます。バッテリーが放電すると、バッテリー ランプが消灯して、コンピューターの電源が切れます。

手順 4 : バッテリーを完全に再充電する

バッテリーを再充電するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターを外部電源に接続して、バッテリーが完全に再充電されるまで接続したままにします。再充電が完了すると、コンピューターのバッテリー ランプが白色に点灯します。
バッテリーの再充電中でもコンピューターは使用できますが、電源を切っておく方が充電が早く完了します。
2. コンピューターの電源を切っていた場合は、バッテリーが完全に充電されてバッテリー ランプが白色に点灯した後で、コンピューターの電源を入れます。

手順 5 : ハイバネーションおよびスリープを再び有効にする

△ **注意** : バッテリー ゲージの調整後にハイバネーションを再度有効にしないと、コンピューターが完全なロー バッテリー状態になった場合、バッテリーが完全に放電して情報が失われるおそれがあります。

1. 通知領域にある[バッテリー メーター]アイコン→[その他の電源オプション]の順にクリックします。
または
[スタート]→[コントロール パネル]→[システムとセキュリティ]→[電源オプション]の順に選択します。
2. 現在の電源プランのもとで、[プラン設定の変更]をクリックします。
3. [バッテリー駆動]列の項目を、記録しておいた設定に戻します。
4. [詳細な電源設定の変更]をクリックします。
5. [スリープ]の横のプラス記号 (+) →[次の時間が経過後休止状態にする]の横のプラス記号の順にクリックします。
6. [バッテリー駆動]列を、記録しておいた設定に戻します。
7. [OK]をクリックします。
8. [変更の保存]をクリックします。

バッテリーの節電

- Windows の[コントロール パネル]で、[システムとセキュリティ]の[電源オプション]から[省電力]電源プランを選択します。
- ネットワークに接続する必要がないときは無線接続とローカル エリア ネットワーク (LAN) 接続をオフにして、モデムを使用するアプリケーションを使用後すぐに終了します。
- 外部電源に接続されていない外付けデバイスのうち、使用していないものをコンピューターから取り外します。
- 使用していない外付けメディア カードを停止するか、無効にするか、または取り出します。
- 必要に応じて画面輝度を調節するには、**f2** および **f3** 操作キーを使用します。
- しばらく作業を行わないときは、スリープまたはハイバネーションを開始するか、コンピューターの電源を切ります。

バッテリーの保管

△ **注意** : 故障の原因となりますので、バッテリーを温度の高い場所に長時間放置しないでください。

2週間以上コンピューターを使用せず、外部電源から切り離しておく場合は、すべてのバッテリーを取り出して別々に保管してください。

保管中のバッテリーの放電を抑えるには、バッテリーを気温や湿度の低い場所に保管してください。

- ☞ **注記：** 保管中のバッテリーは6か月ごとに点検する必要があります。容量が50%未満になっている場合は、再充電してから保管してください。

1か月以上保管したバッテリーを使用するときは、最初にバッテリー ゲージの調整を行ってください。

使用済みのバッテリーの処理

- △ **警告！** 化学薬品による火傷や発火のおそれがありますので、バッテリーを分解したり、壊したり、穴をあけたりしないでください。また、バッテリーの接点をショートさせたり、バッテリーを火や水の中に捨てたりしないでください。60°Cより高い温度の環境に放置しないでください。バッテリーを交換する場合は、このコンピューターでの使用が認定されているバッテリーのみを使用してください。

バッテリーの処理については、『規定、安全、および環境に関するご注意』を参照してください。バッテリーは消耗品です。

バッテリーの交換

コンピューターのバッテリーは消耗品で、その寿命は、電源管理の設定、コンピューターで動作しているプログラム、画面の輝度、コンピューターに接続されている外付けデバイス、およびその他の要素によって異なります。

[HP バッテリー チェック]は、内部セルが正常に充電されていないときや、バッテリー容量が「ロー バッテリー」の状態になったときに、バッテリーを交換するようユーザーに通知します。交換用バッテリーの購入について詳しくは、メッセージに記載されている HP の Web サイトを参照してください。バッテリーが HP の保証対象となっている場合は、説明書に保証 ID が記載されています。

- ☞ **注記：** 必要なときにバッテリー切れを起こさないようにするため、充電残量のインジケーターが緑がかった黄色になったら新しいバッテリーを購入することをおすすめします。

グラフィックス モードの切り替え（一部のモデルのみ）

お使いのコンピューターには、切り替え可能な GPU が搭載されており、2つのグラフィックス処理モードが用意されています。コンピューターを外部電源からバッテリー電源に切り替えるときに、高パフォーマンス モードから省電力モードに切り替えて、バッテリー寿命を節約できます。同様に、バッテリー電源から外部電源に切り替えるときには、高パフォーマンス モードに戻すことができます。

- ☞ **注記：** 状況によっては、コンピューターのパフォーマンスを維持するために、モードを切り替えることができない場合や、切り替えを促される場合があります。また、切り替える前にすべてのプログラムを終了する必要がある場合もあります。

注記： HDMI は、高パフォーマンス モードでのみ機能します。省電力モードでは、HDMI は使用できません。

外部電源とバッテリー電源を切り替えると、グラフィックス モードが切り替わることを示すメッセージが表示されます。必要に応じて、グラフィックス モードを変更しない選択もできます。モードの切り替え中は、数秒間、画面が何も表示されない状態になります。切り替えが完了すると、通知領域にメッセージが表示され、画面が元に戻ります。

- ☞ **注記：** コンピューターのモデルがタブレット スタイルの場合は、グラフィックス モードを切り替えるときに画面方向がリセットされます。

どちらのグラフィックス モードを使用しているかを確認するには、Windows デスクトップを右クリックし、**[Configure Switchable Graphics]** (Switchable Graphics の設定) または **[Configure ATI PowerXpress™]** (ATI PowerXpress™ の設定) をクリックします。

コンピューターのシャットダウン

△ **注意：** コンピューターをシャットダウンすると、保存されていない情報は失われます。

[シャットダウン] コマンドはオペレーティング システムを含む開いているすべてのプログラムを終了し、ディスプレイおよびコンピューターの電源を切ります。

以下の場合には、コンピューターをシャットダウンします。

- バッテリーを交換したりコンピューター内部の部品に触れたりする必要がある場合
- USB コネクタ以外のコネクタに外付けハードウェア デバイスを接続する場合
- コンピューターを長期間使用せず、外部電源から切断する場合

電源ボタンでコンピューターをシャットダウンすることもできますが、Windows の [シャットダウン] コマンドを使用した手順をおすすめします。

コンピューターをシャットダウンするには、以下の操作を行います。

🔍 **注記：** コンピューターがスリープまたはハイバネーション状態の場合は、シャットダウンをする前にスリープまたはハイバネーションを終了する必要があります。

1. 作業中のデータを保存して、開いているすべてのプログラムを閉じます。
2. **[スタート]** をクリックします。
3. **[シャットダウン]** をクリックします。

コンピューターが応答しなくなり、上記のシャットダウン手順を使用できない場合は、以下の緊急手順を記載されている順に試みてください。

- **ctrl + alt + delete** キーを押し、**[電源]** ボタンをクリックします。
- 電源ボタンを 5 秒程度押し続けます。
- コンピューターを外部電源から切断し、バッテリーを取り外します。

6 ドライブ

取り付けられているドライブの確認

お使いのコンピューターには、ソリッドステートメモリを搭載したSSD (Solid State Drive) が搭載されています。SSDは、駆動部品を持たないため、その他のハードドライブほど熱を発生しません。

コンピューターに取り付けられているドライブを表示するには、[スタート]→[コンピューター]の順に選択します。

ドライブの取り扱い

ドライブは壊れやすいコンピューター部品ですので、取り扱いには注意が必要です。ドライブの取り扱いについては、以下の注意事項を参照してください。必要に応じて、追加の注意事項および関連手順を示します。

△ **注意：** コンピューターやドライブの損傷、または情報の損失を防ぐため、以下の点に注意してください。

外付けハードドライブに接続したコンピューターをある場所から別の場所へ移動させるような場合は、事前にスリープを開始して画面表示が消えるまで待つか、外付けハードドライブを適切に取り外してください。

ドライブを取り扱う前に、塗装されていない金属面に触れるなどして、静電気を放電してください。

リムーバブル ドライブまたはコンピューターのコネクタ ピンに触れないでください。

ドライブは慎重に取り扱い、絶対に落としたり上に物を置いたりしないでください。

ドライブの着脱を行う前に、コンピューターの電源を切ります。コンピューターの電源が切れているのか、スリープ状態か、またはハイバネーション状態なのかわからない場合は、まずコンピューターの電源を入れ、次にオペレーティング システムの通常の手順でシャットダウンします。

ドライブをドライブ ベイに挿入するときは、無理な力を加えないでください。

光学ドライブ（一部のモデルのみ）内のディスクへの書き込みが行われているときは、キーボードから入力したり、コンピューターを移動したりしないでください。書き込み処理は振動の影響を受けやすい動作です。

バッテリーのみを電源として使用している場合は、メディアに書き込む前にバッテリーが十分に充電されていることを確認してください。

高温または多湿の場所にドライブを放置しないでください。

ドライブに洗剤などの液体を垂らさないでください。また、ドライブに直接、液体クリーナーなどを吹きかけないでください。

ドライブ ベイからのドライブの取り外し、ドライブの持ち運び、郵送、保管などを行う前に、ドライブからメディアを取り出してください。

ドライブを郵送するときは、発泡ビニール シートなどの緩衝材で適切に梱包し、梱包箱の表面に「コワレモノ—取り扱い注意」と明記してください。

ドライブを磁気に近づけないようにしてください。磁気を発するセキュリティ装置には、空港の金属探知器や金属探知棒が含まれます。空港の機内持ち込み手荷物をチェックするベルト コンベアなどのセキュリティ装置は、磁気ではなく X 線を使用してチェックを行うので、ドライブには影響しません。

ハードドライブ パフォーマンスの向上

[ディスク デフラグ]の使用

コンピューターを使用しているうちに、ハードドライブ上のファイルが断片化されてきます。[ディスク デフラグ]を行うと、ハードドライブ上の断片化したファイルやフォルダーを集めてより効率よく作業を実行できるようになります。

いったん[ディスク デフラグ]を開始すれば、動作中に操作する必要はありません。ハードドライブのサイズと断片化したファイルの数によっては、完了まで 1 時間以上かかることがあります。そのため、夜間やコンピューターにアクセスする必要のない時間帯に実行することをおすすめします。

少なくとも 1 か月に 1 度、ハードドライブのデフラグを行うことをおすすめします。[ディスク デフラグ]は 1 か月に 1 度実行するように設定できますが、手動でいつでもコンピューターのデフラグを実行できます。

[ディスク デフラグ]を実行するには、以下の操作を行います。

1. [スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[システム ツール]→[ディスク デフラグ]の順に選択します。
2. [今すぐ最適化]をクリックします。

 **注記：** Windows には、コンピューターのセキュリティを高めるためのユーザー アカウント制御機能が含まれています。ソフトウェアのインストール、ユーティリティの実行、Windows の設定変更などを行うときに、ユーザーのアクセス権やパスワードの入力を求められる場合があります。詳しくは、Windows の[ヘルプとサポート]を参照してください。

詳しくは、[ディスク デフラグ ツール]ソフトウェアのヘルプを参照してください。

[ディスク クリーンアップ]の使用

[ディスク クリーンアップ]を行うと、ハードドライブ上の不要なファイルが検出され、それらのファイルが安全に削除されてディスクの空き領域が増し、より効率よく作業を実行できるようになります。

[ディスク クリーンアップ]を実行するには、以下の操作を行います。

1. [スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[システム ツール]→[ディスク クリーンアップ]の順に選択します。
2. 画面に表示される説明に沿って操作します。

[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]の使用

[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]は、以下のどちらかの場合にドライブを一時停止し、入出力要求を中止することによって、ハードドライブを保護するシステムです。

- バッテリー電源で動作しているときにコンピューターを落下させた場合
- バッテリー電源で動作しているときにディスプレイを閉じた状態でコンピューターを移動した場合

これらのどれかが発生して終了すると間もなく、[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]はハードドライブを通常動作に戻します。

 **注記：** SSD (Solid State Drive) には駆動部品がないため、[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]は必要ありません。

注記： USB コネクタに接続されているハードドライブは、[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]では保護されません。

詳しくは、[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]ソフトウェアのヘルプを参照してください。

[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]の状態の確認

コンピューターのドライブ ランプがオレンジ色に点灯し、ドライブが停止していることを示します。ドライブが現在保護されているか、または停止しているかを確認するには、[スタート]→[コントロール パネル]→[ハードウェアとサウンド]→[Windows モビリティ センター]の順に選択します。

- ソフトウェアが有効の場合、緑色のチェック マークがハードドライブ アイコンに重なって表示されます。
- ソフトウェアが無効の場合、赤の X 印がハードドライブ アイコンに重なって表示されます。
- ドライブが一時停止している場合は、黄色の月がハードドライブ アイコンの上に重なって表示されます。

[Windows モビリティ センター]のアイコンは、ドライブの最新の状態を示していない場合があります。状態が変更されたらすぐに表示に反映されるようにするには、通知領域のアイコンを有効にする必要があります。

通知領域のアイコンを有効にするには、以下の操作を行います。

1. [スタート]→[コントロール パネル]→[ハードウェアとサウンド]→[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]の順に選択します。
2. [システム トレイ上のアイコン]行で[表示]をクリックします。
3. [OK]をクリックします。

[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]によってドライブが停止された場合、コンピューターは以下の状態になります。

- シャットダウンができない
- 次の注記に示す場合を除いて、スリープまたはハイバネーションを開始できない

 **注記：** コンピューターがバッテリー電源で動作中に完全なロー バッテリー状態になった場合は、[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]で停止されたドライブであってもハイバネーションが開始されます。

- [電源オプションのプロパティ]の[アラーム]タブで設定するバッテリー アラームを有効にできないコンピューターを移動する前に、完全にシャットダウンするか、スリープまたはハイバネーションを開始します。

[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]ソフトウェアの使用

[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]ソフトウェアでは、以下のタスクを実行できます。

- [HP ProtectSmart Hard Drive Protection]を有効または無効にする。

 **注記：** [HP ProtectSmart Hard Drive Protection]の有効または無効への切り替えが許可されているかどうかは、ユーザーの権限によって異なります。なお、Administrator グループのメンバーは Administrator 以外のユーザーの権限を変更できます。

- システムのドライブがサポートされているかどうかを確認する。

ソフトウェアを開いて設定を変更するには、以下の操作を行います。

1. [Windows モビリティ センター]でハードドライブ アイコンをクリックして、[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]ウィンドウを開きます。

または

[スタート]→[コントロール パネル]→[ハードウェアとサウンド]→[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]の順に選択します。

2. 適切なボタンをクリックして設定を変更します。
3. [OK]をクリックします。

ハードドライブの交換

△ **注意：** 情報の損失やシステムの応答停止を防ぐため、以下の点に注意してください。

ハードドライブ ベイからハードドライブを取り外す前に、コンピューターをシャットダウンしてください。コンピューターの電源が入っているときや、スリープまたはハイバネーション状態のときには、ハードドライブを取り外さないでください。

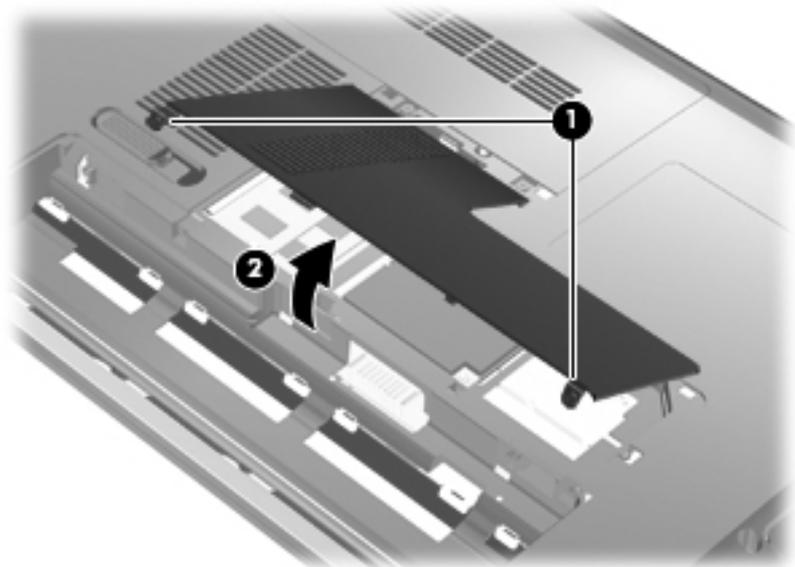
コンピューターの電源が切れているかハイバネーション状態なのかわからない場合は、まず電源ボタンを押してコンピューターの電源を入れます。次に、オペレーティング システムの通常の手順でシャットダウンします。

ハードドライブを取り外すには、以下の操作を行います。

1. 必要なデータを保存します。
2. コンピューターをシャットダウンし、ディスプレイを閉じます。
3. コンピューターに接続されているすべての外付けデバイスを取り外します。
4. 電源コンセントから電源コードを抜きます。
5. コンピューターを裏返して安定した平らな場所に置き、バッテリーを取り外します。

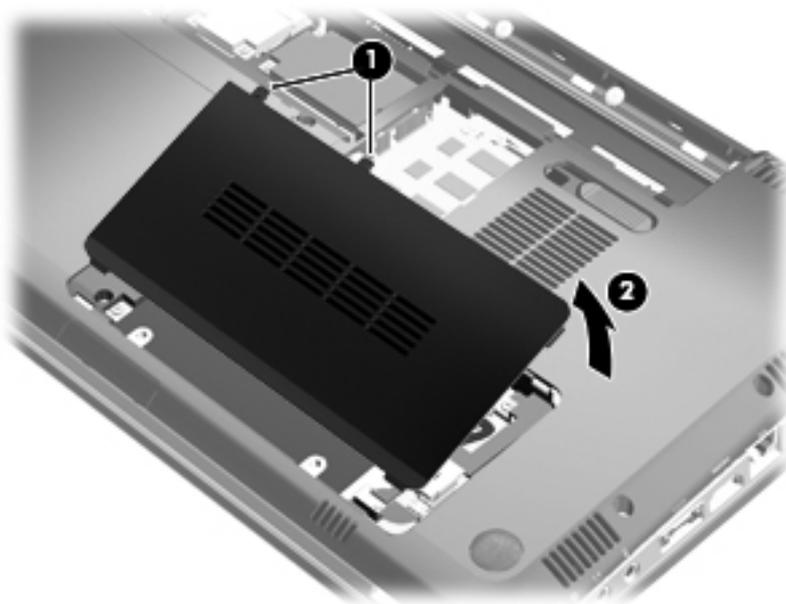
📖 **注記：** コンピューターからハードドライブを取り外すには、まずメモリ/無線モジュール コンパートメント カバーを取り外す必要があります。

6. ハードドライブ ベイが手前になるように置き、メモリ/無線モジュール コンパートメント カバーのネジ (1) を緩めます。
7. メモリ/無線モジュール コンパートメント カバーを持ち上げて (2) コンピューターから取り外します。



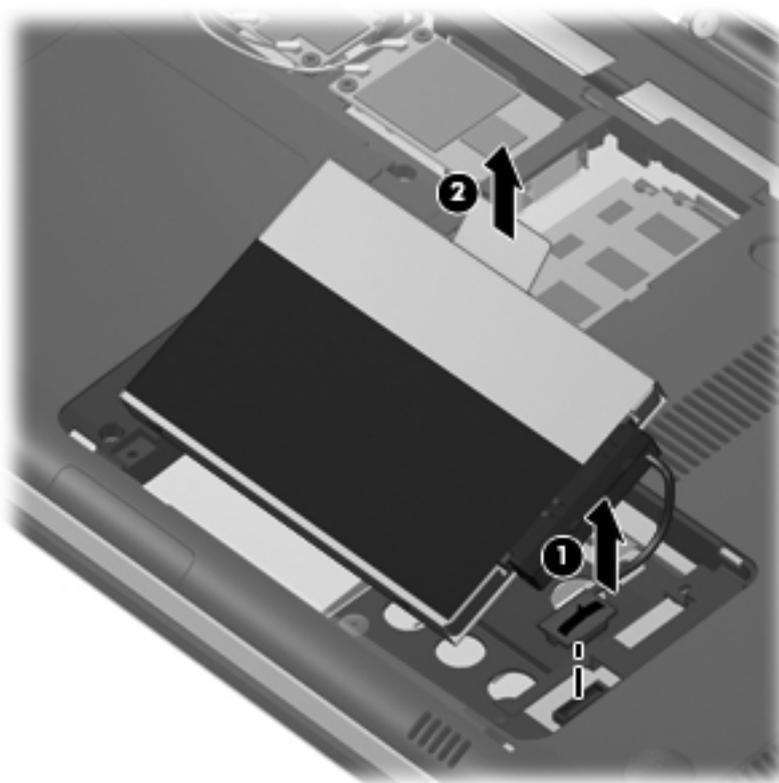
8. ハードドライブ カバーのネジ (1) を緩めます。

9. ハードドライブ カバーを傾けながら持ち上げて、コンピューターから取り外します (2)。



10. ハードドライブ ケーブルをシステム ボードから外します (1)。

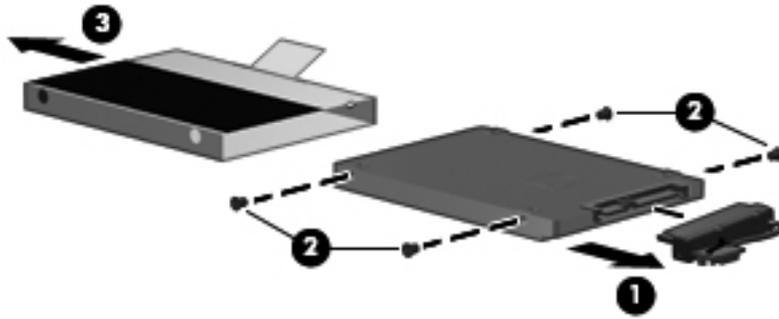
11. ハードドライブ ベイからハードドライブを取り出します (2)。



12. ハードドライブ ケーブルをハードドライブから外します (1)。

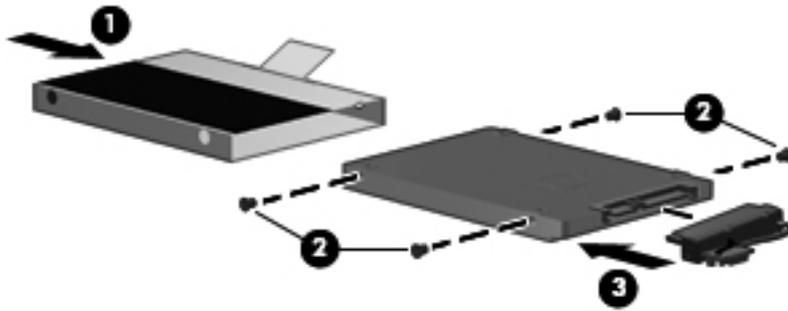
13. 保護用カバーをハードドライブに固定しているネジを取り外します (2)。

14. 保護用カバーをスライドさせて (3)、ハードドライブから取り外します。



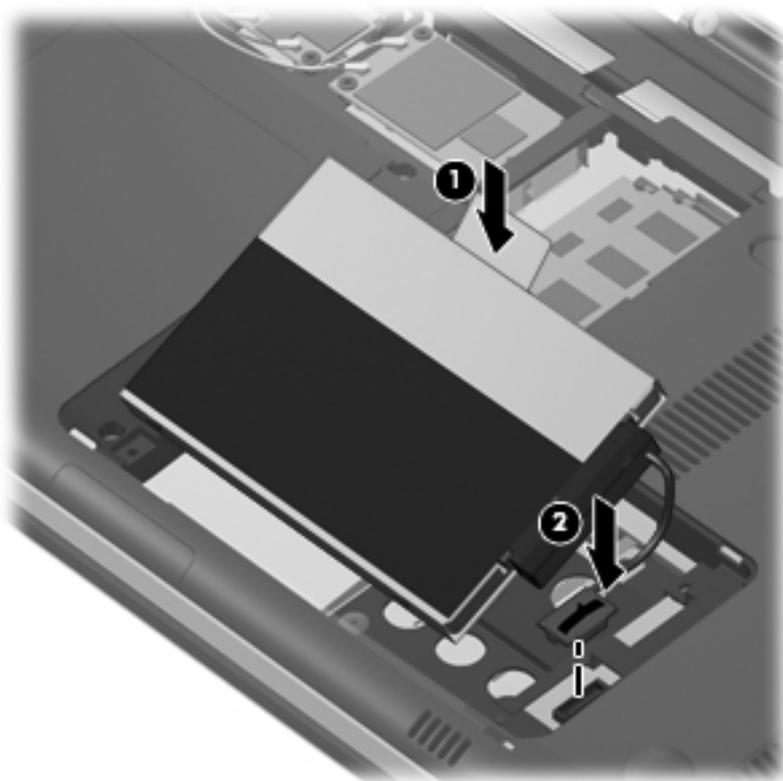
ハードドライブを取り付けるには、以下の操作を行います。

1. 保護用カバーをスライドさせて (1)、ハードドライブに取り付けます。
2. 保護用カバーをハードドライブに固定するためのネジを元の場所に取り付けます (2)。
3. ハードドライブ ケーブルをハードドライブに接続します (3)。

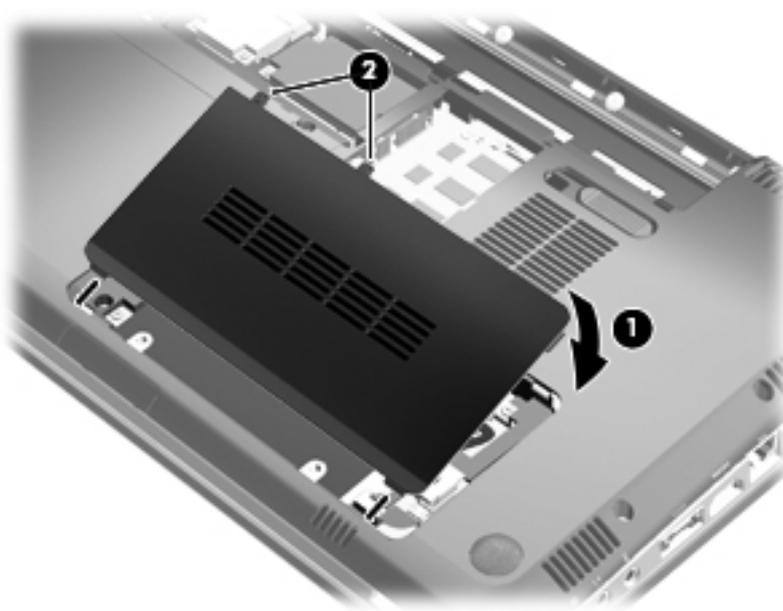


4. ハードドライブを 45°の角度でハードドライブ ベイに挿入します (1)。

5. ハードドライブ ケーブルをシステム ボードのハードドライブ コネクタに接続します (2)。

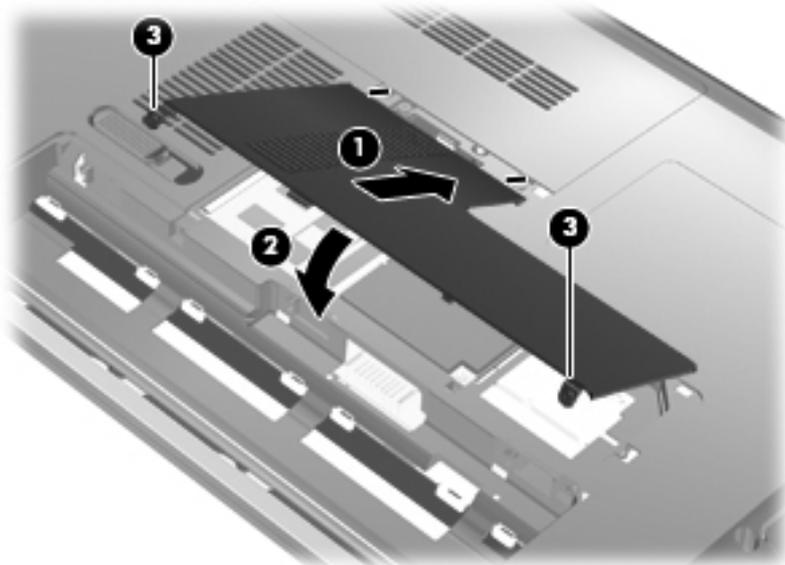


6. ハードドライブ カバーのタブを、コンピューターのかぼみに合わせます。
7. カバーを取り付けなおします (1)。
8. ハードドライブ カバーのネジ (2) を締めます。



9. メモリ/無線モジュール コンパートメント カバーのタブを、コンピューターのかぼみに合わせます (1)。

10. メモリ モジュール コンパートメント カバーを取り付けなおします (2)。
11. メモリ/無線モジュール コンパートメント カバーのネジ (3) を締めます。



12. バッテリーを取り付けなおします。
13. コンピューターのカバーを上にして置き、外部電源および外付けデバイスを接続しなおします。
14. コンピューターの電源を入れます。

7 外付けデバイス

USB (Universal Serial Bus) デバイスの使用

USB (Universal Serial Bus) コネクタを使用して、USB キーボード、マウス、ドライブ、プリンター、スキャナー、ハブなどの別売の外付けデバイスを、コンピューターまたは別売の拡張製品に接続します。

USB デバイスには、追加サポート ソフトウェアを必要とするものがありますが、通常はデバイスに付属しています。デバイス固有のソフトウェアについて詳しくは、デバイスに付属している操作説明書を参照してください。

コンピューターには3つの USB コネクタ (2つの USB コネクタと1つの eSATA/USB コンボ コネクタ) があり、USB 1.0、USB 1.1、および USB 2.0 の各デバイスに対応しています。USB コネクタをさらに追加するには、別売のハブまたは拡張製品を取り付けます。

USB デバイスの接続

- △ **注意：** USB コネクタの損傷を防ぐため、USB デバイスを接続するときは無理な力を加えないでください。
- ▲ USB デバイスをコンピューターに接続するには、デバイスの USB ケーブルを USB コネクタに接続します。



デバイスが検出されると音が鳴ります。

- ☞ **注記：** USB デバイスを初めて接続した場合は、タスクバーの右端の通知領域に[デバイス ドライバー ソフトウェアをインストールしています]というメッセージが表示されます。

USB デバイスの取り外し

- △ **注意：** 情報の損失やシステムの応答停止を防ぐため、以下の操作を行って USB デバイスを安全に取り外します。
- 注意：** USB コネクタの損傷を防ぐため、USB デバイスを取り外すときはケーブルを引っ張らないでください。

USB デバイスを取り外すには、以下の操作を行います。

1. タスクバーの右端の通知領域にある[ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す]アイコンをクリックします。

 **注記：** タスクバーに[ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す]アイコンを表示するには、[隠れているインジケータを表示します]アイコン（通知領域の左側にある矢印）をクリックします。

2. 一覧からデバイス名をクリックします。

 **注記：** ハードウェア デバイスを安全に取り外すことができるというメッセージが表示されます。

3. デバイスを取り外します。

eSATA デバイスの使用

eSATA コネクタを使用して、eSATA 外部ハードドライブなどの別売の外付けデバイスを、高性能な eSATA コンポーネントに接続します。

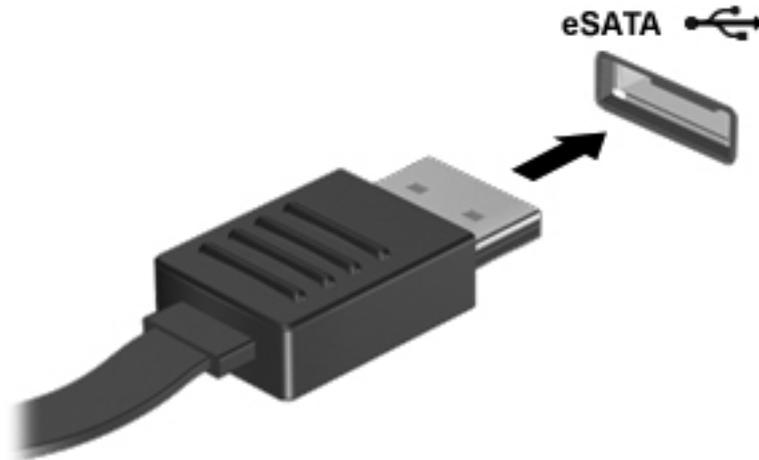
eSATA デバイスには、追加サポート ソフトウェアを必要とするものがありますが、通常はデバイスに付属しています。デバイス固有のソフトウェアについて詳しくは、デバイスに付属している操作説明書を参照してください。

 **注記：** eSATA コネクタは、別売の USB デバイスもサポートしています。

eSATA デバイスの接続

△ **注意：** eSATA コネクタの損傷を防ぐため、eSATA デバイスを接続するときは無理な力を加えないでください。

- ▲ eSATA デバイスをコンピューターに接続するには、デバイスの USB ケーブルを eSATA コネクタに接続します。



デバイスが検出されると音が鳴ります。

eSATA デバイスの取り外し

△ **注意：** 情報の損失やシステムの応答停止を防ぐため、以下の操作を行ってデバイスを安全に取り外します。

注意： eSATA コネクタの損傷を防ぐため、eSATA デバイスを取り外すときはケーブルを引っ張らないでください。

1. タスクバーの右端の通知領域にある[ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す]アイコンをクリックします。

 **注記：** タスクバーに[ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す]アイコンを表示するには、[隠れているインジケータを表示します]アイコン（通知領域の左側にある矢印）をクリックします。

2. 一覧からデバイス名をクリックします。

 **注記：** ハードウェア デバイスを安全に取り外すことができるというメッセージが表示されます。

3. デバイスを取り外します。

8 外付けメディア カード

メディア カードの使用

別売のメディア カードは、データを安全に格納し、簡単にデータを共有できるカードです。これらのカードは、他のコンピューター以外にも、デジタル メディア対応のカメラやPDAなどでよく使用されます。

お使いのコンピューターのメディア カード スロットは、以下のフォーマットのメディア カードに対応しています。

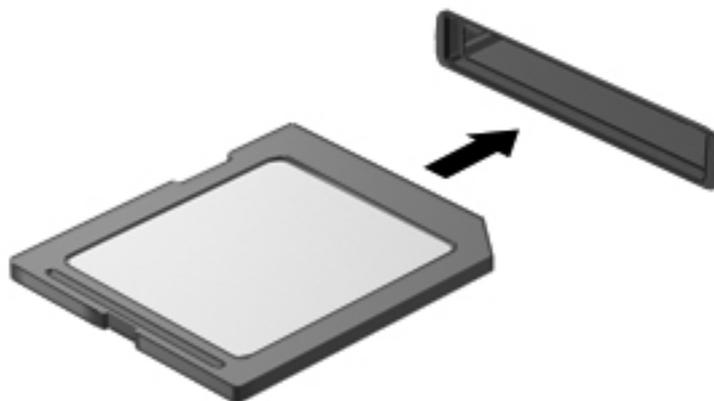
- メモリースティック (MS)
- メモリースティック PRO (MS-PRO)
- マルチメディアカード (MMC)
- SD (Secure Digital) メモリーカード
- SDHC (Secure Digital High Capacity) メモリーカード (標準サイズおよび大きいサイズ)
- xD ピクチャーカード (XD)

メディア カードの挿入

△ **注意：** メディア カードまたはコンピューターの損傷を防ぐため、メディア スロットにはどのような種類のアダプターも挿入しないでください。

注意： メディア カード コネクタの損傷を防ぐため、メディア カードを挿入するときには、無理な力を加えないでください。

1. メディア カードのラベルを上にし、コネクタをコンピューター側に向けて持ちます。
2. メディア スロットにカードを挿入し、カードがしっかりと収まるまで押し込みます。



デバイスが検出されると音が鳴り、場合によっては使用可能なオプションのメニューが表示されます。

メディア カードの取り出し

△ **注意：** 情報の損失やシステムの応答停止を防ぐため、以下の操作を行ってメディア カードを安全に取り出します。

1. 情報を保存し、メディア カードに関連するすべてのプログラムを閉じます。

☒ **注記：** データ転送を停止するには、オペレーティング システムの[コピーしています]ウィンドウで[キャンセル]をクリックします。

2. メディア カードを取り出すには、以下の操作を行います。

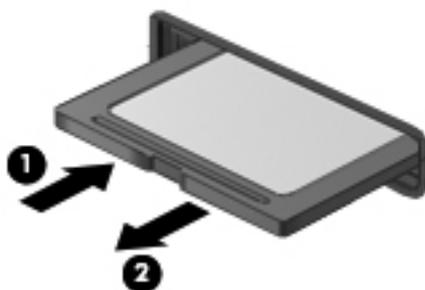
a. タスクバーの右端の通知領域にある[ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す]アイコンをクリックします。

☒ **注記：** タスクバーに[ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す]アイコンを表示するには、[隠れているインジケータを表示します]アイコン（通知領域の左側にある矢印）をクリックします。

b. 一覧からメディア カード名をクリックします。

☒ **注記：** ハードウェア デバイスを安全に取り外すことができるというメッセージが表示されず。

3. メディア カードを押して固定を解除し (1)、カードを引いてスロットから取り出します (2)。



9 メモリ モジュール

メモリ モジュールの追加または交換

コンピューターの裏面には、1つのメモリ モジュール コンパートメントが装備されています。コンピューターのメモリを増設するには、空いている拡張メモリ モジュール スロットにメモリ モジュールを追加するか、メイン メモリ モジュール スロットに装着されているメモリ モジュールを交換します。

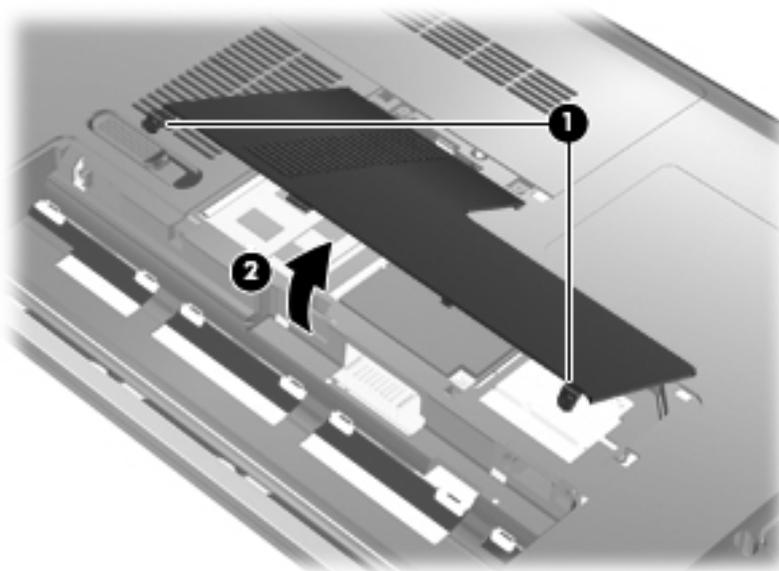
- △ **警告！** 感電や装置の損傷を防ぐため、電源コードとすべてのバッテリーを取り外してからメモリ モジュールを取り付けてください。
- △ **注意：** 静電気（ESD）によって電子部品が損傷することがあります。作業を始める前にアースされた金属面に触るなどして、身体にたまった静電気を放電してください。
- 📖 **注記：** 2つめのメモリ モジュールを追加してデュアル チャネル構成を使用する場合は、2つのメモリ モジュールを必ず同じ種類および同じ速度にしてください。

拡張メモリ モジュール スロットのメモリ モジュールの追加または交換

拡張メモリ モジュール スロットは、メイン メモリ モジュール スロットの上にあります。拡張メモリ モジュール スロットにメモリ モジュールを追加したり、メモリ モジュールを交換したりするには、以下の操作を行います。

1. 必要なデータを保存します。
2. コンピューターをシャットダウンし、ディスプレイを閉じます。
コンピューターの電源が切れているかハイバネーション状態なのかわからない場合は、まず電源ボタンを押してコンピューターの電源を入れます。次に、オペレーティング システムの通常の手順でシャットダウンします。
3. コンピューターに接続されているすべての外付けデバイスを取り外します。
4. 電源コンセントから電源コードを抜きます。
5. コンピューターを裏返して安定した平らな場所に置き、バッテリーを取り外します。
6. メモリ/無線モジュール コンパートメント カバーのネジ (1) を緩めます。

7. メモリ/無線モジュール コンパートメント カバーを持ち上げて (2) コンピューターから取り外します。



8. 以下の要領で、拡張メモリ スロットからメモリ モジュールを取り外します。

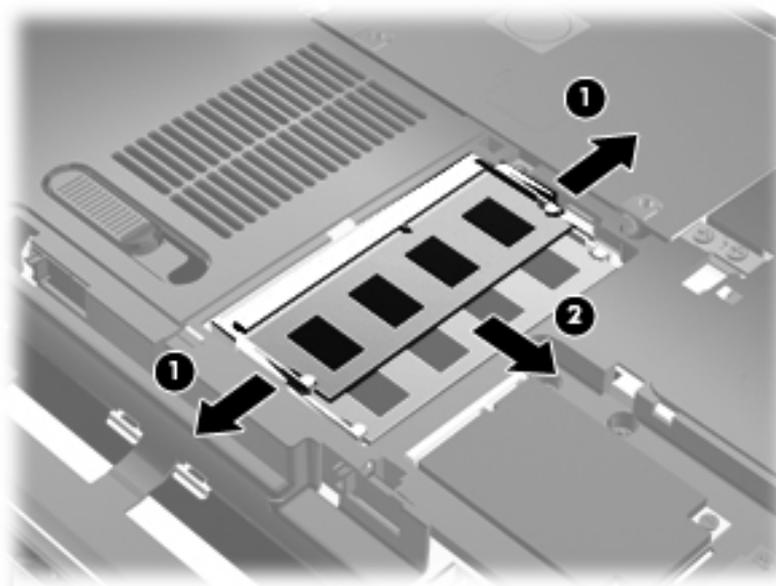
- a. メモリ モジュールの両側にある留め具を左右に引っ張ります (1)。

メモリ モジュールが少し上に出てきます。

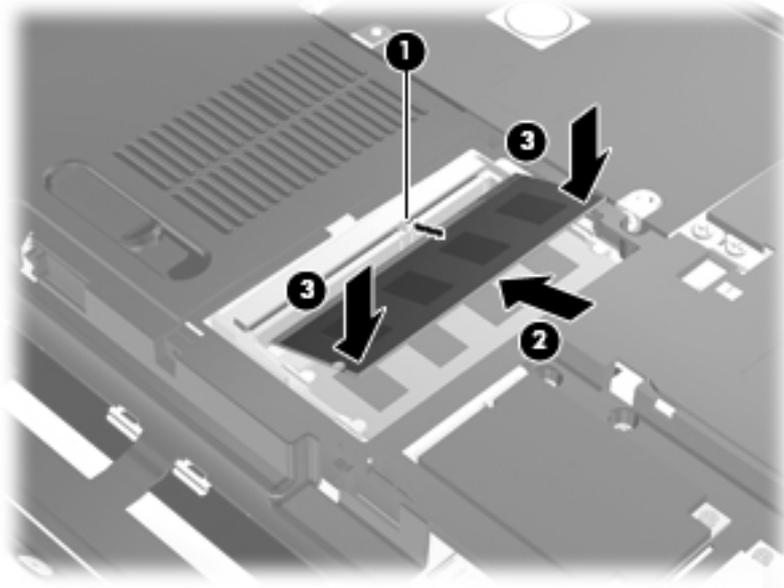
△ **注意：** メモリ モジュールの損傷を防ぐため、メモリ モジュールを扱うときは必ず左右の端を持ってください。メモリ モジュールの端子部分には触らないでください。

- b. メモリ モジュールの左右の端の部分を持って、そのままゆっくりと斜め上に引き抜いて (2) 取り外します。

取り外したメモリ モジュールは、静電気の影響を受けない容器に保管しておきます。

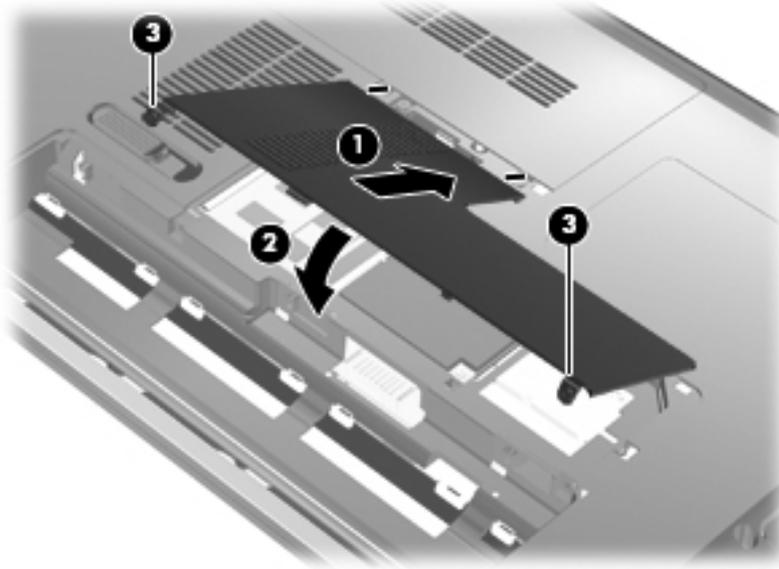


9. 以下の要領で、拡張メモリ スロットにメモリ モジュールを取り付けます。
- メモリ モジュールの切り込みとメモリ モジュール スロット (1) を合わせます。
- △ **注意：** メモリ モジュールの損傷を防ぐため、メモリ モジュールを扱うときは必ず左右の端を持ってください。メモリ モジュールの端子部分に触ったり、メモリ モジュールを折り曲げたりしないように注意してください。
- しっかりと固定されるまでメモリ モジュールを45°の角度でスロットに押し込み、所定の位置に収まるまでメモリ モジュールを押し下げます (2)。
 - カチッと音がして留め具がメモリ モジュールを固定するまで、メモリ モジュールの左右の端をゆっくりと押し下げます (3)。



- メモリ/無線モジュール コンパートメント カバーのタブを、コンピューターのかぼみに合わせます (1)。
- メモリ モジュール コンパートメント カバーを取り付けなおします (2)。

12. メモリ/無線モジュール コンパートメント カバーのネジ (3) を締めます。



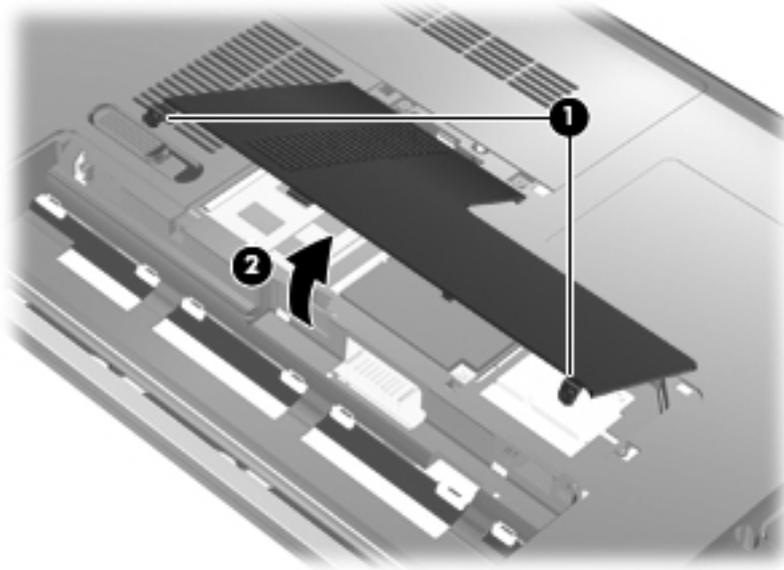
13. バッテリーを取り付けなおします。
14. コンピューターのカバーを上にして置き、外部電源および外付けデバイスを接続しなおします。
15. コンピューターの電源を入れます。

メイン メモリ モジュール スロットのメモリ モジュールのアップグレード

メイン メモリ モジュール スロットは、拡張メモリ モジュール スロットの下にあります。メイン メモリ モジュール スロットのメモリ モジュールをアップグレードするには、以下の操作を行います。

1. 必要なデータを保存します。
2. コンピューターをシャットダウンします。
コンピューターの電源が切れているかハイバネーション状態なのかわからない場合は、まず電源ボタンを押してコンピューターの電源を入れます。次に、オペレーティング システムの通常の手順でシャットダウンします。
3. コンピューターに接続されているすべての外付けデバイスを取り外します。
4. 電源コンセントから電源コードを抜きます。
5. コンピューターを裏返して安定した平らな場所に置き、バッテリーを取り外します。
6. メモリ/無線モジュール コンパートメント カバーのネジ (1) を緩めます。

7. メモリ/無線モジュール コンパートメント カバーを持ち上げて (2) コンピューターから取り外します。



注記： 拡張メモリ モジュール スロットにメモリ モジュールが取り付けられている場合は、まず、拡張メモリ モジュールを取り外します。

8. 以下の要領で、メイン メモリ スロットからメモリ モジュールを取り外します。

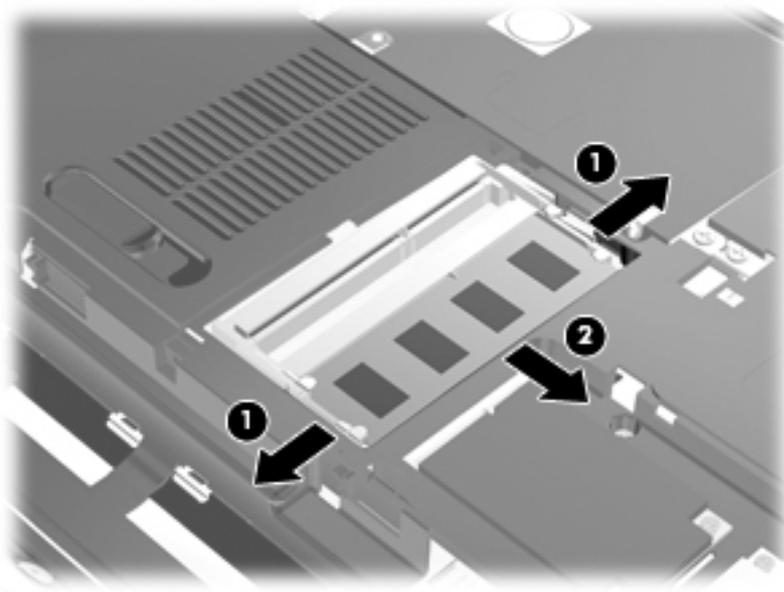
- a. メモリ モジュールの両側にある留め具を左右に引っ張ります (1)。

メモリ モジュールが少し上に出てきます。

注意： メモリ モジュールの損傷を防ぐため、メモリ モジュールを扱うときは必ず左右の端を持ってください。メモリ モジュールの端子部分には触らないでください。

- b. メモリ モジュールの左右の端の部分を持って、そのままゆっくりと斜め上に引き抜いて (2) 取り外します。

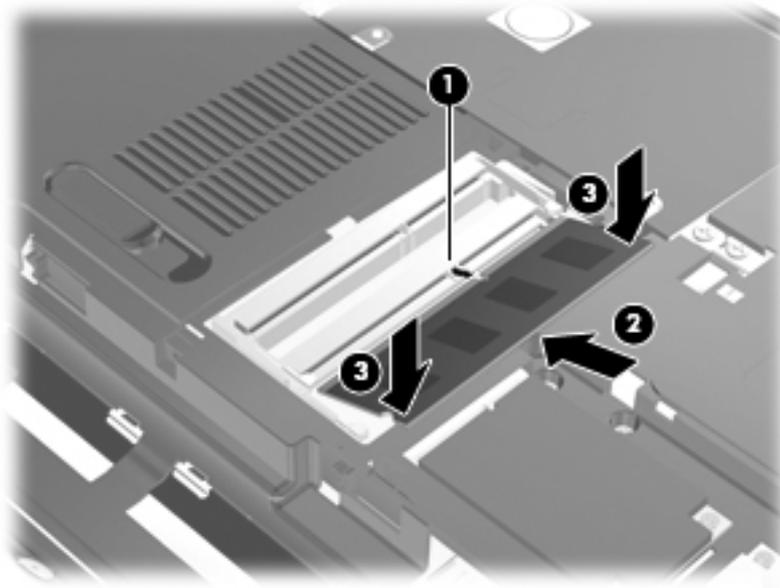
取り外したメモリ モジュールは、静電気の影響を受けない容器に保管しておきます。



9. 以下の要領で、メイン メモリ モジュール スロットにメモリ モジュールを取り付けます。
- a. メモリ モジュールの切り込みとメモリ モジュール スロット (1) を合わせます。

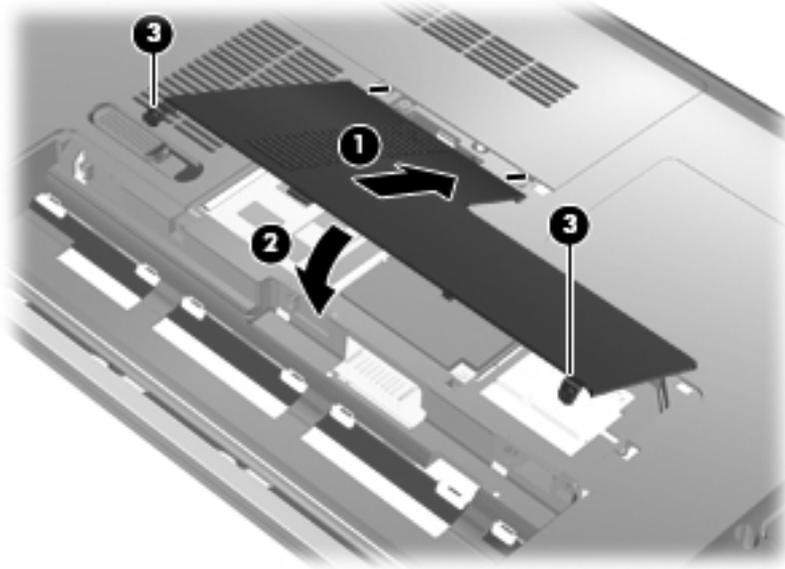
△ **注意：** メモリ モジュールの損傷を防ぐため、メモリ モジュールを扱うときは必ず左右の端を持ってください。メモリ モジュールの端子部分に触ったり、メモリ モジュールを折り曲げたりしないように注意してください。

 - b. しっかりと固定されるまでメモリ モジュールを45°の角度でスロットに押し込み、所定の位置に収まるまでメモリ モジュールを押し下げます (2)。
 - c. カチッと音がして留め具がメモリ モジュールを固定するまで、メモリ モジュールの左右の端をゆっくりと押し下げます (3)。



10. メモリ/無線モジュール コンパートメント カバーのタブを、コンピューターのかぼみに合わせます (1)。
-
- ☞ **注記：** メイン メモリ モジュールを取り外す前に拡張メモリ スロットからメモリ モジュールを取り外した場合は、拡張メモリ モジュール スロットにメモリ モジュールを取り付けなおします。
-
11. メモリ モジュール コンパートメント カバーを取り付けなおします (2)。

12. メモリ/無線モジュール コンパートメント カバーのネジ (3) を締めます。



13. バッテリを取り付けなおします。
14. コンピューターのカバーを上にして置き、外部電源および外付けデバイスを接続しなおします。
15. コンピューターの電源を入れます。

10 セキュリティ

コンピューターの保護

Windows オペレーティング システムおよび Windows 以外のセットアップ ユーティリティによって提供される標準のセキュリティ機能によって、個人設定およびデータをさまざまなリスクから保護できます。

以下の機能を使用するには、このガイドに記載されている手順に沿って操作します。

- パスワード
- ウィルス対策ソフトウェア
- ファイアウォール ソフトウェア
- 緊急セキュリティ アップデート
- 別売のセキュリティ ロック ケーブル
- 指紋認証システム

 **注記：** セキュリティ ソリューションは、抑止効果を発揮することを目的として設計されていますが、ソフトウェアによる攻撃、またはコンピューターの盗難や誤った取り扱いを完全に防ぐものではありません。

注記： コンピューターを修理などのためにサポートあてに送付する場合は、可能な限り事前にすべてのパスワードと指紋設定を削除してください。

コンピューターでの危険性	セキュリティ機能
コンピューターの不正な使用	電源投入時パスワード
コンピューター ウィルス	[Norton Internet Security]ソフトウェア
データへの不正なアクセス	<ul style="list-style-type: none">● ファイアウォール ソフトウェア● Windows Update
セットアップ ユーティリティ、BIOS 設定、およびその他のシステム識別情報への不正アクセス	管理者パスワード
コンピューターへの現在または将来の脅威	Microsoft からの緊急セキュリティ アップデート
Windows ユーザー アカウントへの不正なアクセス	ユーザー パスワード
コンピューターの不正な移動	セキュリティ ロック ケーブル用スロット（別売のセキュリティ ロック ケーブルとともに使用）

パスワードの使用

パスワードとは、お使いのコンピューターの情報を保護するために選択する文字列です。情報へのアクセスの制御方法に応じてさまざまな種類のパスワードを選択できます。パスワードは、Windows、およびコンピューターにプリインストールされている Windows には依存しないセットアップ ユーティリティで設定します。

- △ **注意：** コンピューターがロックされないように、設定したパスワードをすべて書き留めてください。ほとんどのパスワードは設定、変更、削除するときに表示されないため、パスワードをすぐ書き留め、他人の目にふれない安全な場所に保管する必要があります。

セットアップ ユーティリティの機能と Windows のセキュリティ機能には、同じパスワードを使用できます。また、複数のセットアップ ユーティリティ機能に同じパスワードを使用することもできます。

セットアップ ユーティリティでパスワードを設定する場合は、以下の点に注意してください。

- パスワードは、最長 8 文字まで英数字を組み合わせて指定できます。また、大文字と小文字は区別されます。
- セットアップ ユーティリティで設定するパスワードは、セットアップ ユーティリティのプロンプトで入力する必要があります。Windows に設定されるパスワードは、Windows プロンプトで入力する必要があります。

パスワードを作成したり保存したりするときは、以下のヒントを参考にしてください。

- パスワードを作成するときは、プログラムの要件に従う
- パスワードを書き留めておき、コンピューターから離れた他人の目にふれない安全な場所に保管する
- パスワードをコンピューター上のファイルに保存しない
- 部外者が簡単に知ることができる名前などの個人情報を使用しない

以下の項目では、Windows のパスワードおよびセットアップ ユーティリティのパスワードのそれぞれの機能について説明します。スクリーン セーバーのパスワードなど、Windows のパスワードについては、[スタート]→[ヘルプとサポート]の順に選択してください。

Windows でのパスワードの設定

パスワード	機能
管理者パスワード	管理者レベルのデータへのアクセスを保護します 注記： このパスワードは、セットアップ ユーティリティのデータへのアクセスには使用できません
ユーザー パスワード	Windows ユーザー アカウントへのアクセスを保護しますコンピューターのデータへのアクセスも保護します。スリープまたはハイバネーションを終了するときに入力する必要があります
QuickLock	コンピューターにアクセスする前に Windows の[ログオン]ダイアログ ボックスにパスワードを入力するように要求することにより、コンピューターを保護します。ユーザーまたは管理者パスワードを設定した後は、以下の操作を行います <ul style="list-style-type: none">● Windows ロゴ + L キーを押して[QuickLock]を起動します● Windows のユーザー パスワードまたは管理者パスワードを入力して[QuickLock]を終了します

セットアップ ユーティリティでのパスワードの設定

パスワード	機能
管理者パスワード*	<ul style="list-style-type: none">• セットアップ ユーティリティへのアクセスを保護します• パスワードの設定後は、セットアップ ユーティリティにアクセスするたびにこのパスワードを入力する必要があります <p>注意： 管理者パスワードを忘れた場合は、セットアップ ユーティリティにアクセスできません</p>
電源投入時パスワード*	<ul style="list-style-type: none">• コンピューターのデータへのアクセスを保護します• パスワード設定後は、コンピューターの電源投入時、再起動時、またはハイバネーションの終了時には必ずこのパスワードを入力する必要があります <p>注意： 電源投入時パスワードを忘れると、コンピューターの電源を入れることも、再起動も、ハイバネーションの終了もできなくなります</p> <p>注記： 管理者パスワードは、電源投入時パスワードの代わりに使用できます</p>

*各パスワードについて詳しくは、以下の項目を参照してください

管理者パスワード

管理者パスワードは、セットアップ ユーティリティ内の設定値とシステム識別情報を保護します。パスワードの設定後は、セットアップ ユーティリティにアクセスするたびにこのパスワードを入力する必要があります。

管理者パスワードは、Windows で設定した管理者パスワードで置き換えができません。設定、入力、変更、または削除時に表示されません。必ずパスワードを書き留め、安全な場所に保管してください。

[Press the ESC key for Startup]というメッセージが表示される前の最初のパスワード確認のときに管理者パスワードを入力した場合は、セットアップ ユーティリティにアクセスするときに管理者パスワードを再入力する必要はありません。

[Press the ESC key for Startup]というメッセージが表示される前の最初のパスワード確認のときに電源投入時パスワードを入力した場合は、セットアップ ユーティリティにアクセスするときに管理者パスワードを入力する必要があります。

セットアップ ユーティリティの管理者パスワードの管理

パスワードを設定、変更、および削除するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターの電源をオンにするか再起動してセットアップ ユーティリティを開きます。画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に、**f10** キーを押します。

または

コンピューターの電源をオンにするか再起動してセットアップ ユーティリティを開きます。画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に、**esc** キーを押します。[Startup Menu] (スタートアップ メニュー) が表示されたら **f10** キーを押します。

2. 矢印キーを使用して **[Security]** (セキュリティ) → **[Set Administrator Password]** (管理者パスワードの設定) の順に選択し、**enter** キーを押します。
 - 管理者パスワードを設定するには、**[Enter New Password]** (新しいパスワードの入力) および **[Confirm New Password]** (新しいパスワードの確認) フィールドにパスワードを入力し、**enter** キーを押します。
 - 管理者パスワードを変更するには、**[Enter Current Password]** (現在のパスワードの入力) フィールドに現在のパスワードを入力し、**[Enter New Password]** および **[Confirm New Password]** フィールドに新しいパスワードを入力し、**enter** キーを押します。
 - 管理者パスワードを削除するには、**[Enter Password]** (パスワードの入力) フィールドに現在のパスワードを入力し、**enter** キーを4回押します。
3. 変更を保存してセットアップ ユーティリティを終了するには、矢印キーを使用して **[Exit]** (終了) → **[Exit Saving Changes]** (変更を保存して終了) の順に選択します。

変更した内容は、次回コンピューターを起動したときに有効になります。

管理者パスワードの入力

[Enter Password] (パスワードの入力) 画面が表示されたら、管理者パスワードを入力して **enter** キーを押します。3回続けて間違えて入力した場合は、コンピューターを再起動し、入力しなおしてください。

電源投入時パスワード

電源投入時パスワードは、コンピューターが不正に使用されることを防ぎます。パスワード設定後は、コンピューターの電源投入時、再起動時、またはハイパネーションの終了時には必ずこのパスワードを入力する必要があります。電源投入時パスワードは、設定、入力、変更、または削除する場合に表示されません。

電源投入時パスワードの管理

パスワードを設定、変更、および削除するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターの電源をオンにするか再起動してセットアップ ユーティリティを開きます。画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に、**f10** キーを押します。

または

コンピューターの電源をオンにするか再起動してセットアップ ユーティリティを開きます。画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に、**esc** キーを押します。[Startup Menu] (スタートアップ メニュー) が表示されたら **f10** キーを押します。

2. 矢印キーを使用して[**Security**] (セキュリティ) →[**Set Power-On Password**] (電源投入時パスワードの設定) の順に選択し、**enter** キーを押します。
 - 電源投入時パスワードを設定するには、[**Enter New Password**] (新しいパスワードの入力) および[**Confirm New Password**] (新しいパスワードの確認) フィールドにパスワードを入力し、**enter** キーを押します。
 - 電源投入時パスワードを変更するには[**Enter Current Password**] (現在のパスワードの入力) フィールドに現在のパスワードを入力し、[**Enter New Password**] および[**Confirm New Password**] フィールドに新しいパスワードを入力し、**enter** キーを押します。
 - 電源投入時パスワードを削除するには、[**Enter Current Password**] フィールドに現在のパスワードを入力し、**enter** キーを4回押します。
3. 変更を保存してセットアップ ユーティリティを終了するには、矢印キーを使用して[**Exit**] (終了) →[**Exit Saving Changes**] (変更を保存して終了) の順に選択します。

変更した内容は、次回コンピューターを起動したときに有効になります。

電源投入時パスワードの入力

[**Enter Password**] (パスワードの入力) 画面が表示されたらパスワードを入力して **enter** キーを押します。3回続けて間違えて入力した場合は、コンピューターを再起動し、入力しなおしてください。

ウィルス対策ソフトウェアの使用

コンピューターで電子メールを使用するとき、またはネットワークやインターネットにアクセスするときは、コンピューターがコンピューター ウィルスの危険にさらされます。コンピューター ウィルスに感染すると、オペレーティング システム、プログラム、およびユーティリティなどが使用できなくなったり、正常に動作しなくなったりすることがあります。

ウィルス対策ソフトウェアを使用すれば、ほとんどのウィルスが検出、駆除されるとともに、通常、ウィルスの被害にあった箇所を修復することも可能です。新しく発見されたウィルスからコンピューターを保護するには、ウィルス対策ソフトウェアを最新の状態にしておく必要があります。

お使いのコンピューターには、ウィルス対策プログラムの[Norton Internet Security]があらかじめインストールされています。ソフトウェアには60日間の無料更新サービスが含まれています。延長更新サービスを購入し、60日以後も新しいウィルスからコンピューターを保護することを強くおすすめします。[Norton Internet Security]ソフトウェアの使用と更新、および延長更新サービスの購入の手順は、プログラム内から参照できます。[Norton Internet Security]を表示しアクセスするには、[スタート]→[すべてのプログラム]→[**Norton Internet Security**]の順に選択します。

コンピューター ウィルスについてさらに詳しく調べるには、[ヘルプとサポート]の[検索]テキストフィールドに「ウィルス」と入力してください。

ファイアウォール ソフトウェアの使用

コンピューターで電子メールやネットワークを使用したリインターネットにアクセスしたりする場合、第三者がコンピューターや個人用ファイルにアクセスしたり、使用者に関する情報を不正に取得してしまう可能性があります。プライバシーを保護するため、コンピューターにプリインストールされているファイアウォール ソフトウェアを使用してください。

ネットワーク処理のログおよびレポート情報や、自動アラームなどのファイアウォール機能を使用して、コンピューターでの送受信の流れを監視します。詳しくは、ファイアウォールの説明書を参照するか、ファイアウォールの製造元に問い合わせてください。

-  **注記：** 特定の状況下では、ファイアウォールがインターネット ゲームへのアクセスをブロックしたり、ネットワーク上のプリンターやファイルの共有に干渉したり、許可されている電子メールの添付ファイルをブロックしたりすることがあります。問題を一時的に解決するには、ファイアウォールを無効にして目的のタスクを実行した後で、ファイアウォールを再度有効にします。問題を恒久的に解決するには、ファイアウォールを再設定します。

緊急セキュリティ アップデートのインストール

- △ **注意：** Microsoft 社は、緊急アップデートに関する通知を配信しています。お使いのコンピューターをセキュリティの侵害やコンピューター ウィルスから保護するため、通知があった場合はすぐに Microsoft 社からのすべてのオンライン緊急アップデートをインストールしてください。

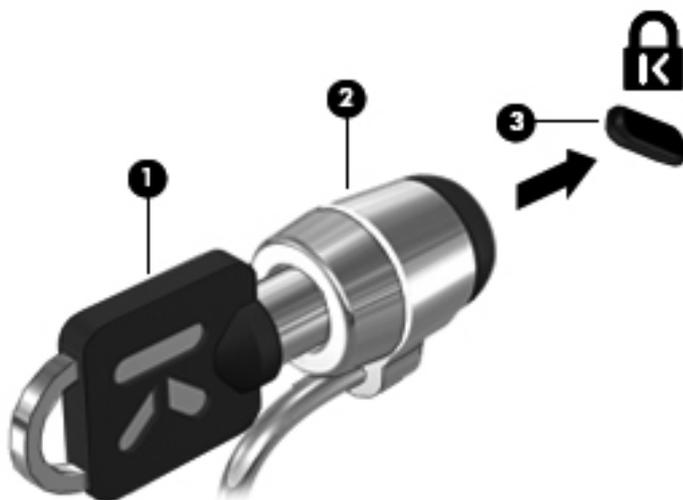
オペレーティング システムやその他のソフトウェアに対するアップデートが、コンピューターの工場出荷後にリリースされている可能性があります。すべての使用可能なアップデートが確実にコンピューターにインストールされているようにするには、以下の操作を行います。

- コンピューターのセットアップが完了したら、できる限りすぐに[Windows Update]を実行します。[スタート]→[すべてのプログラム]→[Windows Update]の順に選択すると表示されるアップデート リンクを使用します。
- [Windows Update]は毎月実行してください。
- Windows およびその他の Microsoft のプログラムのアップデートがリリースされるたびに、Microsoft 社の Web サイトおよび[ヘルプとサポート]のアップデート リンクから入手します。

別売のセキュリティ ロック ケーブルの接続

-  **注記：** セキュリティ ロック ケーブルに抑止効果はありますが、コンピューターの誤った取り扱いや盗難を完全に防ぐものではありません。

1. 固定された物体にセキュリティ ロック ケーブルを巻きつけます。
2. 鍵 (1) をケーブル ロック (2) に差し込みます。
3. セキュリティ ロック ケーブルをコンピューターのセキュリティ ロック ケーブル用スロット (3) に差し込み、鍵をかけます。



指紋認証システムの使用



指紋認証システムの位置

指紋認証システムは小さい金属製センサーで、コンピューターの以下のどれかの場所にあります。

- タッチパッドの下部付近
- キーボードの右側
- ディスプレイの右上
- ディスプレイの左側

コンピューターのモデルによって、指紋認証システムは横向きの場合も縦向きの場合もあります。どちらの向きでも、金属製センサーと垂直に指を滑らせる必要があります。



指紋の登録

指紋認証システムでは、Windows のパスワードの代わりに[DigitalPersona Personal]ソフトウェアで登録しておいた指紋を使用して、Windows にログオンできます。

1 つ以上の指紋を登録するには、以下の操作を行います。

1. Windows で、タスクバーの右端の通知領域にある **[DigitalPersona Personal]** アイコンをクリックします。
2. 起動時のテキストが表示されたら確認し、**[Next]**（次へ）をクリックします。
[Verify Your Identity]（ユーザー情報の認証）ページが開きます。
3. Windows のパスワード（設定されている場合）を入力してから、**[Next]**をクリックします。

 **注記：** Windows パスワードを設定していない場合、[Protect Your Windows Account]（Windows アカountの保護）ページが開きます。ここで Windows パスワードを作成することも、**[Next]**をクリックしてこの手順をスキップすることもできます。ただし、Windows のパスワードを設定しておくことで、お使いのコンピューターのセキュリティ機能を最大限に活用することが可能になります。

[Fingerprint Registration Training]（指紋の登録の練習）ページが開きます。

4. デモ画面が表示されたら、**[Next]**をクリックします。
[Register a Fingerprint]（指紋の登録）ページが開きます。
5. 登録する指に対応する画面上の指をクリックします。
次のページが表示されて、クリックした指の輪郭が緑色になります。
6. 選択した指を指紋センサーに押し当てて、ゆっくりと滑らせます。

 **注記：** 押し当てが正しく完了しないと、押し当てが成功しなかった理由を説明するメッセージが表示されます。

注記： 良好な結果を得るため、指紋認証システムを使用するたびに同じ指を同じ方向に滑らせてください。

7. 押し当てに 4 回成功するまで、同じ指の押し当てを繰り返します。

指紋が正しく登録されると、[Register a Fingerprint]ページが再度開き、さらに指紋を登録できるようになります。指紋を追加で登録するには、手順 5～手順 7 の操作を繰り返します。

8. 指紋の登録を終了する場合は、**[Next]**をクリックします。

1 本の指の指紋のみを登録している場合は、指紋の追加登録を推奨するメッセージが表示されます。さらに指紋を登録する場合は、**[Yes]**（はい）をクリックし、手順 1 から 8 を登録する指紋ごとに繰り返します。

または

指紋を登録しない場合は、**[No]**（いいえ）をクリックします。[Registration Complete]（指紋の登録完了）ページが開きます。

9. **[Finish]**（完了）をクリックします。

 **注記：** 個々のユーザーが指紋認証を使用してコンピューターにアクセスする場合は、ユーザーごとに手順 1～9 の操作を繰り返す必要があります。

登録された指紋を使用した Windows へのログオン

登録した指紋を使用して Windows にログオンするには、以下の操作を行います。

1. 指紋を登録したらすぐに Windows を再起動します。
2. 登録した指のどれかを使用して Windows にログオンします。

11 HP QuickWeb

[HP QuickWeb]は、プログラムを必要に応じてすぐに実行できる、Windows オペレーティング システムから独立した環境を提供します。[HP QuickWeb]を使用すると、Windows を起動しなくても、Web ブラウザー、その他のコミュニケーション プログラムやマルチメディア プログラムにすばやくアクセスできます。[HP QuickWeb]は、電源ボタンを数秒間押すと使用可能な状態になります。[HP QuickWeb]について詳しくは、『基本操作ガイド』を参照してください。

[HP QuickWeb]の有効化および無効化

Windows オペレーティング システム内で[HP QuickWeb]を無効または再び有効にするには、以下の操作を行います。

1. [スタート]→[すべてのプログラム]→[HP QuickWeb]の順に選択します。[HP QuickWeb Installer]フォルダーが表示されます。[HP QuickWeb Configuration Tool] (HP QuickWeb 構成ツール) をクリックします。
2. [Enable QuickWeb] ([HP QuickWeb]を有効にする) チェック ボックスにチェックを入れます。
3. [OK]をクリックします。

 **注記：** [ネットワークと共有センター]にアクセスするには、[スタート]→[コントロール パネル]→[ネットワークと共有センター]の順に選択します。[大きいアイコン]または[小さいアイコン]を選択して、[HP QuickWeb Configuration Tool]を探します。

12 セットアップ ユーティリティ

セットアップ ユーティリティの開始

セットアップ ユーティリティはROM ベースのユーティリティで、情報の表示とシステムのカスタマイズを行います。Windows オペレーティング システムが動作しない場合にも使用できます。

 **注記：** 指紋認証システムは、セットアップ ユーティリティへのアクセスには使用できません。

ユーティリティはコンピューターに関する情報をレポートし、起動、セキュリティ、および他のオプションを設定します。

セットアップ ユーティリティを開始するには、以下の操作を行います。

- ▲ コンピューターの電源をオンにするか再起動してセットアップ ユーティリティを開きます。画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に、**f10** キーを押します。

または

1. コンピューターの電源をオンにするか再起動してセットアップ ユーティリティを開きます。画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に、**esc** キーを押します。
2. [Startup Menu] (スタートアップ メニュー) が表示されたら **f10** キーを押します。

セットアップ ユーティリティの使用

セットアップ ユーティリティの言語の変更

以下の手順では、セットアップ ユーティリティの言語を変更する方法を説明します。セットアップ ユーティリティが実行されていない場合は、手順 1 から始めます。セットアップ ユーティリティが実行されている場合は、手順 2 から始めます。

1. コンピューターの電源をオンにするか再起動してセットアップ ユーティリティを開きます。画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に、**f10** キーを押します。

または

コンピューターの電源をオンにするか再起動してセットアップ ユーティリティを開きます。画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に、**esc** キーを押します。[Startup Menu] (スタートアップ メニュー) が表示されたら **f10** キーを押します。

2. 矢印キーを使用して **[System Configuration]** (システム コンフィギュレーション) → **[Language]** (言語) の順に選択し、**enter** キーを押します。
3. 矢印キーを使用して言語を選択し、**enter** キーを押します。
4. 選択した言語を確認するメッセージが表示されたら、**enter** キーを押します。
5. 変更を保存してセットアップ ユーティリティを終了するには、矢印キーを使用して **[Exit]** (終了) → **[Exit Saving Changes]** (変更を保存して終了) の順に選択し、**enter** キーを押します。

変更はすぐに有効になります。

セットアップ ユーティリティでの移動および選択

セットアップ ユーティリティは Windows ベースではないため、タッチパッドに対応していません。移動および選択は、キーを押して行います。

- メニューまたはメニュー項目を選択するには、矢印キーを使用します。
- 一覧から項目を選択したり、有効/無効などのフィールドを切り替えたりするには、矢印キーを使用するか、**f5** キーまたは **f6** キーを使用します。
- 項目を選択するには、**enter** キーを押します。
- テキスト ボックスを閉じるか、またはメニュー表示に戻るには、**esc** キーを押します。
- セットアップ ユーティリティの起動中にその他の操作や選択項目の情報を表示するには、**f1** キーを押します。

システム情報の表示

以下の手順では、セットアップ ユーティリティでシステム情報を表示する方法を説明します。セットアップ ユーティリティが実行されていない場合は、手順 1 から始めます。セットアップ ユーティリティが実行されている場合は、手順 2 から始めます。

1. コンピューターの電源をオンにするか再起動してセットアップ ユーティリティを開きます。画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に、**f10** キーを押します。

または

コンピューターの電源をオンにするか再起動してセットアップ ユーティリティを開きます。画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に、**esc** キーを押します。[Startup Menu] (スタートアップ メニュー) が表示されたら **f10** キーを押します。

2. **[Main]** (メイン) メニューを選択します。システム時刻および日付などのシステム情報およびコンピューターの識別情報が表示されます。
3. 設定を変更しないでセットアップ ユーティリティを終了するには、矢印キーを使用して、**[Exit]** (終了) → **[Exit Discarding Changes]** (変更を保存しないで終了) の順に選択し、**enter** キーを押します。

セットアップ ユーティリティでの初期設定の復元

以下の手順では、セットアップ ユーティリティの初期設定を復元する方法を説明します。セットアップ ユーティリティが実行されていない場合は、手順 1 から始めます。セットアップ ユーティリティが実行されている場合は、手順 2 から始めます。

1. コンピューターの電源をオンにするか再起動してセットアップ ユーティリティを開きます。画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に、**f10** キーを押します。

または

コンピューターの電源をオンにするか再起動してセットアップ ユーティリティを開きます。画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に、**esc** キーを押します。[Startup Menu] (スタートアップ メニュー) が表示されたら **f10** キーを押します。

2. 矢印キーを使用して **[Exit]** (終了) → **[Load Setup Defaults]** (初期設定値をロードする) の順に選択し、**enter** キーを押します。
3. セットアップの確認が表示されたら、**enter** キーを押します。
4. 変更を保存してセットアップ ユーティリティを終了するには、矢印キーを使用して **[Exit]** → **[Exit Saving Changes]** (変更を保存して終了) の順に選択し、**enter** キーを押します。

セットアップ ユーティリティの初期設定値は、コンピューターを再起動したときに有効になります。

 **注記：** 出荷時設定に戻しても、パスワード、セキュリティ、および言語の設定は変更されません。

セットアップ ユーティリティの終了

変更を保存または保存しないでセットアップ ユーティリティを終了できます。

- 現在のセッションからの変更内容を保存して、セットアップ ユーティリティを終了するには、以下の操作を行います。

セットアップ ユーティリティのメニューが表示されていない場合は、**esc** キーを押して、メニュー画面に戻ります。矢印キーを使用して、**[Exit]** (終了) → **[Exit Saving Changes]** (変更を保存して終了) の順に選択し、**enter** キーを押します。

- 現在のセッションからの変更内容を保存しないで、セットアップ ユーティリティを終了するには、以下の操作を行います。

セットアップ ユーティリティのメニューが表示されていない場合は、**esc** キーを押して、メニュー画面に戻ります。矢印キーを使用して、**[Exit]** → **[Exit Discarding Changes]** (変更を保存しないで終了) の順に選択し、**enter** キーを押します。

どちらかを選択すると、コンピューターが再起動され Windows が起動します。

セットアップ ユーティリティのメニュー

このセクションのメニューの表に、セットアップ ユーティリティのオプションの概要を示します。

 **注記：** この章に記載されているセットアップ ユーティリティの一部のメニュー項目は、お使いのコンピューターでは使用できない場合があります。

[Main] (メイン) メニュー

選択	設定内容
System information (システム情報)	<ul style="list-style-type: none">システム時刻および日付を表示したり変更したりしますコンピューターの識別情報を表示しますプロセッサ、メモリ サイズ、システム BIOS、およびキーボードコントローラーのバージョン (一部のモデルのみ) の仕様情報を表示します

[Security] (セキュリティ) メニュー

選択	設定内容
Administrator password (管理者パスワード)	管理者パスワードを入力、変更、または削除します
Power-On Password (電源投入時パスワード)	電源投入時パスワードを入力、変更、または削除します

[System Configuration] (システム コンフィギュレーション) メニュー

選択	設定内容
Language Support (対応言語)	セットアップ ユーティリティの言語を変更します
Button Sound (ボタン音) (一部のモデルのみ)	容量性ボタンのタップ音をオンまたはオフにします
Virtualization Technology (仮想化テクノロジー) (一部のモデルのみ)	仮想化テクノロジーを有効/無効にします
Processor C6 State (プロセッサ C6 ステート) (一部のモデルのみ)	プロセッサ C6 のスリープ状態を有効/無効にします
LAN Power Saving (LAN 省電力) (一部モデルのみ)	LAN 省電力を有効または無効にします。有効の場合、コンピューターのバッテリー動作時に省電力動作を行います
Card Reader/1394 Power Saving (カード リーダー/1394 省電力) (一部モデルのみ)	カード リーダー/1394 の省電力モードを有効/無効にします

選択	設定内容
Fan Always On (ファンを常にオン)	ファンを常にオンにしておくかどうかを切り替えます。有効の場合、コンピュータのファンが常にオンになります
Boot Options (ブート オプション)	<p>以下のブート オプションを設定します</p> <ul style="list-style-type: none"> ● f10 and f12 Delay (seconds) (f10 および f12 の遅延 (秒)) : セットアップ ユーティリティの f10 および f12 機能の遅延 (キー入力を待つ時間) を、5 秒間隔 (0、5、10、15、20) で設定します ● CD-ROM boot (CD-ROM ブート) : CD-ROM からのブートを有効/無効にします ● Floppy boot (フロッピーディスク ドライブからのブート) : フロッピーディスクからのブートを有効/無効にします ● Internal Network Adapter boot (内蔵ネットワーク アダプターブート) : 内蔵ネットワーク アダプターからのブートを有効/無効にします ● Boot Order (ブート順序) : 以下のブート順序を設定します <ul style="list-style-type: none"> ○ ハードドライブ ○ 内蔵 CD/DVD ROM ドライブ ○ USB メモリ上のドライブ/USB ハードドライブ ○ USB CD/DVD ROM ドライブ ○ USB フロッピー ○ ネットワーク アダプター

[Diagnostics] (診断) メニュー

選択	設定内容
Hard Drive Self-Test (ハードドライブの自己診断)	<p>ハードドライブの総合的な自己診断を実行します</p> <p>注記: 2つのハードドライブがあるモデルの場合、このメニュー オプションは [Primary Hard Disk Self Test] (プライマリ ハードドライブの自己診断) と呼ばれます</p>
Secondary Hard Disk Self Test (セカンダリハードドライブの自己診断) (一部のモデルのみ)	セカンダリ ハードドライブの総合的な自己診断を実行します
Memory Test (メモリ テスト)	システム メモリの診断テストを実行します

13 ソフトウェアの更新

HP の Web サイトから、コンピューターに付属するソフトウェアの更新版を入手できます。

HP の Web サイトには、多くのソフトウェアおよび BIOS アップデートが **SoftPaq** という圧縮ファイル形式で提供されています。

一部のダウンロード パッケージには、そのパッケージのインストールやトラブルの解決方法に関する情報が記載された Readme.txt ファイルが含まれます。

ソフトウェアを更新するには、このガイドで説明する作業を以下の順序で行います。

1. お使いのモデルのコンピューター、製品のカテゴリ、およびシリーズまたはファミリーを確認します。コンピューターに現在インストールされている BIOS のバージョンを確認して、システム BIOS アップデートを準備します。

コンピューターがネットワークに接続されている場合は、ソフトウェア アップデート（特にシステム BIOS アップデート）のインストールは、ネットワーク管理者に確認してから実行してください。

 **注記：** コンピューター システムの BIOS は、システム ROM に格納されます。BIOS は、オペレーティング システムを初期化し、コンピューターとハードウェア デバイスとの通信方法を決定し、ハードウェア デバイス間で日付と時刻などのデータを転送します。

注記： Windows には、コンピューターのセキュリティを高めるためのユーザー アカウント制御機能が含まれています。ソフトウェアのインストール、ユーティリティの実行、Windows の設定変更などを行うときに、ユーザーのアクセス権やパスワードの入力を求められる場合があります。詳しくは、[ヘルプとサポート]を参照してください。

2. HP の Web サイト (<http://www.hp.com/jp/>) の[ドライバー&ソフトウェア ダウンロード]から、お使いの製品の情報にアクセスします。
3. アップデートをインストールします。

BIOS の更新

BIOS を更新するには、まず現在使用している BIOS のバージョンを確認してから、新しい BIOS をダウンロードしてインストールします。

BIOS のバージョンの確認

利用可能な BIOS アップデートの中に、現在コンピューターにインストールされている BIOS よりも新しいバージョンの BIOS があるかどうかを調べるには、現在インストールされているシステム BIOS のバージョンを確認する必要があります。

BIOS バージョン情報（ROM の日付またはシステム BIOS と呼ばれます）を表示するには、**fn + esc** キーを押す（Windows を起動している場合）か、セットアップ ユーティリティを使用します。

セットアップ ユーティリティを使用して BIOS の情報を表示するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターの電源をオンにするか再起動してセットアップ ユーティリティを開きます。画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に、**f10** キーを押します。
2. セットアップ ユーティリティの起動時にシステム情報が表示されない場合は、矢印キーを使用して[Main]（メイン）メニューを選択します。
[Main]メニューを選択すると、BIOS およびその他のシステムの情報が表示されます。
3. セットアップ ユーティリティを終了するには、矢印キーを使用して[Exit]（終了）→[Exit Discarding Changes]（変更を取り消して終了）の順に選択し、**enter** キーを押します。

BIOS アップデートのダウンロード

- △ **注意：** コンピューターの損傷やインストールの失敗を防ぐため、BIOS アップデートのダウンロードおよびインストールを実行するときは必ず、AC アダプターを使用した信頼性の高い外部電源にコンピューターを接続してください。コンピューターがバッテリー電源で動作しているとき、別売のドッキング デバイスに接続されているとき、または別売の電源に接続されているときは、BIOS アップデートをダウンロードまたはインストールしないでください。ダウンロードおよびインストール時は、以下の点に注意してください。

電源コンセントからコンピューターの電源コードを抜いて外部からの電源供給を遮断することはおやめください。

コンピューターをシャットダウンしたり、スリープやハイバネーションを開始したりしないでください。

コンピューター、ケーブル、またはコードの挿入、取り外し、接続、または切断を行わないでください。

BIOS アップデートをダウンロードするには、以下の操作を行います。

1. お使いのコンピューター用のソフトウェアを提供している HP の Web サイトのページを表示します。
[スタート]→[ヘルプとサポート]の順に選択し、ソフトウェア、ドライバー、および BIOS の更新へのリンクをクリックします。
2. 画面の説明に沿ってお使いのコンピューターを指定し、ダウンロードする BIOS アップデートにアクセスします。
3. ダウンロード エリアで、以下の操作を行います。
 - a. お使いのコンピューターに現在インストールされている BIOS のバージョンよりも新しい BIOS を確認します。日付や名前、またはその他の、ファイルを識別するための情報をメモしておきます。後で、ハードドライブにダウンロードしたアップデートを探すときにこの情報が必要になる場合があります。
 - b. 画面の説明に沿って操作し、選択したバージョンをハードドライブにダウンロードします。
BIOS アップデートをダウンロードする場所へのパスをメモします。このパスは、アップデートをインストールするときが必要です。

- ☞ **注記：** コンピューターをネットワークに接続している場合は、ソフトウェア アップデート（特にシステム BIOS アップデート）のインストールは、ネットワーク管理者に確認してから実行してください。

ダウンロードした BIOS によってインストール手順が異なります。ダウンロードが完了した後、画面に表示される説明に沿って操作します。説明が表示されない場合は、以下の操作を行います。

1. [スタート]→[コンピューター]の順に選択して、Windows の[エクスプローラー]を起動します。
2. ハードドライブをダブルクリックします。通常は、[ローカル ディスク (C:)]を指定します。
3. BIOS ソフトウェアをダウンロードしたときのメモを参照するなどして、ハードドライブ上のアップデート ファイルが保存されているフォルダーを開きます。
4. 拡張子が.exe であるファイル (filename.exe など) をダブルクリックします。
BIOS のインストールが開始されます。
5. 画面の説明に沿って操作し、インストールを完了します。
BIOS が正しく更新されたら、コンピューターは自動的にシャットダウンします。

 **注記：** インストールが成功したことを示すメッセージが画面に表示されたら、ダウンロードしたファイルをハードドライブから削除できます。

プログラムおよびドライバーの更新

BIOS アップデート以外のソフトウェアをダウンロードしてインストールするには、以下の操作を行います。

HP の Web サイトを使用するには、以下の操作を行います。

1. Web ブラウザーを開き、<http://www.hp.com/support/>を表示して、国または地域を選択します。
2. [ドライバー & ソフトウェア ダウンロード]オプションをクリックし、お使いのコンピューターの製品名または製品番号を[製品名/製品番号で検索]フィールドに入力して、**enter** キーを押します。
3. 一覧に表示されたモデルから特定の製品をクリックします。
4. お使いのオペレーティング システムを選択します。
5. ドライバーの一覧が表示されたら、更新されたドライバーをクリックして追加の情報を含むウィンドウを開きます。
6. 更新されたドライバーをインストールするには、[ダウンロードを開始する]をクリックします。

 **注記：** ファイルによっては、ハードドライブなどにダウンロードしておき、後からインストールすることができるものもあります。そのためには、[Download only] (ダウンロードのみ) をクリックして、コンピューターにファイルを保存します。メッセージが表示されたら、[保存] をクリックして、ハードドライブ上のファイルを保存する場所を選択します。ファイルをダウンロードしたらファイルを保存したフォルダーに移動し、ファイルをダブルクリックしてインストールします。

7. インストールが完了した後に、コンピューターの再起動を求めるメッセージが表示された場合はコンピューターを再起動して、デバイスの動作を確認します。

14 バックアップおよび復元

障害が発生した後にシステムの復元を実行すると、最後にバックアップを行ったときの状態が復元されます。システムを導入後、最初のソフトウェアのセットアップが終了したら、すぐにリカバリ ディスクを作成することをおすすめします。その後も、新しいソフトウェアやデータ ファイルの追加に応じて定期的にシステムをバックアップし、適切な新しいバックアップを作成しておくようにしてください。

オペレーティング システムに組み込まれているツールおよび[HP Recovery Manager] (HP リカバリ マネージャー) ソフトウェアは、システムに障害が発生した場合に以下のタスクによって情報を保護および復元できるように設計されています。

- リカバリ ディスクを作成します ([HP Recovery Manager]ソフトウェアの機能)。システムに障害が発生した場合または動作が不安定になった場合に、リカバリ ディスクを使用して、お使いのコンピューターを起動 (ブート) し、オペレーティング システムとソフトウェアを修復できます。
- 重要なシステムファイルを保護するために定期的に情報をバックアップします。
- システムの復元ポイントを作成します (オペレーティング システムの機能)。システムの復元ポイントを使用すると、以前の状態までコンピューターを復元することで、コンピューターへの望ましくない変更を元に戻すことができます。
- プログラムまたはドライバーを復元します ([HP Recovery Manager]ソフトウェアの機能)。この機能は、システム全体の復元を実行しないでプログラムまたはドライバーを再インストールするために役立ちます。
- システム全体を復元します ([HP Recovery Manager]ソフトウェアの機能)。[HP Recovery Manager]を使用すると、システムに障害が発生した場合や動作が不安定になった場合、オペレーティング システムとソフトウェアを修復できます。[HP Recovery Manager]は、ハードドライブ上の専用の復元用パーティション (一部のモデルのみ) またはユーザーが作成したリカバリ ディスクから実行できます。

 **注記：** SSD (Solid State Drive) が搭載されているコンピューターには、復元用パーティションがない可能性があります。復元用パーティションがないコンピューターには、リカバリ ディスクが付属しています。オペレーティング システムおよびソフトウェアを復元するには、これらのディスクを使用します。復元用パーティションの有無を確認するには、**[スタート]**を選択し、**[コンピューター]**を右クリックして**[管理]**→**[ディスクの管理]**の順にクリックします。復元用パーティションがある場合、ウィンドウにHP リカバリ ドライブが表示されます。

リカバリ ディスクの作成

システムに重大な障害が発生した場合や動作が不安定になった場合にシステムを工場出荷時の状態に復元できるように、リカバリ ディスクを作成しておくことをおすすめします。リカバリ ディスクは、コンピューターを最初にセットアップした後、なるべく早く作成してください。

リカバリ ディスクは慎重に取り扱い、安全な場所に保管してください。ソフトウェアを使用して作成できるリカバリ ディスクは1セットのみです。

 **注記：** お使いのコンピューターにオプティカル ドライブが搭載されていない場合は、外付けオプティカル ドライブ (別売) を使用してリカバリ ディスクを作成するか、またはHP の Web サイトからお使いのコンピューターに適切なリカバリ ディスクを購入できます。

リカバリ ディスクを作成するには、事前に以下のガイドラインを確認してください。

- 高品質な DVD-R、DVD+R、BD-R（書き込み可能なブルーレイ ディスク）、または CD-R ディスクを用意する必要があります。これらのディスクは、すべて別売です。DVD および BD には、CD よりはるかに大きな容量を書き込むことができます。CD を使用すると最大 20 枚のディスクが必要になる場合でも、DVD または BD では数枚のみで済みます。

 **注記：** [HP Recovery Manager] (HP リカバリ マネージャー) ソフトウェアは、CD-RW、DVD ±RW、2 層記録 DVD±RW、および BD-RE（再書き込みが可能なブルーレイ）ディスクなどのような書き換え可能なディスクには対応していません。

- このプロセスでは、コンピューターを外部電源に接続する必要があります。
- リカバリ ディスクは、1 台のコンピューターに対して 1 セットのみ作成できます。
- オプティカル ドライブにディスクを挿入する前に、各ディスクに番号を付けておいてください。
- 必要に応じて、リカバリ ディスクの作成が完了する前に、プログラムを終了させることができます。次回[HP Recovery Manager]を起動すると、ディスク作成プロセスを続行するか尋ねられます。

リカバリ ディスクを作成するには、以下の操作を行います。

1. [スタート]→[すべてのプログラム]→[Recovery Manager]（リカバリ マネージャー）→ [Recovery Disc Creation]（リカバリ ディスク作成）の順に選択します。
2. 画面に表示される説明に沿って操作します。

情報のバックアップ

新しいソフトウェアやデータ ファイルの追加に応じて定期的にシステムをバックアップし、適切な新しいバックアップを作成しておくようにしてください。以下のようなときに、システムをバックアップします。

- 定期的にスケジュールされた時刻

 **注記：** 情報を定期的にバックアップするようにリマインダーを設定します。

- コンピューターを修復または復元する前
- ハードウェアまたはソフトウェアを追加/変更する前

バックアップを行う場合は、以下の点を参考にしてください。

- Windows の[システムの復元]機能を使用してシステムの復元ポイントを作成し、定期的にディスクにコピーします。
- 個人用ファイルを[ドキュメント]ライブラリに保存し、このフォルダーを定期的にバックアップします。
- 関連付けられたプログラムに保存されているテンプレートをバックアップします。
- カスタマイズされているウィンドウ、ツールバー、またはメニュー バーの設定のスクリーンショット（画面のコピー）を撮って保存します。設定をリセットする必要がある場合、画面のコピーを保存しておくで時間を節約できます。

画面をコピーしてワープロ文書などに貼り付けるには、以下の操作を行います。

1. 画面を表示します。
 2. 表示されている画面を、クリップボードに画像としてコピーします。
アクティブなウィンドウのみをコピーするには、**alt + prt sc** キーを押します。
画面全体をコピーするには、**prt sc** キーを押します。
 3. ワープロ ソフトなどの文書を開くか新しく作成して[編集]→[貼り付け]の順に選択します。
 4. 文書を保存します。
- 情報は、別売の外付けハードドライブ、ネットワーク ドライブ、またはディスクにバックアップできます。
 - ディスクにバックアップする場合は、以下の種類の別売のディスクを使用できます。CD-R、CD-RW、DVD+R、DVD-R、および DVD±RW。使用できるディスクの種類は、お使いのコンピューターに取り付けられているオプティカル ドライブの種類によって異なります。
-
-  **注記：** DVD を使用すると、CD より保存できる情報量が増えるため、バックアップに必要なリカバリ ディスクの数が少なくなります。
-
- ディスクにバックアップする場合は、各ディスクに番号を付けてからコンピューターのオプティカル ドライブに挿入します。

Windows の[バックアップと復元]の使用

Windows の[バックアップと復元]を使用してバックアップを作成するには、以下の操作を行います。

 **注記：** お使いのコンピューターが外部電源に接続されていることを確認してから、バックアップ処理を開始してください。

注記： ファイルのサイズやコンピューターの処理速度に応じて、バックアップ処理には 1 時間以上かかることがあります。

1. [スタート]→[すべてのプログラム]→[メンテナンス]→[バックアップと復元]の順に選択します。
2. 画面の説明に沿って操作し、バックアップを設定および作成します。

 **注記：** Windows には、コンピューターのセキュリティを高めるためのユーザー アカウント制御機能が含まれています。ソフトウェアのインストール、ユーティリティの実行、Windows の設定変更などを行うときに、ユーザーのアクセス権やパスワードの入力を求められる場合があります。詳しくは、[ヘルプとサポート]を参照してください。

システムの復元ポイントの使用

システムをバックアップする場合は、システムの復元ポイントを作成します。システムの復元ポイントによって、特定の時点でのハードドライブのスナップショットに名前を付けて保存できます。後でシステムに対する変更を破棄する場合、そのポイントまで戻ってシステムを回復できます。

 **注記：** 以前の復元ポイントに復元しても、最後の復元ポイント後に作成されたデータ ファイルや電子メールには影響がありません。

また、追加の復元ポイントを作成して、システム ファイルおよび設定の保護を強化できます。

復元ポイントを作成するとき

- ソフトウェアやハードウェアを追加または大幅に変更する前
- システムが最適な状態で動作しているとき（定期的に行います）

 **注記：** 復元ポイントまで戻した後に考えが変わった場合は、その復元を取り消すことができます。

システムの復元ポイントの作成

1. [スタート]→[コントロール パネル]→[システムとセキュリティ]→[システム]の順に選択します。
2. 左側の枠内で、[システムの保護]をクリックします。
3. [システムの保護]タブをクリックします。
4. [保護設定]の下で、復元ポイントを作成するディスクを選択します。
5. [作成]をクリックします。
6. 画面に表示される説明に沿って操作します。

以前のある日時の状態への復元

コンピューターが最適な状態で動作していた（以前のある日時に作成した）復元ポイントまで戻すには、以下の操作を行います。

1. [スタート]→[コントロール パネル]→[システムとセキュリティ]→[システム]の順に選択します。
2. 左側の枠内で、[システムの保護]をクリックします。
3. [システムの保護]タブをクリックします。
4. [システムの復元]をクリックします。
5. 画面に表示される説明に沿って操作します。

復元の実行

 **注記：** ファイルの復元は、以前バックアップを行ったファイルに対してのみ可能です。お使いのコンピューターをセットアップしたらすぐに、[HP Recovery Manager]（HP リカバリ マネージャー）を使用してリカバリ ディスクのセット（ドライブ全体のバックアップ）を作成することをおすすめします。

システムに障害が発生した場合やシステムが不安定になった場合、[HP Recovery Manager]ソフトウェアを使用してシステムを修復または復元できます。[HP Recovery Manager]は、リカバリ ディスクまたはハードドライブ上の専用の復元用パーティション（一部のモデルのみ）から実行できます。ただし、お使いのコンピューターにSSD（Solid State Drive）が搭載されている場合、復元用パーティションがない可能性があります。その場合、コンピューターにはリカバリ ディスクが付属しています。オペレーティング システムおよびソフトウェアを復元するには、これらのディスクを使用します。

 **注記：** Windows は、[システムの復元]機能など、独自の修復機能を備えています。これらの機能をまだ試していない場合は、試してから[HP Recovery Manager]を使用してください。

注記： [HP Recovery Manager]では、出荷時にプリインストールされていたソフトウェアのみが復元されます。このコンピューターに付属していないソフトウェアは、製造元の Web サイトからダウンロードしたファイルまたは製造元から提供されたディスクから再インストールする必要があります。

リカバリ ディスクからの復元

リカバリ ディスクからシステムを復元するには、以下の操作を行います。

1. すべての個人用ファイルをバックアップします。
2. 1枚目のリカバリ ディスクをオプティカル ドライブに挿入し、コンピューターを再起動します。
3. 画面に表示される説明に沿って操作します。

専用の復元用パーティションからの復元（一部のモデルのみ）

 **注記：** SSD (Solid State Drive) が搭載されているコンピューターには、復元用パーティションがない可能性があります。コンピューターに復元用パーティションがない場合は、以下の手順による復元はできません。復元用パーティションがないコンピューターには、リカバリ ディスクが付属しています。オペレーティング システムおよびソフトウェアを復元するには、これらのディスクを使用します。

一部のモデルでは、[スタート]ボタンをクリックするか、**f11** キーを押して、ハードドライブ上のパーティションから復元を実行できます。この操作によって、コンピューターが工場出荷時の状態に戻ります。

復元用パーティションからシステムを復元するには、以下の操作を行います。

1. 以下のどちらかの方法で[HP Recovery Manager] (HP リカバリ マネージャー) にアクセスします。
 - [スタート]→[すべてのプログラム]→[Recovery Manager] (リカバリ マネージャー) → [Recovery Manager]の順に選択します。または
 - コンピューターを起動または再起動し、画面の左下隅に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に **esc** キーを押します。**f11** キーを押して、[HP Recovery] (HP リカバリ) を起動します。
2. [Recovery Manager] ウィンドウの[System Recovery] (システムの復元) をクリックします。
3. 画面に表示される説明に沿って操作します。

索引

記号/数字

1394 省電力 100

A

AC アダプター

確認 10

接続 55

テスト 56

Administrator password (管理者パスワード) 100

B

BD

再生 41, 47

取り出し 44, 45

BIOS、更新 102

Bluetooth

デバイス 12, 19

ラベル 11

Boot Options (ブート オプション) 101

Button Sound (ボタン音) (一部のモデルのみ) 100

C

Caps Lock ランプ、位置 2

CD

書き込み 34

コピー 43

再生 41, 47

取り出し 44, 45

保護 34

Certificate of Authenticity ラベル 11

D

[Diagnostics] (診断) メニュー 101

DVD

書き込み 34

コピー 43

再生 41, 47

地域設定 42

地域設定の変更 42

取り出し 44, 45

保護 34

E

end ホットキー 29

eSATA/USB コンボ コネクタ、位置 7

eSATA ケーブル、接続 76

eSATA デバイス

接続 76

説明 76

停止 76

取り外し 76

esc キー、位置 4

F

f11 109

Fan Always On (ファンを常にオン) 101

fn キー

位置 4, 28

H

Hard Drive Self-Test (ハードドライブの自己診断) 101

HDMI

コネクタ 37

接続 37

HD 対応デバイス、接続 37

home ホットキー 29

HP MediaSmart

起動 34

使用 34

[HP MediaSmart] ソフトウェア 34

HP ProtectSmart Hard Drive Protection 68

HP Recovery Manager (HP リカバリ マネージャー) 105, 108

HP USB Ethernet (イーサネット) アダプター、接続 23

[HP Wireless Assistant] ソフトウェア 13, 14

HP バッテリ チェック 57

HP モバイル ブロードバンド 無効化 18

HP モバイル ブロードバンド モジュール

シリアル番号ラベル 11

L

Language Support (対応言語) 100

LAN Power Saving (LAN 省電力) 100

M

[Main] (メイン) メニュー 100

Memory Test (メモリ テスト) 101

Microsoft Certificate of Authenticity ラベル 11

P

page down ホットキー 29

page up ホットキー 29

Power-On Password (電源投入時パスワード) 100

Processor C6 State (プロセッサ C6 ステート) 100

Q

QuickWeb

無効化 96

有効化 96

R

RJ-45 (ネットワーク) コネクタ、位置 7

RJ-45 (ネットワーク) ランプ、位置 7

S

Secondary Hard Disk Self Test (セカンダリ ハードドライブの自己診断) 101

[Security] (セキュリティ) メニュー 100

- SIM
 - 装着 18
 - 取り出し 19
- SIM ラベル 11
- SSD (Solid State Drive) 66, 105, 108, 109
- [System Configuration] (システム
コンフィギュレーション) メ
ニュー 100
- System information (システム情
報)、表示 100

- U**
- USB ケーブル、接続 75
- USB コネクタ
 - 位置 5, 75
- USB デバイス
 - 接続 75
 - 説明 75
 - 停止 75
 - 取り外し 75
- USB ハブ 75

- V**
- Virtualization Technology (仮想化
テクノロジー) 100

- W**
- Web カメラ
 - 位置 8
 - 使用 50
 - プロパティの調整 50
 - ランプ 32
- Windows、パスワードの設定 88
- Windows アプリケーション キー、
位置 4
- Windows ロゴ キー、位置 4

- あ**
- アイコン
 - ネットワーク 12, 21
 - 無線 12
- アプリケーション キー、
Windows 4
- 暗号化 16
- アンテナ 9

- い**
- 移動
 - タッチパッド 24

- イヤフォン 32
- インターネット接続のセットアッ
プ 15

- う**
- ウイルス対策ソフトウェア、使
用 91

- お**
- オーディオ機能
 - 確認 36
- オーディオ出力 (ヘッドフォン) コ
ネクタ 6, 32, 36
- オーディオ デバイス、外部接
続 35
- オーディオ入力 (マイク) コネク
タ 6, 32, 36
- オプティカル ディスク
 - 書き込み 34
 - 使用 39
 - 取り出し 44
- オプティカル ドライブ
 - 再生 47
 - 保護 34
- オペレーティング システム
Microsoft Certificate of
Authenticity ラベル 11
- プロダクト キー 11
- オン/オフ
 - タッチパッドの切り替え 24
- 温度 63

- か**
- カード リーダー、省電力 100
- 書き込み可能メディア 52
- 各部
 - 前面 5
 - その他のハードウェア 10
 - ディスプレイ 7
 - 左側面 6
 - 表面 1
 - 右側面 5
 - 裏面 8
- 画面の輝度のキー 28
- 画面表示、切り替え 28
- 干渉、最小化 22
- 完全なロー バッテリ状態 60
- 管理者パスワード
 - 管理 90

- 作成 90
- 入力 90

- き**
- キー
 - esc 4
 - fn 4
 - Windows アプリケーション 4
 - Windows ロゴ 4
 - 操作 4
- キーボード ホットキー、位置と名
称 28
- 企業無線 LAN への接続 16
- 規定情報
 - 規定ラベル 11
 - 無線認定/認証ラベル 11
- 切り替え可能なグラフィック
ス 64
- 緊急セキュリティ アップデート、
インストール 92

- く**
- 空港のセキュリティ装置 67
- グラフィックス モード、切り替
え 64

- け**
- ケーブル
 - eSATA 76
 - LAN 23
 - USB 75

- こ**
- 公共無線 LAN への接続 16
- 更新、ソフトウェア 102
- コード、電源 10
- コネクタ
 - eSATA/USB 7
 - HDMI 37
 - RJ-45 (ネットワーク) 7
 - USB 5, 75
 - オーディオ出力 (ヘッドフォ
ン) 6, 32, 36
 - オーディオ入力 (マイ
ク) 6, 32, 36
 - 外付けモニター 37
- コンバートメント
 - 無線モジュール 8
 - メモリ モジュール 8

- コンピューター
 - 電源切断 65
- コンピューターのシリアル番号 10
- コンピューターの持ち運び
 - 無線認定/認証ラベル 11
- さ**
 - サービス タグ 10
 - 最小化、干渉 22
 - 再生の保護 47
 - サポートされるディスク 106
 - サポートされるマイク 36
- し**
 - ジェスチャ
 - タッチパッド 26
 - システム情報
 - 表示 98
 - ホットキー 29
 - システム全体の復元 105
 - システムに障害が発生した場合や動作が不安定になった場合 105
 - システムの応答停止 65
 - システムの復元 105, 108
 - システムの復元ポイント 105, 107
 - 実行、復元 108
 - 自動再生 42
 - 指紋認証システム 93
 - 指紋認証システム、位置 3, 93
 - 指紋認証システム ランプ、位置 2
 - 指紋の登録 94
 - シャットダウン 65
 - 使用、システムの復元ポイント 107
 - 情報の保護 105
 - 初期設定、復元 99
- す**
 - スーパー マルチ DVD+/-RW 対応ブルーレイ R/RE ドライブ (2層記録 (DL) 対応) 39
 - スーパー マルチ DVD±R 対応ブルーレイ ROM ドライブ (2層記録 (DL) 対応) 39
 - スクロール
 - タッチパッド ジェスチャ 26
 - スピーカー 5, 32
- スリープ
 - 開始 52
 - 終了 52
- せ**
 - 製品名および製品番号、コンピューター 10
 - セキュリティ
 - 無線 15
 - セキュリティ ロック ケーブル、接続 92
 - セキュリティ ロック ケーブル用スロット 6
 - 接続
 - 外部電源 55
 - セットアップ ユーティリティ
 - 移動 98
 - 開始 97
 - 言語の変更 97
 - システム情報の表示 98
 - 終了 99
 - 初期設定の復元 99
 - 選択 98
 - パスワードの設定 89
 - メニュー 99
 - 節約、電力 63
 - 選択
 - タッチパッド 25
 - 専用の復元用パーティションからの復元 109
- そ**
 - 操作キー
 - CD、DVD、または BD の次のトラック/チャプターを再生する 28
 - CD、DVD、または BD の停止 28
 - CD、DVD、または BD の前のトラックまたはチャプターを再生する 28
 - CD、DVD、または BD を再生、一時停止、または再開する 28
 - 位置 4
 - 画面の輝度を上げる 28
 - 画面の輝度を下げる 28
 - 画面を切り替える 28
 - 使用 27
- スピーカーの音を消したり元に戻したりする 28, 32
- スピーカーの音量を上げる 28, 32
- スピーカーの音量を下げる 28, 32
- ヘルプとサポート 27
- 無線 13
- 無線機能をオンまたはオフにする 28
- 外付けオーディオ デバイス、接続 35
- 外付けモニター コネクタ 6, 37
- ソフトウェア
 - HP MediaSmart 34
 - HP Wireless Assistant 14
 - 更新 102
 - 使用 34
 - ディスク クリーンアップ 68
 - ディスク デフラグ 67
- た**
 - タッチパッド
 - 位置 1
 - 移動 24
 - ジェスチャ 26
 - 使用 24
 - スクロール 26
 - 選択 25
 - 電源オン/オフの切り替え 24
 - ピンチまたはズーム 26
 - ボタン 1
 - タッチパッド オン/オフ ボタン、位置 1
 - タッチパッド ランプ、位置 2
- ち**
 - 地域コード、DVD 42
 - 著作権に関する警告 43
- つ**
 - 通気孔、位置 8
- て**
 - [ディスク クリーンアップ]ソフトウェア 68
 - [ディスク デフラグ]ソフトウェア 67
 - ディスク パフォーマンス 67

デバイス ドライバー
 HP ドライバー 49
 Windows ドライバー 50
テレビ 36
電源
 接続 55
 節約 63
電源コード、確認 10
電源コネクタ、位置 6
電源投入時パスワード
 管理 91
 作成 91
 入力 91
電源ボタン
 位置 3
電源ランプ
 位置 2, 7

と

ドライブ
 DVD-ROM 39
 LightScribe スーパーマルチ
 DVD±R ドライブ (2 層記録
 (DL) 対応) 39
 スーパー マルチ DVD+/-RW 対
 応ブルーレイ R/RE ドライブ
 (2 層記録 (DL) 対応) 39
 スーパー マルチ DVD±R 対応
 ブルーレイ ROM ドライブ (2
 層記録 (DL) 対応) 39
 ハード 70, 72
 ブート順序 101
 ランプ 6, 68
ドライブ メディア 52
トラブルシューティング
 HP デバイス ドライバー 49
 Windows ドライバー 50
 オプティカル ディスク トレ
 イ 45
 オプティカル ドライブ検
 出 46
 外付けディスプレイ 48
 ディスク書き込み 48
 ディスクが再生されない 47
 ディスクの再生 48
 デバイス ドライバー 49
取り付けられているドライブ、確
認 66

な

内蔵 Web カメラ ランプ、位置 8
内蔵ディスプレイ スイッチ、位
置 8
内蔵マイク
 位置 8, 32

ね

ネットワーク アイコン 12, 21
ネットワーク キー 21
ネットワーク ケーブル
 接続 23
 ノイズ抑制コア 23
ネットワーク コネクタ、位置 7
ネットワーク セキュリティ コー
ド
 SSID 21
 ネットワーク キー 21

の

ノイズ抑制コア、ネットワーク
ケーブル 23

は

ハードウェア、確認 1
ハードドライブ
 HP ProtectSmart Hard Drive
 Protection 68
 位置 8
 交換 70
 取り付け 72
 取り外し 70
ハイバネーション
 開始 53
 完全なロー バッテリー状態での
 開始 60
 終了 53
パスワード
 Windows での設定 88
 管理者 89
 セットアップ ユーティリティ
 での設定 89
 電源投入時 90
バックアップ
 カスタマイズされているウィン
 ドウ、ツールバー、およびメ
 ニュー バーの設定 106
個人用ファイル 106
テンプレート 106

バッテリー
 温度 63
 確認 10
 交換 64
 再充電 63
 充電 59, 61
 処理 64
 節電 63
 装着 57
 調整 61
 取り外し 57
 放電 60
 保管 63
 ロー バッテリー状態 60
バッテリー ゲージの調整 61
バッテリー電源 56
バッテリー ベイ 8, 11
バッテリー ランプ 6, 59, 60
バッテリー リリース ラッチ 8, 57
ハブ 75

ひ

左のタッチパッド ボタン、位置 1
ビデオ デッキ 36
表示画面、切り替え 28
ピンチまたはズーム
 タッチパッド ジェスチャ 26

ふ

ファイアウォール 16
ファイアウォール ソフトウェア、
使用 92
ブート順序 101
復元
 システム 105, 108
復元ポイント 107
復元用パーティション 105
ブルーレイ ディスク (BD) 39
プログラム
 更新 104
 使用 34
プログラムまたはドライバーの復
元 105
プロジェクター、接続 37
プロダクト キー 11

へ

ベイ
 ハードドライブ 8
 バッテリー 8, 11

ヘッドフォン 32
ヘッドフォン (オーディオ出力) コネクタ 6, 32
ヘルプとサポート キー 27

ほ

ポインティング デバイス
オプションの設定 24
保管、バッテリー 63
ボタン
タッチパッド、オン/オフ ボタン 1
電源 3
左のタッチパッド 1
右のタッチパッド 1
ホットキー
end 29
home 29
page down 29
page up 29
システム情報を表示する 29
使用 29
説明 28

ま

マイク、内蔵 32
マイク (オーディオ入力) コネクタ 6
マウス、外付け
オプションの設定 24
接続 27
マルチメディア コンポーネント、確認 31
マルチメディア ソフトウェア
使用 34

み

右のタッチパッド ボタン、位置 1
ミュート (消音) ランプ、位置 2

む

無線 LAN アンテナ、位置 9
無線 LAN デバイス 12
無線 LAN のセットアップ 15
無線 LAN への接続 16
無線 WAN アンテナ、位置 9
無線 WAN デバイス 17
無線アイコン 12
無線アンテナ 9

無線コントロール
[HP Wireless Assistant] ソフトウェア 13
オペレーティング システム 13
操作キー 13
無線認定/認証ラベル 11
無線ネットワーク (無線 LAN)
企業無線 LAN への接続 16
公共無線 LAN への接続 16
セキュリティ 15
接続 16
動作範囲 17
必要な機器 15
ラベル 11
無線モジュール コンパートメント、位置 8
無線ランプ 2, 13

め

メディア カード
挿入 78
定義 78
停止 79
取り出し 79
メディア コントロール
音量上げ操作キー 28
音量下げ操作キー 28
再生、一時停止または再開操作キー 28
操作キーの停止 28
次のトラック/チャプター操作キー 28
前のトラック/チャプター操作キー 28
ミュート (消音) または元に戻す操作キー 28
無線をオン/オフ操作キー 28
メディア スロット、位置 5
メディア操作キー 33
メモリ、メモリ モジュールの交換 80, 83
メモリ/無線モジュール コンパートメント カバー
取り付けなおし 74, 82
取り外し 70, 81
メモリ モジュール
交換 80, 83
追加 80
取り付け 85

取り外し 81, 84
メイン メモリ モジュールのアップグレード 83
メモリ モジュール コンパートメント、位置 8
メンテナンス
ディスク クリーンアップ 68
ディスク デフラグ 67

も

モニター
接続 37

よ

読み取り可能メディア 52

ら

ラッチ、バッテリー リリース 8
ラベル
Bluetooth 11
HP モバイル ブロードバンドモジュール 11
Microsoft Certificate of Authenticity 11
SIM 11
規定 11
サービス タグ 10
無線 LAN 11
無線認定/認証 11
ランプ
Caps Lock 2
RJ-45 (ネットワーク) 7
Web カメラ 8
指紋認証システム 2
タッチパッド 2
電源 2, 7
ドライブ 6, 68
バッテリー 6
ミュート (消音) 2
無線 2

り

リカバリ ディスク 105
リカバリ ディスクからの復元 109

ろ

ローカル エリア ネットワーク (LAN)	
ケーブルの接続	23
必要なケーブル	23
ロー バッテリー状態	60

